

取り扱い注意

令和3年度(2021年度)使用中学校教科用図書採択

選定意見書

(臨時教育委員会会議 資料)

もくじ

国語	1	~	5
書写	6	~	10
社会(地理的分野)	11	~	15
社会(歴史的分野)	16	~	23
社会(公民的分野)	24	~	30
地図	31	~	33
数学	34	~	41
理科	42	~	47
音楽(一般)	48	~	50
音楽(器楽合奏)	51	~	53
美術	54	~	57
保健体育	58	~	62
技術・家庭(技術分野)	63	~	66
技術・家庭(家庭分野)	67	~	70
英語	71	~	77
道徳	78	~	84

令和2年(2020年)7月

熊本市教育委員会

意見書 中学校 種目（国語）

発行	観点	調査結果
東京書籍	1	本編「学びの扉」から基礎編「学びを支える言葉の力」の学習、及び各領域の「言葉の力」の学習へつなぎ、領域ごとの表現活動によって汎用的な力となるよう、とても工夫されている。(1年 29 頁、242 頁など)
	2 ①	中学生の日常を漫画で描いた「学びの扉」で、小さなつまづきの場面を取り上げ、学習者の意欲をかき立てながら、言葉への気づきを促すよう、とても工夫されている。(1年 29 頁など)
	②	「書くこと」で、新聞記事に入れる写真を選んだり、ポスターを比べたりしながら、気付いたことを交流して、自らの表現活動に生かすよう、とても工夫されている。(1年 108 頁など)
	③	単元の学習は「読むこと」と関連付けた「話すこと・聞くこと」及び「書くこと」学習材を配置し、言葉の力が各領域で深まるよう、とても工夫されている。(目次 2 頁～)
	3	文法「日本語探検」は物語仕立ての対話形式で展開し、学習への抵抗感を和らげながら知識・技能の定着が図られるよう、とても工夫されている。(1年 58 頁など)
	4	「将来の目標や計画を立てよう」は、自分の生き方・働き方や将来の希望について考えよう、工夫されている。(3年 180 頁～)
	5	「いつものように新聞が届いた－メディアと東日本大震災」では、災害時に情報を伝え続ける新聞記者の姿から、社会に貢献しようとする態度を育むよう、とても工夫されている。(3年 184 頁～)
	6	「編集して伝えよう『環境』の新聞」では、「環境」についての新聞を書く活動を行なながら、自ら課題意識をもって環境について考えるよう、とても工夫されている。(3年 75 頁～)
	7	1年「調べて分かったことを伝えよう」2年「郷土のよさを伝えよう」で、書く活動によって「食文化」や「郷土のよさ」に気付くよう、とても工夫されている。(1年 70 頁～、2年 64 頁～)
	8	1年「本で世界を広げよう」3年「本で世界を広げよう」で、「福祉・共生」「国際理解・人権」に関連する本を紹介し、テーマに関する考えを広げるよう、配慮されている。(1年 180 頁～、3年 92 頁～)
教科書展示会の結果（学校 26 一般 2 合計 28）		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「問い合わせ→目標→言葉の力→振り返り」のサイクルが視覚的にも分かりやすく整理されており、生徒は取り組みやすいだろうと感じた。 ・今年度まで使っている教科書から更に分かりやすく改良されている。学習意欲が高まるよう導入にマンガが用いられる等、「学びを支える言葉の力」がより詳しくなっていた。 ・古典に関しては、光村図書のように古文の横に現代語訳があると分かりやすい。 <p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挿絵が増え、生徒の理解により役立つものになっていてとてもよい。 ・中2「ハトはなぜ首を振って歩くのか」などの興味を引く題材や3年「なんのために働くのか」や「最後の一句」など幅広く多様な教材を取り扱っていた。 		
選定委員会の意見		
<p>漫画「学びの扉」と基礎編「学びを支える言葉の力」、各領域の「言葉の力」の学習の関連が分かりやすく、螺旋的に言葉の力を汎用的なものにするよう、とても工夫されている。また、学習者の学びに対する興味・関心を高めるために、レイアウトを見やすくしたり、キャラクターの対話を取り入れたり、いたるところに工夫が施されている。</p> <p>「日本語探検」「文法の窓」も楽しく学習できるよう、物語形式やゲーム形式になっており、QRコードからアクセスするデジタル資料も充実している。</p>		

意見書 中学校 種目（国語）

発行	観点	調査結果
三省堂	1	各学年「読み方を学ぼう」に、文章を正確に深く読むための「技」や「こつ」を示し、巻末の一覧表と合わせながら、汎用的な力となるよう、とても工夫されている。(1年76頁など)
	2 ①	「読むこと」の「学びの道しるべ」に学習の流れを示し、見通しをもって学習に取り組むよう、とても配慮されている。(1年18頁～など)
	②	各学年「話すこと・聞くこと」に「グループディスカッション」を配置し、系統的に「話し合いのこつ」を学習し、対話に活用できるよう、とても工夫されている。(1年30頁～など)
	③	「読むこと」の「学びの道しるべ」は、ページの上段に学習の流れを、下段に「思考の方法」と「語彙を豊かに」を関連付けて配置し、学びが深まるよう、工夫されている。(1年28頁～など)
	3	資料編の「学習用語辞典」や「語彙の広がり」で、学習活動に役立つ用語を確認できるよう、配慮されている。(1年304頁～など)
	4	「動物園でできること」は、来園者にとって動物園が「楽しみの場」「学びの場」となる工夫を重ねる姿から、働くことの喜びと使命感に気付くよう、配慮されている。(2年182頁～)
	5	「電車は走る」は、電車の中での葛藤を描き、自分の正しさと他の人の正しさについて深く考えながら、よりよい社会を目指していくよう、工夫されている。(1年244頁～)
	6	2年「人間は他の星に住むことができるのか」「100年後の水を守る」3年「フロン規制の物語」など、地球の環境を守ろうとする態度を育む学習材がとても充実している。(2年44頁～、88頁～、3年88頁～)
	7	各学年、資料編の「古典芸能に親しむ」には、1年落語、2年歌舞伎、3年能・狂言の美しい写真と台本を掲載し、古典芸能に興味・関心をもつよう、とても工夫されている。(1年284頁～など)
	8	「自立とは『依存先を増やすこと』」で、共生社会の実現に向けて、お互いに助け合う関係を構築することの大切さに気付くよう、工夫されている。(2年146頁～)
教科書展示会の結果（学校3 一般0 合計3）		
【学校】		
<ul style="list-style-type: none"> 読み物教材の後に「読み方を学ぼう」というコーナーがあり、教材文を使って「読みのポイントの学習」ができる所が良い。最後に読みのポイントの一覧表もついている。図、グラフ、写真、レイアウトも見やすくてよかったです。 文章を深く読み、味わうための「技」や「こつ」が教材と関連づけてあり、「読み方」を身につける工夫がみられる。 「学びの道しるべ」、「振り返りのキーワード」、「思考の方法」があり、自分の力で読む方法が分かりやすい。 		

選定委員会の意見

各領域の「付けたい力」をバランスよく配置し、対話力や思考力の育成に力を入れている。また、「学び方」を学ぶという姿勢が貫かれており、国語科での言葉の学びが他教科や社会生活で生かされるよう、工夫されている。

「話すこと・聞くこと」領域においては、「グループディスカッション」系列など、お互いに関わり合いながら思考を深め、コミュニケーション能力を高めるよう、配慮されている。

意見書 中学校 種目（国語）

発行	観点	調査結果
教育出版	1	「持続可能な開発目標（SDGs）」を国語科の視点で教材化し、多様な情報を理解し、社会的なさまざまな課題に対して考え、解決しようとする力を育むよう、とても工夫されている。（8頁～）
	2 ①	各領域の学習材に先行する「学びナビ」に何を学ぶかを示し、見通しをもって学習が進められるよう、工夫されている。（1年18頁など）
	②	「持続可能な未来を創るために」では、よりよい未来を創るために社会や世界へ関わり方について、文章と対話しながら考えを深めるよう、配慮されている。（1年76頁～、2年94頁～、3年220頁～）
	③	「読むこと」の「学びナビ」は、筆者の考え方を的確にとらえたり、構成や表現の仕掛けを知ることで読みの力を深めたりすることができるよう、配慮されている。（1年32頁～など）
	3	資料編「言葉の自習室」は、「小倉百人一首」全首や「十二支と月の呼び名」など、古典学習に役立つ資料が充実している。（1年285頁～など）
	4	「地域から世界へーものづくりで未来を変えるー」は、ものづくりを支える確かな技術を見直し、世界を視野に入れて挑戦することのすばらしさを学ぶよう、とても配慮されている。（1年212頁～）
	5	「問い合わせる言葉」は、疑問を質問すること、問い合わせを発することで対話が生まれ、閉じた世界を開いていくことができることを理解するよう、配慮されている。（3年96頁～）
	6	「薔薇のボタン」は、原爆で命を落とした少女たちが着ていた水玉のブラウスや薔薇のボタンから、戦争被害にあった人々を身近に感じるよう、とても工夫されている。（3年48頁～）
	7	「紙の建築」は、建築家の筆者が避難所用の間仕切りを作成して熊本地震の際にも提供したことを描き、住環境を改善するために努力する姿を学ぶよう、とても工夫されている。（2年106頁～）
	8	「子どもの権利」は子どもの権利条約を紹介し、QRコードからのデータ資料には全文を掲載し、学習者の人権意識を高めるよう、とても配慮されている。（1年172頁～）
教科書展示会の結果（学校2 一般0 合計2）		
【学校】		
<ul style="list-style-type: none"> ・見開きの詩がよい。イラストや写真が多く、カラフルで、中学生が親しみを持って使いやすい。文法を扱う単元を見比べたが、教育出版は品詞ごとに四角囲みしており、視覚的に分かりやすい。 ・「学びナビ」が初めにあり、それをもとに文章を読んでいくという進め方が斬新である。どんな書かれ方かを読むのにはよい。 		
選定委員会の意見		
<p>現代の課題である「持続可能な開発目標（SDGs）」を国語科の視点でとらえ、学習者が深く考えるための「問い合わせ」を取り入れ、他教科や社会生活とつなぐよう、配慮されている。また、各領域の「学びナビ」で、学習材に先行して学習の方法を習得し、その方法を学習材で活用することにより、汎用的な力を形成するよう、工夫されている。</p> <p>読み物学習材は、教育内容まで考慮したものが多く、読み応えのある内容となっている。</p>		

意見書 中学校 種目（国語）

発行	観点	調査結果
光村図書	1	各領域の「学習の窓」を、資料編に体系的に一覧表で示し、学習者が確認したり、関連付けたりしながら、汎用的な力となるよう、とても工夫されている。(1年266頁～など)
	2 ①	「話すこと・聞くこと」「書くこと」は、学習の流れを見開きで示し、見通しをもてるよう、配慮されている。(1年34頁～など)
	②	「読むこと」の学習の流れは、個人から集団、集団から個人という活動の形態をとり、自分の考えを対話で広げ、さらに対話を振り返って考えを深めるよう、配慮がみられる。(1年28頁～など)
	③	「読むこと」の学習の振り返りでは、学んだことを自分の言葉でまとめることで理解を深め、他の場面でも活用できるよう、とても工夫されている。(1年29頁～など)
	3	読書領域「本の中の中学生」では、本の主人公が学習者と同じ世代である作品を紹介し、読書を身近に感じながら、読書の幅を広げていくよう、とても配慮されている。(1年84頁～など)
	4	「多様な方法で情報を集めよう」では、クラスで「職業ガイド」を作成しながら、様々な角度で情報を集め、働くことの意義について考えるよう、とても工夫されている。(2年34頁～)
	5	「『不便』の価値を見つめ直す」では、不便だからこそ得られるよさに気付き、これまでの常識とは異なる視点をもつことの大切さに気付くよう、とても工夫されている。(1年176頁～)
	6	1年「大人になれなかつた弟たちに……」2年「字のない葉書」3年「挨拶－原爆の写真によせて」「二つの悲しみ」は、命の尊さと平和の尊さを深く考えるよう、とても工夫されている。(1年96頁～、2年106頁～、3年94頁～、259頁～)
	7	「温かいスープ」は、国や民族を超えて助け合い、協力し合うことの大切さを理解するよう、配慮されている。(3年196頁～)
	8	「作られた『物語』を超えて」では、真実を知るために、その人々が暮らしている文化や社会を理解することが必要であることに気付くよう、配慮されている。(3年42頁～)
教科書展示会の結果（学校5 一般3 合計8）		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「思考の地図」や「学習の窓一覧」は、生徒が学習する上で大いに活用できると思われる。 ・単元の最後の「学習」が分かりやすく、授業でも活用しやすそうである。 ・「盆土産」や「アイスプラネット」は、時代に合っているか疑問である。 <p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元のまとめのページが、分かりやすい。 ・古典に関して、このように古文の横に現代語訳があると生徒の理解につながりやすい。 ・単元ごとに「めあて」があり、振り返りも教科書にのっていて、子どもたちが見通しをもちやすい。 		
選定委員会の意見		
<p>各領域で学習の見通しをもち、学んだことを振り返るという学習の流れが分かりやすく示されている。各領域の「学習の窓」は、学習のポイントを確認しやすいよう、とても配慮されている。また、語彙の量と質を高めるために、いろいろな場面で言葉に注目させるよう、工夫されている。</p> <p>読書領域では、学習者が主体的に読書活動に向かうよう、様々な工夫が施されている。「情報」に関する学習材やQRコードからアクセスする資料も充実している。</p>		

意見書 中学校 種目（国語）

教科書展示会の全体的な意見（学校1 一般2 合計3）

【学校】

- ・読み物教材について、東京書籍と教育出版がすっきりして見えた。三省堂、光村図書は知識量、文字数が多い。

【一般】

- ・教科書の構成や内容が生徒にとってより親しみやすいものになるように、イラストを見やすくするなどの視覚的な効果を考えて改良されている様子がうかがえた。
- ・巻末の漢字一覧は、どの出版社も分かりやすい。我が子と一緒に親も漢字の勉強ができるよい。

意見書 中学校 種目（書写）

発行	観点	調査結果
東京書籍	1	全体として毛筆で学んだことを硬筆に生かせるような構成である。また、各单元の終末に書写テストがあり基礎・基本が定着するよう、とても工夫されている。(24~25頁など)
	2	デジタル教材で学習のポイントが丁寧に説明されており、一人一人が自分の課題に応じた学習が可能になるよう、とても工夫されている。(14、20頁など)
	①	各单元のまとめとして「振り返って話そう」があり、自分の書いた文字を使って他者に説明するという活動により対話が生まれるよう、とても工夫されている。(14、17頁など)
	②	行書の書き方では、「見つけよう」で書く動きの特徴を捉え、「書写のかぎ」によって書く動きの基本を学習し、実際に毛筆や硬筆で書いて確かめられるよう、工夫されている。(34頁など)
	③	防災学習に役立つ書写について詳しく説明しており、教科書に例示されている面を汎用させて実際の学習に生かせるよう、工夫されている。(75~77頁)
	3	「生活に広げよう 職場訪問をしよう」では、書写で身に付けた力を生かしながら、勤労観・職業観を育成できるよう、工夫されている。(45~47頁)
	4	「生活に広げよう 防災訓練に参加しよう」では、地域防災について地域の人たちと共に考え行動することを通して、主体的に地域社会に関わっていけるよう、工夫されている。(75~77頁)
	5	1、2年の毛筆手本のほとんどが自然に関する題材となっており、日本の自然を愛すると共に自然や環境を大切にしていくという態度を育てる工夫がされている。(20頁など)
	6	「効果的に文字を書こう 現代につながる文字の役割」では、歴史上の文字の役割が紹介され、我が国の文字文化に対する理解が深まるよう、とても工夫されている。(88~89頁)
	7	教科書の裏表紙に、教科書の無償支給やUDフォントの記述があり、教育を受ける権利や共生社会の形成の意識が高まるよう、工夫されている。
教科書展示会の結果（学校6 一般1 合計7）		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識、技能の習得に向けて、子ども自身が学習していけるようになっている。 ・使いやすい。運筆の毛筆指導がわかりやすくできるように示されてあった。また、良い例と悪い例も示されており、学習するポイントがわかりやすく示されていた。 ・2年の行書の6文字が、生徒にとっては難しく感じるかもしれない。目次がとても見やすい。 <p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手本の文字の勢いや筆脈などが分かり、他社よりも良いと思う。また、文字の成立や移り変わりも古典を示して正しく、高校芸術書道とのつながりも見受けられる。 		
選定委員会の意見		
<p>確かな書写力を身に付けるため、基本的技能習得の書き込むページも多く、質・量ともにとても充実している。また、各单元で何を学ぶのかが明確で、知識・技能の習得及び活用を組み合わせた課題解決型の单元展開がきめ細かに設定されているため、生徒が主体的に学習に取り組むことができる。さらに、話し合い活動については、振り返りの中で学んだことを説明する活動から対話的な学びへの展開も可能になっている。</p>		

意見書 中学校 種目（書写）

発行	観点	調査結果
三省堂	1	「書き方のポイント」として常に楷書3種類、行書7種類が示され、全体（単元）の中のどこを学んでいるのかが分かるよう、工夫されている。(14、26、38頁など)
	2	見開きで目標、書き方のポイント、毛筆、振り返りを示すことで、学習内容が一目で分かり見通しがもてるよう、工夫されている。(38~39頁など)
	①	「やってみよう グループ新聞を作ろう」では、グループ新聞を作る学習の中で、編集会議で話し合い活動が設定できるよう、工夫されている。(48~49頁)
	②	「楷書と行書の使い分け」では、日常の場面から楷書か行書を選択し、理由を考える学習があり、知識や経験を関連付けながら学習を進められるよう、とても配慮されている。(64~65頁)
	3	「書いて身につけよう」では硬筆で書く欄の補助線が段階的に減らされており、日常でも字形を整えて書くことができるよう、配慮されている。(20~21頁など)
	4	「文字文化の豊かさ 身のまわりの文字」では、看板職人やタイプデザイナーを紹介し、文字に関わる仕事について興味・関心が高められるよう、工夫されている。(74~75頁)
	5	「資料編 日常の書式」では、手紙や時候の挨拶、のし袋の書き方など、今後の生活で必要とされる心構えや技術について学ぶ意欲を高められるよう、工夫されている。(82~89頁)
	6	冒頭と巻末の詩、毛筆教材「豊かな実り」や毛筆補充教材「若枝」「伸びる芽」には、生命や自然を尊重する態度を養うための配慮がされている。(59、110、111頁など)
	7	「文字文化の豊かさ 身のまわりの文字」では、安土桃山時代から現代までの歴史上の人物が書いた手紙や活字の変遷が写真付きで掲載され、文字文化の豊かさに触れるができるよう、とても工夫されている。(72~73頁)
	8	「やってみよう グループ新聞を作ろう」では、「きずな新聞」と題した新聞を例示することで、他者を尊重し協力することの大切さが理解できるよう、工夫されている。(49頁)
教科書展示会の結果（学校3 一般0 合計3）		
【学校】		
<ul style="list-style-type: none"> 運筆の毛筆指導がわかりやすくできるように例が示され、また、良い例と悪い例も示されていて、学習するうえでの要点が捉えやすい内容となっていると思う。 書かせる字の選択は、シンプルで良い。 毛筆の手本が少ない印象。 		

選定委員会の意見

確かな書写力を身に付けるため、基本的技能習得の書き込むページが設けており、日常に生かすよう、工夫されている。また、話し合いについては、グループ新聞や情報誌を作るという発展的な学習において、編集会議などで話し合う活動が設定されている点で工夫されている。さらに、各学年末には、国語や学校生活、社会生活の中で学習したことを積極的に生かすための教材も用意されており、書写学習で身に付けた資質・能力を生かすという点で工夫されている。

意見書 中学校 種目（書写）

発行	観点	調査結果
教育出版	1	行書学習の導入では、運筆を意識した練習を取り入れ、スマールステップで筆使いに慣れるよう、とても工夫されている。(44頁)
	2	「振り返ろう」では、簡単に自己評価するようになっており、短時間で文章表現が苦手な生徒が取り組むのに、とても配慮されている。(19、21頁など)
	①	「学習の進め方」の「考え方」に、「話し合いを通した学び方」があり、書写のまとめ書きや筆使いについて、学習用語を使いながら話し合えるよう、とても工夫されている。(8~9頁)
	②	「学習の進め方」の「考え方」で「試し書き」と教科書の文字を比べて自分の課題を見つけ出すという展開になっており、生徒自身が問題を見出し解決策を考えていけるよう、工夫されている。(8~9頁)
	③	「横書きノートの例」として社会のノートや理科の「校庭の植物の観察レポート」が例示されており、書写の知識・技能を他教科でも生かすよう、工夫されている。(13、31頁)
	3	「コラム」では、活字デザイナーが取り上げられ、活字が暮らしに欠かせないことに気付かせ、生活と文字との関連を意識させるよう、工夫されている。(54頁)
	4	「材料を整理して案内状を書く」では、地域への案内状が示され、主体的に地域社会と関わっていこうという意識を育てるよう、工夫されている。(112頁)
	5	「学習を生かして書く」では、「校庭の植物観察をレポートにまとめる」ことを学習課題とし、自然環境を大切にしようとする態度を育む工夫がされている。(30~31頁)
	6	「多様な表現による文字」では、身の回りの文字、全国の城址などを知ることによって、日本の文化を尊重することができるよう、とても工夫されている。(94~97頁)
	7	毛筆「平和」、「実現させたい願いや祈り」の千羽鶴に付けた「平和でありますように」の文字などから、生命を尊び、平和を希求する心の育成ができるよう、工夫されている。(50、70頁)
教科書展示会の結果（学校2 一般0 合計2）		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> とても見やすい。見開きで毛筆と硬筆が完結していてすっきりとまとまっている。若干大きめのサイズなのが見やすく扱いやすい。 楷書、行書が分野ごとに分かれているが、学年別になつていいのは、わかりにくい。 		
選定委員会の意見		
<p>確かな書写力を身に付けるため、基本的技能習得の書き込むページが充実し、日常の文字に生かされるよう、工夫されている。また、知識・技能の習得及び活用を組み合わせた課題解決型の単元展開になっているため、生徒が主体的に学習に取り組むことができる。さらに、話し合い活動については、学習の進め方として、学習展開に応じて学習用語を使いながら話し合うよう示されており、対話的で深い学びが展開できるよう、工夫されている。</p>		

意見書 中学校 種目（書写）

発行	観点	調査結果
光村図書	1	行書の導入で、楷書を丁寧に書いたときと速く書いたときを比較し、速く書いたときの文字の特徴から「読みやすく速く」という行書の目的を理解できるよう、とても工夫されている。(52~53頁)
	2 ①	「書写ブック」が教科書から切り離せるようになっており、家庭学習でも生かせるよう、とても工夫されている。(2~27頁)
	②	「学習の進め方」には目的を明確にした話合いの場面が写真付きで紹介されている。話合いも二人が基本であり、時間や活動範囲が制約される書写の時間に合うよう、とても工夫されている。(36頁)
	③	「楷書と行書の使い分け」では、選んだ理由を考えるポイントを順序よく示し、場面に応じ根拠を明確にしながら楷書・行書を使い分ける力が身に付くよう、とても工夫されている。(86~87頁)
	3	各教材にはQRコードが付いており、毛筆の動画だけでなく、アルファベットの書き方や外部リンクにつなげて発展的に学習できるよう、工夫されている。(48、144頁など)
	4	「書く道具が生まれる」では、書く道具に携わる人がいることに気付かせる工夫がされ、また、QRコードが付された動画でそれらの道具が出来るまでを詳しく説明している。(29頁)
	5	「日常に役立つ書式」では、入学願書の書き方や年賀状などの書式を整理して示し、生活する上で必要とされる心構えや技術に対する関心が高められるよう、工夫されている。(110~118頁)
	6	「季節のしおり」の中に自然を扱ったものが多く、自然や動植物を愛し、自然環境を大切にしようとする態度を育む話題や題材が、効果的に取り上げられている。(64~65頁など)
	7	「季節のしおり」では、日本の古典作品の一節や韻文が手本となっており、日本の古典や四季のよさに対する興味・関心が高まるよう、とても工夫されている。(64、90頁など)
	8	「コラム」にSDGsの取り組みとしてUD書体についてのコラムを取り上げ、文字の見え方にも多様性があることを理解できるよう、とても配慮されている。(98~99頁)
教科書展示会の結果（学校10 一般0 合計10）		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・硬筆については、教科書内に直接記入する部分が増え、ノートと一帯となったようで扱いやすい。毛筆については、手本の右横に朱書きも添えられており、これまでの2ページ扱いが1ページに収められていて扱いやすく見やすい。 ・『書写テストに挑戦しよう』が面白い。ノートのように使えるページが増えているのが良い。 ・現行採用されている教科書が使いやすかったので、来年度以降も光村図書の教科書がいいなと感じた。 ・3年行書「輝ける未来」は、「輝」の字形がとりにくい。 		
<p align="center">選定委員会の意見</p> <p>確かな書写力を身に付けるため、「書写ブック」という綴じ込みが付いており、基礎・基本を確実に身に付けることができるよう、とても工夫されている。また、各单元で何を学ぶのかが明確で、知識・技能の習得及び活用を組み合わせた課題解決型の单元展開が極めて簡潔に設定されているため、生徒が主体的に学習に取り組むことができる。さらに、話合いについては、学習の進め方として、各過程における話合いのポイントが示されていることから、対話的な学びが展開できるよう、工夫されている。</p>		

意見書 中学校 種目（書写）

教科書展示会の全体的な意見（学校2 一般1 合計3）

【学校】

- ・光村が使いやすそう。東書、教育出版はサイズ感が正方形に近く、あつかいづらさがあるよう思う。

【一般】

- ・どの出版社のものも各学年で書かせられるもの（二字熟語）をあと2つ程度増やしてほしい。

意見書 中学校 種目（社会（地理的分野））

発行	観点	調査結果
東京書籍	1	全ての単元で、1時間ごとの「学習課題」（学習の見通し）の提示がなされ、「チェック／トライ」（振り返り）の2段階の学習構造で構成されており、資料なども大きさやレイアウトが見やすく効果的であり、地理的事象を多面的・多角的に考察するために、とても工夫されている。（8～9、17頁など）
	2 ①	クイズなどで生徒の興味・関心を引き付け、単元を貫く課題と、1時間ごとの学習課題がしっかりとリンクしており、単元を貫く課題に対する振り返りの活動も段階的に構成され、円滑に主体的な学びを実現できるよう、工夫されている。（7、19頁など）
	②	「みんなでチャレンジ」のコーナーが随所に見られ、単元を貫く課題を解決するためのグループ活動や、既習事項を基に説明をする場面などが潤沢に取り入れられ、対話的な授業を効果的に実践するために工夫されている。（72～73、242～243頁など）
	③	「見方・考え方」のコーナーが随所に見られ、地理的な見方・考え方の学びを確認できるような場面が充実している。（41、93、187頁など）
	3	「スキルアップ」コーナー（全32項目）で時差の調べ方、主題図の読み取り方などを学ぶ活動があり、デジタルコンテンツも併用し、地理的技能を定着させるよう、とても工夫されている。（23、63頁など）
	4	インターネットを使って仕事を続ける高齢者、伝統を守りながら時代に合わせた製品を造る人など、その人物が語り掛ける形式で書かれているため、より一層、仕事に対する情熱が伝わり、生徒の職業観を育成するよう、とても工夫されている。（205頁など）
	5	自然災害や防災を学習対象として取り上げたり、事例や取組を扱ったり、震災を風化させることなく社会参画への意識を高めることにつながるような内容が、とても充実している。（140～155、164～167頁など）
	6	「世界各地の人々の生活と環境」や、「世界の諸地域」では、自然環境の問題やSDGsについて考えるための内容が充実している。（39、63、81頁など）
	7	政令指定都市に熊本の記載があることや、持続可能な社会づくりにおける水俣市の活動の取り上げなど、郷土熊本の扱いが充実している。（169、193頁など）
	8	児童労働の実態、宗教への正しい理解、民族・先住民との共生社会への取組など、人権意識を高めるための内容がとても充実している。（67、70、268頁など）
教科書展示会の結果（学校6 一般1 合計7）		
【学校】 ・資料の種類が豊富で、グラフも扱いやすいものが増えたように感じた。 ・雑学や深いところの説明があって理解が深まる。		
【一般】 ・構成がよく、理解しやすかった。 ・グラフや表など、東書が見やすい。		
選定委員会の意見		
<p>各単元における学習活動は、単元を貫く学習課題が設定されており、1時間ごとの学習課題も見通しがもてるよう、とても配慮されている。基礎的・基本的な手立ての工夫、単元の終わりには、思考力・判断力・表現力を育成するためのまとめの活動も充実しており、地理的な見方・考え方を働きかせ、主体的・対話的で深い学びを実現するために充実している。また、持続可能な社会の実現に向けて、SDGsや領土をめぐる問題、自然災害と防災・減災などを取り上げ、社会参画の精神の涵養を通して公民的資質・能力の基礎の育成につなげるよう、工夫されている。</p>		

意見書 中学校 種目（社会（地理的分野））

発行	観点	調査結果
教育出版	1	「世界の諸地域」及び「日本の諸地域」のすべての地域において、各地域を追究するためのテーマや視点が明示され、その課題に迫れるよう、「学習のまとめ」まで本文や資料、写真などが一貫して使われており、学習指導要領の趣旨に的確に対応するために、とても工夫されている。(48~65、174~187頁)
	2 ①	「世界の諸地域」では、全ての地域の導入部分で、豊富な写真をもとに学習テーマを「なぜ○○なのか?」という発問にすることで、生徒が意欲的な追究活動ができ、主体的な学びができるよう構成されており、とても工夫されている。(48~49頁など)
	②	章や節のまとめとして「学習のまとめと表現」があり、その中で「表現しよう」、「意見を交換しよう」などの項目が統一的に設定され、学習してきた内容を基に自分の考えを述べることができるよう、とても工夫されている。(46、65頁など)
	③	「世界の諸地域」では「地域から世界を考えよう」、「日本の諸地域」では「現代日本の課題を考えよう」というコーナーで、既習の内容を基に「Q」が設けてあり、単元を貫く課題に迫りながら考えを深めていくよう、とても工夫されている。(64頁など)
	3	章や節の学習のまとめとして、「学習を振り返って整理しよう」があり、その中で重要語句をまとめた「ワードチェック」の項目が設けてあるなど、工夫されている。(46、65頁など)
	4	人々の生活や働いている写真を一貫して取り上げており、地域の自然、社会条件と暮らしの関わりについて関心を高めるよう、とても工夫されている。(49頁など)
	5	自然災害と防災、開発と環境保全に関する具体的な事例(熊本市の震災復興計画など)を取り上げ、自分たちの暮らしとの関わりについて関心と考察を深め、社会参画の意識を高めていくよう、とても配慮されている。(133~146、158~161頁)
	6	巻頭ページでSDGsについて取り上げ、「世界の諸地域」や「日本の諸地域」で、地球的課題、現代の日本の課題として考えていくよう、工夫されている。(67頁など)
	7	噴火する阿蘇山や世界遺産の崎津教会、表紙には山鹿灯籠など、熊本が多数掲載されており、郷土を愛する心を養う内容が、とても充実している。(150、132頁、表紙など)
	8	人権の重要課題の一つである「水俣病をめぐる人権」についての記述があり、地域の問題を取り上げ、人権教育を推進していくための内容が、とても充実している。(186頁)
教科書展示会の結果（学校 12 一般 0 合計 12）		
【学校】		
<ul style="list-style-type: none"> ・地図、グラフなどが、学習の内容に即して見やすく授業にも使いやすい。 ・見やすい資料と詳しい記述でとてもよいと思うが、日本の地方ごとの特色を見ていく時に視点が決められているのが気になる。授業がしにくく、生徒が自分で地域の課題を見つかるような教材の方がよいと思う。 		
選定委員会の意見		
<p>社会科の目標及び内容の達成が十分に図られるように構成されており、公民としての資質・能力の育成を目指す社会科の実現に向けて学習できるよう、とても工夫されている。特に、「世界の諸地域」では、思考力・判断力・表現力を育むため、学習の導入からまとめまで単元を貫くテーマが設定されており、一貫性がある内容となっている。また、自己のキャリア形成ができるように働く人々の写真がとても充実しており、主体的に社会の形成に参画できるよう、とても配慮されている。さらに、熊本地震も含めた自然災害における人々の取組や関係機関の役割、水俣病を題材とした人権教育など、郷土関係の地理的事象も多く掲載しており、とても工夫されている。</p>		

意見書 中学校 種目（社会（地理的分野））

発行	観点	調査結果
帝国書院	1	地理的分野の目標にある「地理的な見方・考え方」が分かりやすく示されており、「章（節）の学習を振り返ろう」では、見方・考え方を活用して取り組めるよう構成されていて、思考力・判断力・表現力の育成に、とても配慮されている。(巻頭7、13頁など)
	2 ①	各单元のねらいや「章（節）の問い合わせ」が設定されており、「章（節）の学習を振り返ろう」では、单元で学習した内容を丁寧に復習することができる。見通しと振り返りが体系化されており、主体的な学びに向けて工夫されている。(50、64~65頁など)
	②	「世界の諸地域」の「節の学習を振り返ろう」の「ステップ3」では、注目する地球的課題について、様々な立場をとって言語活動を行うことで、多面的・多角的な考察ができるよう、とても工夫されている。(119頁など)
	③	「章（節）の学習を振り返ろう」では、「ステップ3」で協働学習による多角的な課題の考察場面があり、深い学びにつながる内容として充実している。(65頁など)
	3	「解説」コーナー、「章（節）の学習を振り返ろう」の「写真を振り返ろう」や「キーワード」、さらに、「技能をみがく」ではアニメーション解説もあり、基礎的・基本的な内容が、とても工夫されている。(8~9、64頁など)
	4	「地理プラス」では、地方で独自の取組をして事業を発展させている様子などが取り上げられ、創造的な職業観を育むことができるよう、工夫されている。(163頁など)
	5	SDGsを継続して取り上げ、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識を芽生えさせ、公民としての資質・能力の育成ができるよう、工夫されている。(69頁など)
	6	巻頭でSDGsが紹介され、コラム「未来に向けて」(全25項目)では、SDGsのマークが示されており、持続可能な社会をつくるために様々な取組が行われていることを常に意識して学ぶことができるよう、とても工夫されている。(69、91頁など)
	7	「世界の諸地域」では、異文化理解の内容が充実している。また「日本の諸地域」でも伝統文化を継承、発展させる人々の取組が多数掲載され、我が国の伝統文化に誇りをもてるよう、工夫されている。(124、258~259頁など)
	8	コラム「未来に向けて 共生」では、多様な価値観や文化の共生を図る人々の姿が紹介されており、様々な立場や考え方があることを認識し、多文化理解と寛容な態度を育むことができるよう、とても配慮されている。(99、113、247頁など)
教科書展示会の結果（学校5 一般1 合計6）		
【学校】 ・写真もグラフも他と比べて大きく、とても見やすく理解しやすい資料提示がされている。 ・本文が長く感じる。		
【一般】 ・表示されている写真が他社より大きく、生徒が注目して閲覧し活用しやすいのではないか。		
選定委員会の意見		
<p>導入資料や関連資料が効果的に掲載されており、生徒の基礎的・基本的な知識・技能の習得を促すことができるよう、とても工夫されている。また、单元の見通しと振り返りが充実しており、特に振り返りでは、地理的な見方・考え方を働かせて取り組むことができ、思考力・判断力・表現力の育成ができるよう、とても配慮されている。特に、SDGsは全編を通して意図的に構成されており、世界各地の動向など豊富に盛り込まれ、学習と関連させながら考えていくことができる。持続可能な社会の実現のために求められることを学び、自分自身にできることを考え、行動に移すことができるよう配慮されており、学びに向かう力・人間性等を培うために、工夫されている。</p>		

意見書 中学校 種目（社会（地理的分野））

発行	観点	調査結果
日本文教出版	1	地理的分野の目標である「地理的な見方・考え方」が具体的に分類され、事例を通して示されている。また、全編、全章の扉に「この編（章）で主に着目する見方・考え方」が、各見開きページにも「見方・考え方」が明記されており、目標達成に向けてとても工夫されている。（II～III、23、24頁など）
	2 ①	「世界の諸地域」や「日本の諸地域」において、各地域の導入ページには、豊富な景観写真が掲載されており、単元に対する課題追究の興味・関心を高め、様々な方法で課題解決に迫ることができるよう、とても工夫されている。（58～71頁など）
	②	現地に住む様々な人々が語りかける「声コーナー」が随所にあり、考えを深めるための手立てが充実している。（29、31頁など）
	③	随所に「トライ」、「深めよう」、「確認」のコーナーがあり、本時の学習内容を総合的に振り返る場面が工夫されている。（7、13頁など）
	3	随所に「スキルUP」コーナー（全31項目）があり、地理的技能を習得するために工夫されている。（9、26頁など）
	4	過疎地域における地域活性化のためのまちおこし・むらおこしに取り組む事例、仕事や人々が取り上げられ、将来へつながるために配慮されている。（186～189頁）
	5	「地域のあり方」において、「まちづくり会議を開こう」が設定されており、社会参画の視点が工夫されている。（272～273頁）
	6	北海道の自然環境との共生を図るための取組について、世界ジオパークやエコツーリズムなどの例が紹介され、環境保全と産業を両立させるための見方・考え方を育成するよう、工夫されている。（258～261頁）
	7	オリンピックで掲げられる日本の国旗が紹介され、法的根拠に基づき、我が国への愛情と国際協力への理解を深めるよう、とても配慮されている。（6頁）
	8	「多様性を認める社会づくりを進めるオセアニア」の学習で、多文化共生の社会実現へ向けて考え、さらに、「オセアニア州」の学習の振り返りとして、「私たちのまわりの多文化共生を考えよう」と身近な事例に気付かせ、共生社会の実現を意識付ける手立てがされ、とても充実している。（110～111、115頁）
教科書展示会の結果（学校3 一般0 合計3）		
【学校】		
<ul style="list-style-type: none"> ・大きなテーマごとに資料だけのページをつくっている。 ・振り返りに文章穴埋めがあり、言語理解中心の生徒にとって助けになると思う。 ・他と比べて文章量が多く、学習意欲が低い生徒にとつつきにくいのではないかと感じた。 		
選定委員会の意見		
<p>地理的な見方・考え方の視点が全編・全章にわたって系統的に示され、学習指導要領に示された地理的分野の目標が適切に身に付けられる構成となっており、単元に対する課題追究の興味・関心を高め、適切な課題の設定と振り返りとなるよう、とても配慮されている。また、人権尊重の視点が、世界や日本の様々な事例をもとに記述されており、社会科の目標である「グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎」を育成することができるよう、工夫されている。</p>		

教科書展示会の全体的な意見（学校3 一般1 合計4）

【学校】

- ・学習課題と振り返りの問い合わせが設定しており、見通しと振り返りができるつくりになっていた。
- ・4社とも内容に大きな差がなかったが、帝国書院は資料が見やすかった。
- ・どの教科書も「地理的な見方・考え方」が明示されていてよいと思った。

【一般】

- ・どの教科書も、これまでより資料が見やすくなっている。

意見書 中学校 種目（社会（歴史的分野））

発行	観点	調査結果
東京書籍	1	各章の「探究課題・探究のステップ」各節の「探究のステップ」各単元の「学習課題とチェックとトライ」、章末の「章のまとめ」「チャートを用いたまとめの活動」と統く構成で学習に見通しをもたせるよう、とても工夫されている。(19、36、58、60頁など)
	2 ①	見やすい写真資料や、「スキルアップ」を設定し、「読み取る」「まとめる」など学習活動を明確に示し、主体的な学びを促すよう、とても工夫されている。(9~11頁など)
	②	「みんなでチャレンジ」「探究のステップ」では課題提起がされており、小集団活動や対話的な学びにつながるよう、とても工夫されている。(19、34、36、63頁など)
	③	資料に「歴史的な見方・考え方」が示され、「比較」「関連」「推移」「現在」などを明記し、学習の焦点化がしやすいよう、とても工夫されている。(9、11、12~13など)
	3	章末の「もっと歴史」では、「QRコード」(140頁など) や「Dマークコンテンツ」(8頁など)を取り入れ、ICTを活用した補充的学習がとても充実している。
	4	近代産業の発展を支えた工女の姿から、女性たちが日本経済の発展への貢献を紹介し、職業に対する性的な差別や偏見をなくす配慮がみられる。(172~173頁など)
	5	「持続可能な社会に向けて」では持続可能な社会創造の具体的開発目標(SDGs)の17の目標を図示し、自分たちにできる事を考え、社会の形成者として行動する態度を育むよう、とても工夫されている。(270~271頁)
	6	「もっと歴史 震災の記憶を語りつぐ」などで様々な震災を多面的に捉え、先人の知恵を受け継ぎ、今後どのように行動すべきかを考えるよう、工夫されている。(274~275頁など)
	7	「国境と領土の確定」に加え、特設の「領土をめぐる問題の背景」を設け、領土に関する歴史的経緯や領土への意識を高める内容がとても充実している。(178~181頁など)
	8	アイヌ民族や琉球について「東アジア世界の国々の交流と琉球文化」、特設「アイヌ文化とその継承」を通して、多文化共生と尊重の視点をもたせるよう、とても配慮されている。(90~91頁など)
教科書展示会の結果（学校 10 一般 4 合計 14）		

【学校】

- ・単元構成が、他の教科書よりも大きく捉えることを大事にしていて、わかりやすかった。また、世界史の部分が増えたが、小単元の構成や、掲載されている資料もこれまでの東書の教科書とほぼ同じだったので、使いやすいと思った。
- ・従来のものより、注釈の部分が大きくなり見やすくなった。

【一般】

- ・今年度までの教科書よりも、海外史の扱いが増えており、日本の歴史にともなう世界の背景を詳しく学べる点がよいと感じた。
- ・多くの資料があるものの、あまりに情報量が多い為、苦手な生徒からすると、学ぶ意欲が下がる気がする。

選定委員会の意見

小学校での学びを基礎とし、中学校での歴史学習との円滑な接続のために、章のはじめにイラストを交えた年表を設け、歴史を大観し、関心・意欲をもって学習に臨めるよう工夫されている。

写真や統計、コラムなど資料が豊富で、生徒の実態に応じて様々な視点からの資料を読み取る力や知識・技能の習得、基礎・基本の定着から発展的な深い学びに至るまでの幅広い学習が期待できる。郷土に関する内容も豊富で歴史を身近に感じることができ、歴史学習への意欲の向上が期待できる。章・節・単元とそれぞれの課題が設定され、学習の狙いが明瞭である。

意見書 中学校 種目（社会（歴史的分野））

発行	観点	調査結果
教育出版	1	節ごとの「問い合わせ」に対し、「節をとらえる」が設けられ、単元を通した学びを振り返りやすいよう、工夫されている。(20頁など)
	2	歴史学習のはじめに、すみやかに使った小学校での学習を振り返りながら、興味・関心を引き出すページを設け、小学校と中学校の接続を考え、とても配慮されている。 (2~3 緒じ込み)
	②	資料から浮かぶ疑問点をキャラクターに随所で語らせてことで、対話的な学びにつながるよう、工夫されている。(各ページ)
	③	冒頭に「歴史にアプローチ～歴史の見方・考え方と学習の進め方」を設け、歴史学習を進める際のポイントや「歴史の技」として学習に必要な技能習得のための手順を示し、とても工夫されている。(7~9頁)
	3	各章の扉に「まなびリンク」(QRコード)が設けられ、学習に役立つ情報があるWebサイトにアクセスし、補充的な学習ができるよう、とても工夫されている。(17頁など)
	4	新潟中心商店街共同組合や新潟市歴史博物館の職員を聞き取りをする対象として取り上げ、職業感を育むことができるよう、工夫されている。(14頁)
	5	「歴史学習の終わりに～歴史を振り返って、未来を構想しよう」を設け、SDGsの観点から、自分たちでできることを考えるよう促すなど、とても工夫されている。(289頁)
	6	歴史を探ろう「リサイクル都市・江戸の町人」を設け、江戸時代のリサイクルの知恵の紹介など、環境保全に寄与する態度を養うための工夫がなされている。(140~141頁)
	7	郷土の歴史に関する記述や資料、写真が19か所で取り上げられとても充実している。 (巻頭巻末167頁など)
	8	さまざまなテーマを取り上げたコラム「歴史の窓」のうち、「ほろぼされた中南アメリカの文明」、「歴史の中の在日韓国・朝鮮人」など6か所で人権問題を取り扱い、さまざまな立場を取り上げて記述され、とても配慮されている。(257頁など)
教科書展示会の結果（学校 6 一般 3 合計 9）		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の上に年表があってひと目でどこの時代を学んでいるのか分かってとても良い。 ・各ページの単元名に生徒が興味を引きそうな単元名がつけられており、よく工夫をこらしていると思う。また、各章のまとめと表現のページも見やすくわかりやすくまとめられている。 <p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史は、教育出版のものが、他のページとの関連が分かりやすい。 ・教育出版では人々のために尽くした人物を取り上げてよい。 		
<p>選定委員会の意見</p> <p>小学校での学びを生かし、興味・関心をもって中学校での歴史学習に臨むことができるよう、学習者的小中接続の面で、とても配慮されている。</p> <p>歴史の流れを踏まえた章立てに、節ごとの「問い合わせ」～「節をとらえる」が必ず設けられ、単元を通した学びを振り返りやすいよう、工夫されている。学習者が見通しをもって学習に取り組めるよう、工夫され、生徒の主体的な学びをサポートする紙面となっており、対話的で深い学びにつながるような構成になっている。多くの災害とともに、熊本地震からの復旧・復興を取り上げ、主体的に社会の形成に参画する人々の姿を描くなど、とても配慮されている。</p>		

意見書 中学校 種目（社会（歴史的分野））

発行	観点	調査結果
帝国書院	1	見開き1時間の紙面が、「導入」→「学習課題」→「本文」→「確認しよう」「説明しよう」の展開で構造化され、基礎的・基本的な知識および技能が確実に習得できるよう、とても工夫されている。(194、195頁など)
	2 ①	見開きごとに「年表インデックス」が配置され、巻頭「日本の歴史」年表および巻末「世界の歴史」年表と対応し、理解しやすいよう、とても工夫されている。(巻頭見開き右、巻末見開き右)
	②	資料から浮かぶ疑問をキャラクターに語らせることで、「対話的な学び」につながるよう、とても工夫されている。(244頁など)
	③	「章の学習を振り返ろう」では、異なる二つの時代の「タイムトラベル」の比較などで、「歴史的な見方・考え方」を働きさせ「深い学び」が実現できるよう、とても工夫されている。(56頁など)
	3	二次元コードで、学習内容に関連する動画や「章の学習を振り返ろう」の解答など、生徒が補充的な学習として活用できるよう、とても工夫されている。(122頁など)
	4	身近な地域の歴史について調べる過程で「学芸員さんに質問してみよう」を設け、学芸員の仕事に触れている。(9頁)
	5	「神戸の人たちが東日本大震災の被災地へ送った言葉」を写真入りで取り上げ、阪神・淡路大震災でたくさんのボランティアが活動したことを紹介している。(282頁)
	6	「多面的・多角的に構想する 未来に向けて」では、国連が掲げる「持続可能な開発目標（SDGs）」を、歴史と未来を考える視点として紹介することで、自然を大切にし、環境保全に寄与する意識を高めるよう、工夫されている。(286～287頁)
	7	「歴史を探ろう 日本の領土確定と近隣諸国」では、近隣諸国との歴史的経緯を丁寧に記述し、それに関する開国以来の日本政府の取り組みが国際法に則ったものであることを理解できるよう、とても工夫されている。(266～267頁)
	8	コラム「未来に向けて人権」では、人権に関わる内容を扱い、さまざまな立場の異なる人々への理解を促すことで、個人の価値を尊ぶ態度を養えるよう、とても工夫されている。(215頁など)
教科書展示会の結果（学校 4 一般 4 合計 8）		

【学校】

- ・地図資料が多く使われ地理とリンクした授業に使いやすい。紙の質が良い。
- ・かなりのスペースを使い「ある少女の日記」が掲載されている。8月3日～5日の内容と少女の写真があり、戦争の悲惨さがよくわかる。

【一般】

- ・帝国書院の歴史教科書が歴史の中で埋もれてきた人々を紹介しており、好感がもてる。戦争の加害について記述している。
- ・表示されている写真が他社よりも大きく、生徒が注目して閲覧し活用しやすいのではないかと感じた。

選定委員会の意見

「章の問い合わせ」－「節の問い合わせ」－「単元の問い合わせ（学習課題）」という「問い合わせ」の構造で統一され、「深い学び」が実現できるよう、とても工夫されている。また、見開き1時間の紙面も、「導入」→「学習課題」→「本文」→「確認しよう」「説明しよう」の展開で構造化され、基礎的・基本的な知識および技能が確実に習得できるよう、工夫されている。

「環境」「人権」「平和」などのテーマとしてたくさんのコラムが記述され、また、郷土の資料が多いなど、生徒が「主体的な学び」が実現できるよう、とても工夫されている。

意見書 中学校 種目（社会（歴史的分野））

発行	観点	調査結果
山川出版	1	各章の扉に各時代の帶年表を入れ、一目でその時代の日本と世界の大きな流れが理解できるよう、工夫されている。(102~103頁など)
	2	本文の写真・風刺画・グラフや表などについて考えるべき課題を多く提示し、学習内容の焦点化を図り、主体的な学びが図られるよう、とても工夫されている。(248頁など)
	①	「歴史を考えよう」では、資料を読み解き、現代社会や地域と歴史を繋ぐ力を養うこと
	②	で深い学びにつながるよう、とても工夫されている。(228~229頁)
	③	毎時間の学習課題の問いで各単元で理解すべき点を考え、「ステップアップ」の問いで課題追究を行い「深い学び」が実現できるよう、工夫されている。(86~87頁など)
	3	「歴史へのアプローチ」では、テーマを設定し、時代を通した視点やグローバルな視点から解説されており、多面的・多角的に考察する力を養うような発展的な学習となるよう、とても工夫されている。(200~201頁など)
	4	文化財を守り伝える人として、木簡の発掘などを行っている奈良文化財研究所のインタビューを紹介して、研究員の仕事に触れている。(46~47頁)
	5	「歴史を考えよう⑥第1回普通選挙の実態を探る」などでは、主体的に社会の形成に参画した事例を紹介し、その発展に寄与する態度を養うよう、工夫されている。(228~229頁など)
	6	ピカソの名画「ゲルニカ」と廃墟となった都市ゲルニカの写真を紹介し、ピカソのファシズムへの怒りを学ばせることで、命の大切さを尊ぶ姿勢を育めるよう、工夫がされている。(242頁)
	7	「歴史へのアプローチ⑩ 日本の領土の変遷」では、北方領土や竹島・尖閣諸島を領土に編入した経緯を丁寧に解説し、日本固有の領土であることを理解できるよう、とても工夫されている。(266~267頁)
	8	「歴史へのアプローチ③ 琉球の文化と歴史」と「歴史へのアプローチ④ アイヌ民族の歴史と文化」では、多文化共生の視点をもてるよう、配慮されている。(88~91頁)
教科書展示会の結果（学校 4 一般 4 合計 8）		

【学校】

- ・写真が多く、終戦に向かう悲惨さや状況がよく分かった。「玉音放送」が太字になっており、QRコードを読み込めば、音声が聞ける。
- ・高校の教科書のようで、中学生向けにはあまりに文字が小さい。

【一般】

- ・世界史の中の日本史を見る目を育てる内容だと思う。過去の過ちを繰り返すことなく、相手を尊重し、世界の人々と協力して、未来を切り開いていく内容です。しっかりと学んでいただきたいたいと思った。
- ・高校レベルの内容になっており、本市の子どもには、単元の構成など、もっと学びやすいものにして欲しい。

選定委員会の意見

日本と世界の歴史がどのような歩みを経て現在に至ったのか、また、近代化・グローバル化が世界でどのように進んだかを大観できるように、地図や各時代の帶年表などを使って興味・関心をもって取り組めるよう、とても工夫されている。

本文の写真・風刺画・グラフや表などについて考えるべき課題を多く提示し、生徒が学習内容の焦点化を図り主体的な学びが行いやすいよう、とても工夫されている。

意見書 中学校 種目（社会（歴史的分野））

発行	観点	調査結果
日本文教出版	1	本文見開きの脚注には、小学校社会科や地理的分野・公民的分野との関連を示す連携コーナーが設けてあり、他分野との連携ができるよう、工夫されている。(20頁など)
	2	卷末「さくいん」とは別に『「歴史との対話」を未来に生かす』と題し、政治・経済社会・文化・外交の「テーマ別さくいん」を設け、生徒が主体的な学びをすすめられるよう、工夫されている。(298~299頁)
	①	資料から生まれる疑問を「資料活用マーク」で、必要な情報の読み取りなどの技能を高め、対話的な学びに向かうよう、とても工夫されている。(134頁など)
	②	各单元見開き左に「見方・考え方」の着目する例が示され、見開き右に「深めよう」として見方・考え方を働かせる問い合わせが示されるなど工夫されている。(18~19頁など)
	3	「歴史+α」が18か所設置され、更に深い資料の読み取りや関わりある人物の紹介など、歴史への関心を高めながら発展的に学べるよう、とても工夫されている。(112頁など)
	4	「地域に学ぶ」では、筑豊炭田で炭鉱夫として働いていた山本作兵衛の炭鉱記録画を取り上げ、近代産業は多くの労働者によって支えられていたことが分かるよう、工夫されている。(211頁)
	5	災害と復興の歴史を学び、現代ではどのような防災・減災への取り組みができるのかを主体的に考えられる内容となっており、社会に参画する生徒の意識を高めるよう、とても工夫されている。(291頁など)
	6	地域の環境の歴史として、「公害克服の歴史を調べる - 福岡県北九州市 - 」を紹介し、現代の環境問題を一人一人の問題として捉え、どのように行動すべきかを考えるよう、工夫されている。(294~295頁)
	7	要所ごとにビジュアルの大きな資料を豊富に掲載した文化史のページが設けられており、楽しい学びで時代像を具体的にイメージし、本文を理解しやすいように図版がとても充実している。(106~109頁など)
	8	古代から現代まで、各時代の女性の姿を紹介する「女性史コラム」が8か所設けられており、様々な視点から人権についての理解を深められるよう、とても工夫されている。(135頁など)
教科書展示会の結果（学校 4 一般 1 合計 5）		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文だけのページ、資料だけのページで分けているところがあつて良いと思う。 ・まとめの欄がそのままテストの記述として使えそうな内容になっており使いやすい。 <p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視覚的に分かりやすく、他の出版社のより字はとても読みやすく感じた。歴史でも大きな資料は子どもたちにとって学びやすいものであると感じた。 		
選定委員会の意見		
<p>小学校からの接続として、導入の写真資料・地図・年表に工夫があり、「歴史的な見方・考え方」が第1編に設けられていることで、1年生が関心・意欲・興味を高めることができるように工夫されている。単元の基本構成が整っており、生徒にとって学習の見通しと振り返りが取り組みやすい工夫がされている。本文には、見やすい文字や大きな資料だけでなく、コラムや考えを深めるための特設ページが豊富にあるなど、生徒の理解に応じもっと知りたく、考えたくなるよう、とても工夫されている。</p>		

意見書 中学校 種目（社会（歴史的分野））

発行	観点	調査結果
育鵬社	1	「学習課題」→「本文」→「学習のまとめ」の展開で構成され、基礎的・基本的な知識および技能が習得できるよう、工夫されている。(92~93頁など)
	2	各章始めの「鳥の目で見る 歴史絵巻」では、各時代の歴史の大きな流れや特色を捉えるためのきっかけとなるよう、とても工夫されている。(160~161頁など)
	①	「学習のまとめ」では、学習した知識をもとに「歴史的な見方・考え方」を働かせながら対話的にその時代の特色を考えることができるよう、工夫されている。(213頁など)
	②	「私の歴史博物館」をデザインしてみようでは、今まで学習した情報を精査し、自ら主体的に時代の特色を捉えることができるよう、とても工夫されている。(211頁など)
	3	「歴史ビュー」「人物クローズアップ」「歴史ズームイン」では、多面的・多角的な視点からより広く、より深く学ぶことができるよう、工夫されている。(263頁など)
	4	「人物クローズアップ 台湾にダムをつくった八田與一」では、日本統治時代の台湾に足跡を残した土木技術が、植民地を開発する中で現地の人たちのために貢献し感謝されていた事実を紹介するなど工夫されている。(201頁)
	5	「献身」「公共」「勤勉」などの美德を体现した人物や国家や人生の岐路において道を切り開いていった人物などを「人物クローズアップ」で紹介し、国や社会の発展に寄与する態度を養うよう、工夫されている。(137頁など)
	6	「歴史モノサシ」の中で、宇宙と人類の誕生モノサシにより、人類が地球に誕生するまで長い時間を費やしたことを見分けやすく示し、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うよう、工夫されている。(7頁)
	7	「日本の美」「世界と日本の世界遺産文化」「日本列島・歴史の宝庫—各地の主な遺跡・史跡」では、各地の様々な芸術作品や文化遺跡や遺跡・史跡を取り上げることで、日本の伝統と文化を尊重する態度に養えるよう、とても工夫されている。(巻頭3~6頁など)
	8	「人物クローズアップ 杉原千畝と樋口季一郎」では、2人の行動を知ることで、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるよう、とても工夫されている。(241頁)
	教科書展示会の結果（学校 4 一般 3 合計 7）	
	<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文以外のコーナーに興味深いコラムが載っており引き付けられた（「明治維新はなぜ成功したのか」など）。また、全体としてとても分かりやすく、子ども達は学習しやすいのではないかと思った。 神話や日本の植民地政策などに政治的立場が強く出ており、不適切だと思う。 <p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学び舎のもの（あたかも共産主義が良いかのように取扱われる部分がある）と対する記述であった。 皇国史觀に基づく記述が目立ち、戦争を美化するものなので、採択しないでほしい。 	

選定委員会の意見

見開き1時間の授業が「つかむ」「調べる」「まとめる・表現する」の展開で構成されており、写真やグラフ、コラムなどを豊富に掲載し、基礎的・基本的な知識および技能が習得できるよう、工夫されている。「鳥の目で見る」など歴史の大きな流れを一目で理解し、資料を詳しく読み取る技能などを生徒が習得できるよう、工夫がみられる。「歴史ズームイン」や「歴史ビュー」などコラムや資料が充実しており、生徒が歴史事象を多面的・多角的に考察することができるよう、工夫されている。

意見書 中学校 種目（社会（歴史的分野））

発行	観点	調査結果
学び舎	1	教科書全体を通して、「部・章」—「本文」—「章を振り返る」—「学習のまとめ」と続く構成をとっており、学習に見通しをもたせ、振り返りが行いやすいよう、工夫されている。(52~53頁)
	2	章のはじめには「年代スケール」が示されており、見通しをもって学習できるよう、工夫されている。(10頁など)
	①	学習のまとめに「歴史のできごと・スリーヒントゲーム」が設けられており、学習した内容を用いて、グループで問題を出し合えるよう、工夫されている。(53頁)
	②	「学習のまとめ」では、年表や地図と学んだ知識を関連付けたり、比較したりすることで「深い学び」が実現できるよう、工夫されている。(34頁など)
	③	「インターネットで『洛中洛外図屏風』を見る」や「山本宣治の人物調べ」では、主体的に学習がすすむよう、工夫されている。(105頁など)
	3	ハイチ革命の指導者トゥサン=ルベルチュールを取り上げ、財政の立て直しや政治に尽力した人物から職業観、勤労観を育むことができるよう、工夫されている。(141頁)
	4	社会の課題に取り組む子供たちを特集することで、同世代の子供たちの活躍を知り、主体的に社会の形成に参画する態度を育てるよう、工夫されている。(246~247頁)
	5	「学習のまとめ」では、国際社会の問題として、話し合い学習が取り入れており、人と自然環境との関わりについて深く考えるよう、工夫されている。(280~281頁)
	6	「歴史を体験する」では、地域の歴史について、調査や発表方法についての手立てが示されており、郷土の伝統や文化を理解できるよう、工夫されている。(132~133頁)
	7	歴史の主体として女性を捉え、女性の働き、学びと創造、社会運動などが多くページに記述されており、誰もが個人として尊重しあえる社会について、考えを深め、人権尊重の精神を養うことができるよう、配慮されている。(194、206頁など)
教科書展示会の結果（学校 2 一般 4 合計 6）		

【学校】

- 第二次世界大戦が9時間も取り扱われておらず、多すぎる。また、内容的に自虐的で、読み方受け取り方にあたって、偏った見解にも見える。教科書は客観的な立場で記述された方が考えを広げやすい。
- 他と比べて教科書が大きかったが、大きくするメリットが見当たらない。

【一般】

- これまで歴史は、男性の視点で、男性だけが多く取り上げられてきていると思う。もっと、女性をたくさん登場させてほしい。その意味で「学び舎」の教科書が一番いいと思った。
- 1社（学び舎）のみ、中国・韓国人名、地名を現地読みを上に記していた。さらに、この学び舎の戦争をとりあつかう時数が9時間もあった。他社の4時間（第二次大戦）に比べると、多すぎると感じた。また、非常に内容に偏りがあり、あたかも、共産主義が良いかのようにとらえられる部分があった。

選定委員会の意見

章の扉ページに、北極を中心とした地図を置き、テーマに沿って世界各地の様子を想像・予想できるように写真の配置が工夫されており、生徒の興味・関心を高め、主体的な学びにつながる内容となっている。

部や章のまとめには、インタビュー記事などを作る表現活動や『学問のすゝめ』をどう読むかなどの歴史討論学習が設けられており、対話的で深い学びにつながるよう、工夫されている。

教科書展示会の全体的な意見（学校 2 一般 6 合計 8 ）

【学校】

- ・多くの出版会社で、章や節ごとに学習課題や振り返りの問い合わせが設定され、見通しと振り返りができるようになっている。
- ・これまでの教科書に比べて、文化関係の資料が大きく非常に見やすい。

【一般】

- ・どの教科書も、これまでより資料が見やすくなっている。
- ・これまで歴史は、男性の視点で男性だけが多く取り上げられてきていると思う。
もっと、女性をたくさん登場させてほしい。
- ・戦争を2度とくりかえさないためにも歴史教育は重要。特に、従軍慰安婦について中学生にも何とか教えてほしい。「山川出版社」の教科書には、少しだけではあるが記述があった。この程度なら、出版社にも入れられるはず。
- ・日本の歴史には、沖縄や北海道のアイヌのことも入れておくべき。
- ・教えられ、暗記する学習活動は、世界の流れからはじき出されてしまう。ひとりひとりが、読み込み、考え、行動につなげる様な教科書を子供たちには読んでもらいたい。
- ・教育勅語の訳が正しくない。
「夫婦相和シ」妻は夫に従って仲よく。
「一旦緩急アレバ・・・」身命をとして天皇・国に尽くす。
とすべきを、東書—P189、山川—P189、教出—P181、育鵬社—P193

意見書 中学校 種目（社会（公民的分野））

発行	観点	調査結果
東京書籍	1	各章ごとに章・節・本時の課題が設定しており、構造化された課題解決的な学習の流れができるよう、とても工夫されている。節では「探究のステップ」、本時では「チェック&トライ」が設定され、課題解決のしくみがとても充実している。(39、42~43頁など)
	2 ①	章ごとに導入の活動、まとめの活動が設定しており、教材も系統的配列がなされ、見通しをもって学習に取り組み、生徒が主体的に課題を解決しようとするよう、とても工夫されている。(38~39頁など)
	②	「みんなでチャレンジ」が設定しており、グループでの対話的な活動を通して、社会的な見方・考え方を広げるために活動がとても充実している。(9頁)
	③	「見方・考え方」のコーナーでは、現代社会の諸課題に対して、見方・考え方を働かせて多様な考え方や答えを導き出すなど、とても工夫されている。(10頁など)
	3	二次元コードから地理や歴史、関連する教科のページの紙面を見ることができる。Dマークコンテンツではシミュレーションができ、関連するHPともリンクしており補充的・発展的な学習ができるよう、とても工夫されている。(16頁など)
	4	労働の意義と労働者の権利の記述では、ワーク・ライフ・バランスの視点から、いきいきと働く社会の実現について考えられるよう、工夫されている。(146~147頁)
	5	「18歳へのステップ」では、選挙制度と契約について考える課題が設定しており、選挙年齢や成年年齢の引き下げを受けて主体的に社会の形成に参画する態度を養えるよう、とても工夫されている。(88、136頁)
	6	公害問題を抱えた水俣市の先進的な環境政策や、東日本大震災を取り上げ、防災・減災・環境保全への意識が高まるよう、とても工夫されている。(178頁など)
	7	日本の特色ある伝統や文化に関する写真や資料を多数掲載し、伝統文化の継承と継承に取り組む中学生についても紹介し、主体的に継承しようとする資質や能力を養えるよう、とても工夫されている。(20~21頁)
	8	部落差別、女性差別、障がい者差別、在日外国人差別などの日本国内の人権をめぐる問題のほか、諸外国の人権をめぐる問題にも目を向け、人権教育の推進が図れるよう、とても工夫されている。(50~54頁)
教科書展示会の結果（学校 9 一般 2 合計 11）		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「効率と公正」がとても分かりやすかった。 ・生徒が自分の意見や考え方を書く場面の設定が増えている。 <p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京書籍は、福島の復興を強調し、汚染水や住民のことに触れていない。 ・エネルギー問題についての記述が酷いので、採択しないでほしい。 		
選定委員会の意見		
<p>教科書全体が「導入の活動」「探究のステップ」「探究課題」「まとめの活動」という流れで、章ごとに導入の活動からまとめの活動がよく整理されており、生徒が見通しをもって学習を進め、1時間の学習での学習課題を段階的に解決することにより、単元を貫く課題の解決ができるよう、とても工夫されている。さらに、「公民にアクセス」、「Dマーク」など生徒の深い学びにつなげるための工夫がされている。調査学習や対話的な学びのための課題や発問、熊本県の事例などの資料も多くあり、生徒が興味・関心をもち、主体的な学びの実現に向けてとても充実している。</p>		

意見書 中学校 種目（社会（公民的分野））

発行	観点	調査結果
教育出版	1	章の流れが導入、本時、特設、まとめとなっており、見通しをと振り返りがしやすく、とても工夫してある。また、その章で意識させたい公民学習の「見方・考え方」を活用して考えさせる問いかけが、とても工夫されている。(38~39頁など)
	2 ①	章の初めに「学習のはじめに」という導入の学習があり、生徒がなぜその単元を学ぶのかという目的意識をもてるよう、とても工夫されている。(12頁など)
	②	「言葉で伝えあおう」が設定され、新しい人権についてのディベートや、メディアリテラシーについての議論、レポートの作成などの対話的な学びの場面がとても充実している。(68頁など)
	③	各章の「学習のまとめと表現」では、全体の学習を振り返って整理し、省全体の課題について考えられるようになっており、深い学びを実現できるよう、とても工夫されている。(36頁など)
	3	「まなびリンク」のQRコードから、学習に役立つ様々な情報を見ることができ、補充的・発展的な学習ができるよう、とても工夫されている。(11頁など)
	4	中学生が立ち上げた株式会社(八代郡氷川中学校)の活動を取り上げ、起業することの意義を、生徒の発達に応じて学ぶことができるよう、とても工夫されている。(146頁)
	5	対立と合意、効率と公正の観点から、話し合い活動を通して、社会参画の態度を養うことができるよう、工夫されている。(13頁など)
	6	地球環境問題、資源・エネルギー問題に関する写真や図、グラフなどを多数掲載し、持続可能な発展のあり方について考えることができるよう、工夫されている。(218~223頁)
	7	法隆寺の技術を生かした東京スカイツリーやクールジャパンを取り上げ、技術や文化を継承することが新たな文化を創造し、今の暮らしを支えていることが理解できるよう、とても工夫されている。(24~25頁)
	8	「公民の窓」「公民の技」「クリップ」では、人権についてさまざまな問題を取り扱い、人権学習に配慮した構成になっており、とても充実している。(43頁など)
教科書展示会の結果（学校 5 一般 2 合計 7）		
【学校】		
<ul style="list-style-type: none"> 詰め込みすぎている感じがある、少し生徒のやる気をそいでしまいそう。 図版やグラフ等のサイズが大きく、授業で扱いやすいように感じた。 国会や株式会社の仕組みなど図版の簡略化が見やすい。 		
【一般】		
<ul style="list-style-type: none"> 一番いいのは教育出版。日本国憲法の理念、それを中学生にもわかるような内容となっている。また、女性の人権についてもわかりやすく描いてある。 教育出版だけは、憲法に基づいて公平に記述されているので採択してほしい。 		
選定委員会の意見		
<p>各章の構成が、ほぼ「章の導入」「本時」「特設」「まとめ」となっており、章全体の学習を振り返って整理し、章全体の課題について考えられるようになっており、深い学びを実現できるよう、とても工夫されている。また、SDGsに関して、教科書全体を通して持続可能な未来のあり方について考え、深めていく構成になっており、右側のページ下にSDGsとの関連が分かるよう、とても工夫されている。章の初めの「まなびリンク」のQRコードを読み込むことで、その章に関する情報を得ることができ、補充的・発展的な学習ができるよう、とても工夫されている。</p>		

意見書 中学校 種目（社会（公民的分野））

発行	観点	調査結果
帝国書院	1	1部から4部の導入「学習の前に」で章の問い合わせを設定し、「章の学習を振り返ろう」での振り返りを行い、深い学びの実現を図るためにとても工夫されている。(1、26頁など)
	2 ①	1部から4部までのそれぞれの導入では、見開き2ページにわたる大きなイラストがあり、単元への興味・関心を高めるとともに、イラストに見られる変化や気づきから、生徒自ら学習課題を見つけられるよう、とても工夫されている。(27頁など)
	②	「アクティブ公民」では、学習したことを基に、社会に見られる課題について解決に向けて話し合い、解決策を考える活動が設定されており、対話的な学びが実現できるよう、とても工夫されている。(23頁など)
	③	「章の学習を振り返ろう」では、「章の問い合わせ」に対して、思考力・判断力・表現力を用いた課題の振り返りを行い、深い学びを実現できるよう、とても工夫されている。また、見方・考え方を働かせて考えるステップにより、課題解決的な学習ができるよう、とても工夫されている。(15~16頁など)
	3	巻頭と各章の始め、終わりに二次元コードがあり、イラストや章末問題の解答、資料の補足説明など学習に役立つ情報をウェブサイトでみることができ、補充・発展的な学習ができるよう、とても配慮されている。(巻頭4)
	4	「パン屋を起業しよう」①~⑦が設定しており、働く意義、企業活動、金融のしくみ、企業競争、労働問題、長時間労働、食品ロスについて、経営者の思いに触れながら、勤労観や職業観を育むことができるよう、とても工夫されている。(128頁など)
	5	防災備蓄倉庫の設置、マンションの騒音問題、道路拡張の問題を取り上げ、ロールプレイング、対立と合意、効率と公正の見方・考え方を用いた学習を通して、主体的に社会の形成に参画する態度が養われるよう、とても工夫されている。(17~19頁など)
	6	「よりよい社会を目指して『地球環境問題・資源・エネルギー問題の解決に向けて』」で4つの自治体が行っているSDGsの活動を掲載し、「持続可能な社会の実現」に向けて何が必要かを考えることができるよう、とても工夫されている。(197~198頁)
	7	地域の伝統芸能を受け継ぐ中学生の活動や狂言師野村萬斎氏のインタビューの教材を掲載し、「継承」「交流」の観点から伝統文化を取り扱い、我が国の伝統や文化に関心を持てるよう、工夫されている。(11~14頁)
	8	「未来に向けて」には対話的な学びを促す12のテーマのうち8テーマが人権に関するテーマが設定され、人権教育の推進が図られるよう、配慮されている。(162頁など)
教科書展示会の結果（学校 4 一般 1 合計 5）		
【学校】		
<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ設定がしやすく、問題解決型の授業を展開しやすいように感じた。資料の量・質ともに適切である。 ・帝国書院の導入ページのイラストは、すごく生徒の関心を高めると思う。 		
【一般】		
<ul style="list-style-type: none"> ・政治分野で「自民圧勝」の写真など、偏った思想を植え付けている。採択しないでほしい。 		
選定委員会の意見		
<p>現代社会、政治、経済、国際の4部構成になっており、各部の導入では見開き2ページの大判イラストを使い、学習内容に関連するイラストを探す活動を通して、生徒の興味・関心が「章の問い合わせ」につながるよう、工夫されている。また、章、節、見開きには、それぞれ「問い合わせ」と「振り返り」が設定されており、構造的に構成され、課題解決的な学習ができ、深い学びにつながるよう、とても工夫されている。「先輩たちの選択」では、各分野で活躍する人のメッセージが取り上げられており、職業や勤労、社会貢献、国際貢献へ意欲が高められるよう、配慮されている。</p>		

意見書 中学校 種目（社会（公民的分野））

発行	観点	調査結果
日本文教出版	1	毎時間の学習で、学習課題と見方・考え方が、振り返りには「確認」が設定され、学習課題の理解を確かなものにするよう、とても工夫されている。(40~41頁など)
	2	編のまとめで語句の確認、「ニュースを『見方・考え方』から見てみよう」で、新聞などから現代社会のことを考えるように課題が設定してある。また、シンキングツールのまとめ方など、学習活動の振り返りがとても充実している。(32~33頁など)
	①	「アクティビティ」や「深めよう」では、ディベートや話合いのテーマがあり、意見交換や議論をする場面を積極的に設定してあるため、対話的な学びができるよう、とても工夫されている。(9頁など)
	②	「アクティビティ」や「深めよう」では、ディベートや話合いのテーマがあり、意見交換や議論をする場面を積極的に設定してあるため、対話的な学びができるよう、とても工夫されている。(9頁など)
	③	編末の「チャレンジ公民」では、見方・考え方を働かせるような問い合わせを段階的に設けてあり、生徒が自ら考える力を育む深い学びを行えるよう、工夫されている。(74頁など)
	3	「公民+α」では、学習内容に関する事項の理解を深め、発展的な学習につなげられるよう、工夫されている。(11頁など)
	4	女性の働き方と高齢者雇用について、「効率」「公正」の観点から、ワーク・ライフ・バランスや年金などの社会保障制度を学びながら職業観・勤労観を育むための工夫がなされている。(150~151頁)
	5	現代社会の見方・考え方では、きまりの意義、きまりを守る責任と評価について、「対立」と「合意」、「効率」と「公正」の観点から公共の精神を養うよう、とても工夫されている。(24~31頁)
	6	東日本大震災における中学生の命を守る行動、地域の助け合い、地方公共団体の防災・減災の取り組みを、自助・共助・公助の観点から説明し、防災・減災を主体的に考えることができるよう、配慮されている。(96~97頁)
	7	日本の伝統的な風景や文化、祭りなど多数の写真を掲載し、日本の伝統文化に関心をもたせ、文化が暮らしの中に大きく影響していることを理解できるよう、配慮されている。(18~23頁)
	8	「アクティビティ」や「公民+α」の中で人権に関して多く扱われ、特に「公民+α」には、ハンセン病に関する熊本地裁判決の記事が紹介されており、本市中学生においては身近な課題としてとらえることができ、理解を深める上で、工夫されている。(57頁)
教科書展示会の結果（学校 2 一般 1 合計 3）		
【学校】		
<ul style="list-style-type: none"> ・文字が大きくて良い。 ・まとめの欄がそのままテストの記述として使えそうな内容になっており使いやすい。 		
【一般】		
<ul style="list-style-type: none"> ・政治分野で「自民圧勝」の写真など、偏った思想を植え付けている。採択しないでほしい。 		
選定委員会の意見		
<p>本文と関連した様々な資料が掲載され、吹き出しの問いや「公民+α」などで、資料をじっくり読ませ、自分の考えを引き出させる場面が多く設定されており、多面的・多角的な考え方を育むよう、工夫されている。また、編の導入部分で、最初にSDGsについて取り上げて、イラストをもとに考えさせることで、学習に見通しをもたせている。また、「情報スキルアップ」「アクティビティ」のコーナーでは、生徒にとって身近で作業的な学習課題を示したり、主体的に学習に取り組んだりすることができるよう、工夫されている。</p>		

意見書 中学校 種目（社会（公民的分野））

発行	観点	調査結果
自由社	1	毎時間の学習課題が設定しており、課題の答えが「ここがポイント」を読むとわかるので生徒が分かりやすく主体的に取り組めるよう、工夫されている。(48~49頁など)
	2 ①	章のまとめとして「学習のまとめと発展」があり、「学習のまとめ」で最重要語句を確認し、「学習の発展」で章の振り返りをすることができ、見通しをもって学習に取り組めるよう、工夫がみられる。(22頁など)
	②	「アクティブに深めよう」では、自分の考えや班での話合いの内容などを表にまとめる活動が設定しており、対話的な学びのための工夫がみられる。(8頁など)
	③	「やってみよう」では、習った知識を関連付けて考えさせることができ、深い学びにつなげる工夫がみられる。(4頁など)
	3	「ミニ知識」「もっと知りたい」では、学びを掘り下げ視野を広げられるよう、工夫されている。(13~14頁など)
	4	働くことの意味、特にワーク・ライフ・バランスについて、よくまとめてあり、勤労観・職業観を育むことができるよう、工夫されている。(146~147頁)
	5	ルールやきまりの必要性について、対立と合意、効率と公正の観点から、体育館使用やまちづくりについて、考えることができるよう、工夫されている。(34~39、40~41頁)
	6	東日本大震災、伊勢湾台風などの自然災害を教材とし、災害の怖さとともに、自助・公助の大切さに気付くことができるよう、配慮されている。(116~117頁)
	7	国旗・国歌のもつ意味、国旗掲揚の国際儀礼、他国の国家の意味など多種多様な資料を掲載し、我が国の国旗・国歌に誇りをもてるよう、配慮されている。(168~169頁)
	8	日本人拉致問題については、世界と日本の安全保障のページや「もっと知りたい」で合計3ページにわたって記述があり充実している。(189~191頁)
教科書展示会の結果（学校 4 一般 3 合計 7）		
【学校】		
・天皇の仕事や年中行事について、見開き2ページの資料が掲載されており、大変興味深かった。		
・憲法の制定過程の記述や天皇の役割などに政治的立場が強く出ており、不適切だと思う。		
【一般】		
・日本国憲法制定について、偏った書き方をしてある。自由社は、この憲法についてだけでなく、「紹介する主な人物」が男性ばかりだったり、中学公民なのに、家族の役割を書いてあったり、と内容がひどすぎる。こういう教科書(?)は出さないでほしい。		
・自由社は酷すぎる。なぜ、自衛隊の最新鋭の武器の写真を載せる必要があるか。採択しないでほしい。		
選定委員会の意見		
日本の伝統や文化については、資料が豊富で分かりやすく理解できるよう、工夫されている。		
また、自衛隊の現状や課題、領土問題、日本人拉致問題、国旗・国歌についても図や写真を使い生徒の理解が進むよう、配慮されている。語句の解説が多く、はじめて目にする難しい語句を理解しながら学習を進めることができる工夫がみられる。		
「もっと知りたい」は21か所設置しており、さらに「ミニ知識」というコラムも多数あり、生徒の興味を引く内容となっており工夫がみられる。		

意見書 中学校 種目（社会（公民的分野））

発行	観点	調査結果
育鵬社	1	各章のはじめに「○○の入り口」という導入部分で章の課題が示してあり、章末に振り返りが設定してあるので見通しをもって学習に取り組むための工夫がみられる。(36~37頁など)
	2 ①	1時間の授業ごとに「課題」、「まとめ」の発問があり、学習の振り返りとして活用できるよう、とても工夫されている。(40~41頁など)
	②	「スキルアップ」が7項目設定しており、発表の仕方や議論の仕方等が示され、対話的な学習に必要な基礎的な技能を育む工夫がみられる。(73頁など)
	③	「学習を深めよう」では、本文で学習したことにより詳しく説明したり関連する情報を紹介したりしてあり、社会事象に対して「見方・考え方」を働かせながら、多面的・多角的に考え、今日的課題について話し合えるよう、工夫されている。(11頁など)
	3	章のはじめの「学習の入口」や章末の「学習のこれから」が設けてあり、問題意識をもって学習に取り組めるよう、工夫されている。(36~37、72~73頁など)
	4	働くことの意義や労働問題、働き方改革等、ワーク・ライフ・バランスの観点などから、勤労観・職業観を育むことができるよう、工夫されている。(136~139頁)
	5	主権者教育や社会参画については、18歳投票や市議会議員のロールプレイング、市議会議場で話し合う中学生の写真などを掲載し、主体的に関わろうとする態度を育成する工夫がみられる。(76~77、110頁)
	6	東日本大震災や熊本地震、西日本豪雨でのSNSやAIの活用を紹介し、防災・減災の在り方や安全で安心な地域づくりについて考え、関心がもてるよう、工夫されている。(14~15頁)
	7	我が国の伝統や文化に関する写真を多く掲載し、継承・保存に取り組む中学生の姿も紹介し、我が国の伝統・文化への理解と愛情を深められるよう、とても工夫されている。(18~23頁)
	8	「学習を深めよう」は49か所設置しており、このうち3分の1近くが人権に関する内容であり、特に『ともに生きる』ためにできること」や「世界の人権問題」については、内容が充実している。(60~61、70~71頁)
教科書展示会の結果（学校 2 一般 2 合計 4）		

【学校】

- ・難しい部分をポップに変えて、取り組みやすいように工夫がなされている。
- ・大日本帝国憲法の評価や平和主義の記述などに政治的立場が強く出ており、不適切だと思う。

【一般】

- ・「育鵬社」国民主権の説明より天皇の役割などの説明が多い。1P 天皇のおことばは必要か？
- ・日本国憲法制定について、偏った書き方をしてある。育鵬社は採択しないでほしい。

選定委員会の意見

伝統や文化、領土問題に関する記述が詳しく、資料も豊富に掲載されており、生徒が資料を活用して学習し、理解を深める工夫がみられる。さらには、伝統や文化だけではなく、SDGsや子どもの貧困や子ども食堂などを扱っており、今日的課題や人権問題についてもバランスよく取り上げるなど工夫がみられる。

新聞記事が多く掲載されていることから新聞を身近に感じ、現代社会の出来事に興味・関心をもち、学習を進めていくよう、工夫されている。

意見書 中学校 種目（社会（公民的分野））

教科書展示会の全体的な意見（学校 3 一般 3 合計 6）

【学校】

- ・全体的に見通しと振り返りができる構成になっている。
- ・地理では、SDG が大きくとり上げられているが、公民では、少ない。地球規模の課題やそれに向けた目標は公民でもしっかりと扱った方が良いのではないかと思った。
- ・全ての教科書でグラフが大きく示されており、読み取りやすいと感じた。

【一般】

- ・どの教科書も、これまでより資料が見やすくなっている。
- ・社会公民において、どの教科書もエネルギー政策、原発に対しての記述が少なく、不十分である。
- ・世の中を生きていく上で、一番大切な教科のひとつである公民について。若いうちから日本国憲法をきっちり学んでほしい。また、人権について学んで、常にその感覚をもつていてほしい。以上のことを見て、中学公民を読み比べてみた。

意見書 中学校 種目（ 地図 ）

発行	観点	調査結果
東京書籍	1	学習指導要領の社会科の目標が達成できるよう、必要な地図・統計資料・絵地図等で構成されている。AB版の大きさで、机におさまるよう配慮されている。
	2	世界の各州は一般図→基本資料(3州のみ鳥瞰図)→テーマ資料、日本の各地域は一般図→拡大図→資料図とほぼ決まった手順で配置され、テーマに沿って資料を用いた学習ができるよう、配慮されている。(49~58頁など)
	①	卷頭に8ページにわたって現代的な諸課題の特設ページが設定され、キャラクターの
	②	発問等で諸課題を的確に捉え、課題解決の方法に気付いたり、取り組んだりする学習活動を通して、対話的な学びが実現できるよう、工夫されている。(7~14頁)
	③	世界の各州・日本の各地域の「テーマ資料」が設けてあり、地理的分野の諸地域学習の研究課題に沿って学習する際に活用できる資料が掲載され、探究課題の考察を通して理解を深めることができるよう、工夫されている。(36頁など)
	3	社会科教科書の内容との連携を図り、教科書本文や資料を補完したり、深めたりする資料が豊富に掲載され、授業での活用度を高め、習得すべき事項が定着するよう工夫されている。(36頁など)
	4	東京オリンピック・パラリンピックの会場等の紹介がしてあり、目標に向かって努力することの大切さ・働く喜びなどが実感できるよう、とても工夫されている。(132頁)
	5	世界における日本の国際協力や平和への取り組みの資料を取り上げられ、我が国の国際社会における役割と社会との関わりが身に付くよう、とても工夫されている。(10頁など)
	6	環境都市を目指す水俣市や北九州市など、身近な地域の環境への取り組みを紹介し、環境保全に寄与する態度を養うことができるよう、とても配慮されている。(94頁)
	7	卷末の「日本の周辺」の地図では、我が国の東西南北端を示し、我が国の領土・領域について理解が深められるよう写真を交えて説明がされており、充実している。(190~191頁)
	8	登場するキャラクターの男女比がほぼ等しく、人権尊重の精神の涵養を図ることができるよう、工夫されている。(5~6頁)
教科書展示会の結果（学校 3 一般 0 合計 3 ）		

【学校】

- ・地図は大きくはないが、色合いが落ち着いていて見やすい。
- ・A4判の新しいサイズは目新しかった。しかし生徒の登下校の負担になりそうなくらい重い。
- ・地図と資料が多く内容は充実していて資料集が必要でなくなる。

選定委員会の意見

机におさまりやすい幅広のAB判を生かし、地理的な位置関係や地域間の結び付きが捉えやすくなっている。

歴史的分野・公民的分野での活用度を高めた特設ページが設定され、社会科教科書との連携が図れる「教科書準拠的資料集」の役割となるよう、工夫されている。

キャラクターによる地図の比較関連を促す発問や作業を促す発問を配置すること、また、Dマークリストにより学習の参考となる関係省庁のキッズサイトにアクセスできることにより、深い学びが実現できるよう、配慮されている。

意見書 中学校 種目（ 地図 ）

発行	観点	調査結果
帝国書院	1	巻頭に「地図帳の使い方」が俯瞰的な絵地図を利用して5ページにわたり詳しく掲載され、地図学習で必要な内容がとても充実している。(4~8頁)
	2 ①	世界の各州は一般図→生活・文化・産業のイラストを配置した鳥瞰図と断面図、日本の各地域は一般図→拡大図→資料図と全て決まった手順で配置され、地域的特色を視覚的に大観し、見通しをもって学習ができるよう、とても配慮されている。(5~6頁など)
	②	社会科の学習だけでなく、修学旅行や校外学習でも活用できる資料や都市図が5万分の1の縮尺で記載され、生徒同士及び教師との対話が推進するよう工夫されている。(77頁、89頁②、103~104頁など)
	③	要所に「地図活用」が設置され(計94か所、全131問)、地図の比較関連を促す発問や作業を促す発問が掲載しており、地図の読み取りなどの地理的技能の習得と、社会的な見方・考え方を働かせた学習に活用できるよう、とても工夫されている。(9頁など)
	3	一般図の見開きの全てに索引・方位・凡例・縮尺が掲載されており、地図活用の基礎・基本をどのページでも繰り返し学習できるよう、とても工夫されている。(77頁など)
	4	オリンピック・パラリンピックの開催地や参加国の変化が示してあり、目標に向かって努力することの大切さが実感できるよう、とても工夫されている。(161頁④)
	5	日本の自然災害・防災の特設ページが設けられ、実生活の中で生かすことができるよう、とても工夫されている。(149~150頁)
	6	環境問題に関する特設ページが設けてあり、世界の環境問題の現状、原因、対策を取り上げ、環境問題や持続可能な開発目標(SDGs)への関心が高められるよう、とても工夫されている。(13~14・28⑩・35頁など)
	7	北方領土(日本とロシア・ソ連の国境の変遷)(142頁③)、竹島や尖閣諸島について地図や写真を撮った位置が掲載されており、日本の国土や領域について正しく理解できるよう、とても充実している。また、大陸から日本の地図や大陸側から日本を見た鳥瞰図などが設置されており、世界を多面的・多角的に学習することができるよう、とても工夫されている。(77~82頁、89頁③、142頁①②③、3頁、31~32頁)
	8	「地名を手話で表す」コーナーが設けられ、インクルーシブ教育の対応が図られており、聴覚障がいの生徒が安心して学習できるよう、配慮されている。(186頁)
教科書展示会の結果(学校12 一般1 合計13)		
【学校】		
<ul style="list-style-type: none"> 大きくなつたことで、今までよりも見やすくなつた。これまで掲載されている資料が見にくくことがあったが、今回この問題が解決したように思える。 地図帳で一番大切な見やすさを感じた。鳥瞰図は地形も視覚的にわかり、良いと思った。 		
【一般】		
<ul style="list-style-type: none"> 見やすい。 		
選定委員会の意見		
<p>大判化したA4判の紙面を生かし、例えば世界では、原則として「一般図」→「鳥瞰図」→「資料図」という配列になっており、特色が具体的に読み取れるように構成されている。「地図活用」のコーナーに地図の比較関連を促す発問や作業を促す発問が配置されており、社会的な見方・考え方を働かせるよう、とても工夫されている。二次元コードには学習の参考となるコンテンツが用意され、生徒の実態に応じた補充的・発展的な学習に活用できるよう、とても工夫されている。以上のように、主体的な学びや深い学びへの手立てがとても充実している。</p>		

意見書 中学校 種目（ 地図 ）

教科書展示会の全体的な意見（ 学校 0 一般 0 合計 0 ）

意見書 中学校 種目（数学）

発行	観点	調査結果
東京書籍	1	各学年の巻頭には、教科書の「使い方」や「大切にしたい数学の学び方」、「ノートのつくり方」を示しており、目標達成に向け、よく工夫されている。（各学年2～8頁）
	2 ①	「章とびら」では、日常生活の場面をイラストと「問い合わせ」で提示されており、生徒が主体的に学習に取り組めるよう、とても工夫されている。 (1年61頁、2年125頁、3年209頁など)
	②	キャラクターの考え方をもとに生徒が説明する場面が多く設定されており、生徒の授業における対話的な学びが深まるよう、よく工夫されている。 (1年62頁、2年75頁、3年128～129頁など)
	③	各章の「深い学びのページ」では、問題解決的な学習の中で、生徒が既習内容を用いて自ら考えたり調べたりする活動を通して、新たな知識や技能を身に付け学びを深めることができるよう、工夫されている。(1年145～146頁など)
	3	各章の「章の問題B」では「活用の問題」が豊富に準備されており、巻末の解答例も説明が詳しく充実している。(1年111～112頁、2年93～94頁、3年163～164頁など)
	4	「学びをひろげよう」のページでは、東京オリンピックのエンブレムや渋滞学を題材にして、生活の中の数学や社会で働く人の姿を取り上げてあり、生徒に勤労観や職業観を育むことができるよう、工夫されている。(1年182～183頁、3年122～123頁)
	5	「待ち時間の予想はできるかな？」や「走行時の速さを推定しよう」の題材は、生徒が社会規範を守ったり、公徳心をもったりする態度を養うことができるよう、工夫されている。(1年145～146頁、3年115～116頁)
	6	「二酸化炭素の排出量の削減」や「琵琶湖の固有種の調査」の題材を通して、生徒が環境保全の意識を高めることができるように、配慮されている。(2年56頁、3年221頁)
	7	「日本の伝統模様」や「金沢駅の鼓門」の題材は、日本の伝統文化のよさを感じることができ、生徒が我が国と郷土を愛する態度を養うことができるよう、配慮されている。 (1年158頁、3年67頁)
	8	「車いすマラソン」や「点字を読んでみよう」などの題材は、生徒に人権尊重の精神や多様性の尊重の態度を養うことができるよう、よく工夫されている。 (1年149頁、2年208頁)
教科書展示会の結果（学校6一般0合計6）		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1ページの情報量が多かったように感じる。 ・デジタルコンテンツを活用し、学習への意欲を引き出したり、学びを深めたり、数学的な活動の楽しさを実感したりできる工夫が見られた。 ・3年生の $y=a^2$ の単元において、変化の割合→変域→平均の速さという扱う順番の流れが不自然なように感じられる。個人的には、変域→変化の割合→平均の速さの順番だと内容が伝わりやすいと思う。 <p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし 		
選定委員会の意見		
<p>「章とびら」と「節の導入」では、日常生活と結びついた題材が多く取り上げられており、生徒が意欲をもって学習に取り組めるよう、工夫されている。また、「深い学びのページ」を設け、生徒が主体的・対話的で深い学びを実現できるよう、問題発見・解決の過程を重視した数学的活動が設けられている。</p> <p>多くの「問」、節末の「基本の問題」、巻末の「補充の問題」と、それぞれ問題の難易度に配慮しながら問題が配置されるとともに、側注からそれぞれがリンクするよう示してあり、生徒の習熟度に応じて学習を進めることができるよう、配慮されている。</p> <p>さらに、学習内容と関連したデジタルコンテンツが設けてあり、生徒が学習内容を動的に捉えることができるなど、生徒がより実感をもって理解するための工夫がなされている。</p>		

意見書 中学校 種目（数学）

発行	観点	調査結果
大日本図書	1	各単元に「めあて」「活動」「例」を1時間ごとに設定しており、生徒が見通しをもって学習に取り組めるよう、とても配慮されている。 (1年14~15頁、2年43~44頁、3年82頁など)
	2 ①	学習の導入部分では、既習事項との関連を重視した導入課題「考え方」が設けられており、生徒が既習内容をもとに新しい学習内容に興味・関心をもって取り組めるよう、とても配慮されている。(1年14頁、2年45頁、3年80頁など)
	②	キャラクターが1つの問いに複数の考え方を出し合うよう示されており、生徒が新たな考えに気づいたり、自分の考えを妥当なものにしたりできるよう、工夫されている。(2年22頁など)
	③	各単元の「利用」の節では、生徒が解決方法を探るための場面を示すことで、生徒の深い学びの実現が図れるよう、工夫されている。(1年156~157頁など)
	3	補充問題としての「プラス・ワン」章末の「ふり返ろう」「力をのばそう」、巻末の「補充問題」などが豊富に準備されており、生徒が学んだことを確実に身につけたり発展的な内容について学習したりできるよう、とても工夫されている。 (1年29頁、2年61~62頁、3年260頁など)
	4	「社会にリンク」は「発見！仕事のなかの数学」として、働く人のインタビュー記事をもとに、生活の中の数学や社会で働く人の姿を取り上げられており、生徒に勤労観や職業観を育むよう、よく工夫されている。(1年200頁、2年39頁など)
	5	「選挙の投票率」や「視聴率や世論調査」などの題材は、生徒が社会規範を守ったり、公徳心をもったりする態度を養うことができるよう、工夫されている。 (2年60頁、3年247頁)
	6	「琵琶湖の水位の変化」や「自然保護官の仕事」などの題材は、生徒が自然環境を守ろうとする態度を養うことができるよう、工夫されている。(1年61頁、3年235頁)
	7	熊本地震により崩れた「熊本城」や「小笠円形分水（山都町）」を題材として取り扱っており、郷土熊本の伝統文化に触れ、郷土を愛する心を育むよう、工夫されている。 (3年74頁、1年巻末1頁)
	8	手すりと床の写真や「点字を生んだブライユの想い」で点字を題材とすることで、生徒に人権尊重の精神や多様性を尊重する態度を養うことができるよう、よく工夫されている。 (1年211頁、2年213頁)
教科書展示会の結果（学校3 一般0 合計3）		
【学校】		
<ul style="list-style-type: none"> WEBコンテンツが充実しており、静止画や言葉の説明だけでは、理解しづらかった内容が、視覚的に理解できるようになっていた。ネットにアクセスすると家でも見ることができるので、その点も良いと思う。 コラムが多くなっていて、よいと思った。様々なところで数学が使われていることを実感できる内容だったと思う。 		
【一般】		
<ul style="list-style-type: none"> なし 		

選定委員会の意見

「めあて」「活動」「例」を1時間ごとに設定しており、生徒が見通しをもって学習に取り組めるように配慮されているとともに、「活用・探究」のコーナーが設けられており、生徒の思考力・判断力・表現力を育成できるよう、工夫されている。

学習内容の定着を図るために、「たしかめ」の問題が多く設けられ、節末の「たしかめよう」補充問題の「プラス・ワン」章末の「ふりかえろう」「力をのばそう」巻末の「補充問題」と質、量ともに十分な問題が配置され、生徒が基礎・基本の内容を確実に習得するとともに、習熟度に応じて学習を進めることができるよう、工夫されている。

さらに、教科書の内容を「WEB」でデジタルコンテンツと連携させてあり、生徒が学習内容をより理解するだけでなく、自ら主体的に学習に取り組むための配慮がなされている。

意見書 中学校 種目（数学）

発行	観点	調査結果
学校図書	1	各領域に「ふりかえり」、各单元に「章のとびら」が用意され、各章での課題解決を通して、生徒が基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができるよう、よく工夫されている。(1年 10~13 頁、2年 69~71 頁、3年 99~101 頁など)
	2 ①	各章の導入部分では、身の周りの事象やこれまでの学習内容などから生徒が興味・関心をもつような課題が設けられ、生徒が新しい学習内容に興味・関心をもって取り組めるよう、工夫されている。(1年 12~13 頁、2年 40~41 頁、3年 74~75 頁など)
	②	Q では、問題解決に向けた見通しを立てる話し合いの場面が設定されており、生徒が自らの考えを説明したり他者の考えを取り入れたりして学習を進め、それらをもとに目標を立てることができるよう、工夫されている。(3年 46 頁など)
	③	「数学的活動」のページは生徒がよりよい解決方法を考えたり、新たな性質を見つけたり、自ら新たな問い合わせを設定したりするなど、生徒の深い学びの実現が図られるよう、よく工夫されている。(1年 50~51 頁など)
	3	章末の「章のまとめの問題」では、問題の難易度を基本・応用・活用の 3 段階に分けて示されており、生徒の習熟度に応じたきめ細やかな指導ができるよう、とても配慮されている。(1年 160~162 頁、2年 102~104 頁、3年 94~96 頁など)
	4	章末の「役立つ数学」は、「電子レンジでの加熱時間」や「日本人に好まれやすい白銀比」などが例示されており、数学が身の周りでどのように役に立っているのかを生徒が理解できるよう、配慮されている。(1年 163 頁、3年 72 頁)
	5	「迷惑メールの判別法」や「スピードと停止距離の関係は?」の題材を学習することを通して、生徒が公共の精神をもって社会規範を守ろうとする態度を養うことができるよう、工夫されている。(2年 196 頁、3年 133 頁)
	6	「太陽光発電」や「風力発電」を題材に取り上げることで、生徒がエネルギーをもとに持続可能な社会づくりの視点をもてるよう、配慮されている。(3年 74~75 頁、131 頁)
	7	「フェアトレード」や「フェルマーの最終定理」などの題材は、国際関係や世界の数学者の偉業について紹介されており、生徒が他国を尊重し異文化を理解する態度を養うことができるよう、工夫されている。(2年 217~219 頁、3年 212 頁)
	8	「点字のしくみは?」の題材では、点字について学ぶことで、生徒が人権尊重の精神や多様性を尊重しようとする態度を養うことができるよう、とても配慮されている。 (2年 228~229 頁)
教科書展示会の結果（学校 0 一般 0 合計 0）		
【学校】 ・なし		
【一般】 ・なし		
選定委員会の意見		
各領域や単元ごとに「ふりかえり」、「章のとびら」が設けられ、生徒が学習内容を繰り返し確認することで、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができるよう、よく工夫されているとともに、章末には「応用・活用」として、生徒の思考力・判断力・表現力等の育成を図るための問題が適宜配置してある。さらに、「数学的活動」のページは生徒がよりよい解決方法を考えたり、新たな性質を見つけたり自ら新たな問い合わせを設定したりするなど、生徒の深い学びの実現が図られるよう、工夫されている。		
補充問題が豊富に設けてあり、生徒が繰り返し練習することで基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る工夫がされているとともに、章末の「章のまとめの問題」は問題の難易度を基本・応用・活用の 3 段階に分けて示してあり、生徒の習熟度に応じたきめ細やかな指導ができるよう配慮されている。		
生徒が学習内容をより理解するためのコンテンツが準備されており、QR コードで関連付けられているため、生徒が自ら学ぶ意欲付けや、学習の振り返りをするための配慮がなされている。		

意見書 中学校 種目（数学）

発行	観点	調査結果
教育出版	1	各章に入る前に、関連する既習内容を「○○を学習する前に」として示されており、前の学年での既習内容を生徒が確認できるよう、よく工夫されている。 (1年12頁、2年42頁、3年78頁など)
	2 ①	各章の導入部分では、身の周りや社会の事象を数学的に捉える課題が設けられており、生徒が既習内容をもとに主体的に学習に取り組めるよう、よく工夫されている。 (1年70~71頁、2年44~45頁、3年80~81頁など)
	②	問い合わせに「みんなに説明しよう」の注釈が設けられ、個人で考えたことを他者に説明することで、生徒が対話的に学習を進めることができるよう、とても工夫されている。 (2年30頁)
	③	課題解決のプロセスの最後に「深めよう」という段階が設けられており、生徒が新たな課題に取り組み、学習内容を統合的・発展的に振り返ることができるよう、配慮されている。 (1年p.94~95など)
	3	各章末問題の最後等に「学んだことを活用しよう」が設定されており、生徒が学習した内容を深めたり広げたりでき、生徒の理解度や興味・関心に応じて取り組むことができるよう、工夫されている。 (1年65頁など)
	4	「数学の広場」のページでは、気象予報士や輸送計画担当者などのインタビュー記事を題材にし、生活の中の数学や社会で働く人の姿を取り上げてあり、生徒に勤労観や職業観を育むことができるよう、工夫されている。 (1年278~279頁、2年p.238~239頁など)
	5	「ペットボトルキャップの回収運動」の題材は、生徒が公共の精神をもって社会の一員として主体的に貢献していこうとする態度を養うことができるよう、配慮されている。 (1年159~161頁)
	6	「素数ゼミ」や「大気中の二酸化炭素の濃度」などの題材は、生命や自然の尊さについて考えることができるよう、工夫されている。 (1年22頁、3年254~255頁)
	7	「日本の伝統模様」や「和算と算学」等の題材は、日本の伝統文化のよさを感じることができ、生徒が我が国と郷土を愛する態度を養うことができるよう、配慮されている。 (1年167頁、204頁、3年巻頭)
	8	「点字のしくみ」や「スロープの勾配」の題材を通して、生徒が人権尊重の精神や多様性を尊重しようとする態度を養うことができるよう、配慮されている。 (2年巻頭、2年96頁)
	教科書展示会の結果（学校2 一般0 合計1）	
	<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まなびリンクというものがあり、視覚的に学ぶことができるようになっていた。まなびリンクでの教材が少し少ないので、もっと充実させてほしい。 ・文字の大きさも程よい。ページ右端の補充問題や教科書の使い方などの説明が親切。 <p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし 	
	選定委員会の意見	
	<p>各章に入る前に、前学年での既習内容を振り返り、身の周りの事象からの導入課題が設けられ、生徒が既習内容をもとに新しい学習内容に興味・関心をもって取り組めるよう、工夫されている。</p> <p>「数学的な考え方」をタイプ別に分けて具体的に示し、「数学的な考え方」が多くの箇所に記され、「数学的な考え方」を意識しながら学習に臨めるよう、工夫されている。</p> <p>たしかめの問題が側注から補充問題へ関連づけられる手立てにより、生徒が既習内容を繰り返し学習し、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図ることができるよう、工夫されている。章末には、生徒が学習した内容を深めたり広げたりする発展問題が設けられており、生徒の理解度や興味・関心に応じて取り組むことができるよう、工夫されている。</p> <p>「まなびリンク」として、学習内容に関連した動画等が準備されており、生徒が学習内容の理解をより深めたり、学習内容を振り返ったりできるよう、配慮されている。</p>	

意見書 中学校 種目（数学）

発行	観点	調査結果
啓林館	1	「みんなで学ぼう編」の巻頭には、教科書の構成と使い方を掲載し、何をどのように学ぶかが明記されており、目標及び内容の達成に向けて、とても工夫されている。 (各学年1~7頁)
	2 ①	各節の導入「学習のとびら」部分では、日常生活や実社会の事象から生徒が興味・関心をもつような課題が設けられ、生徒が既習内容をもとに、新しい学習内容に主体的に取り組めるよう、とても工夫されている。(1年10~11頁など)
	②	各单元に「説明しよう」「話しあおう」の見出しとともに課題が示されており、生徒が対話しながら学ぶことができるよう、よく工夫されている。 (1年21頁、26頁、2年16頁、3年27頁など)
	③	各章の利用の節では、課題の解決をステップ1からステップ3までに分けて、問題設定→問題解決→問題の拡張・深化と学びの過程を示されており、生徒が数学的な見方・考え方を働かせて課題を解決することを通して、より深い学びとなるよう、とても工夫されている。(1年138~139頁など)
	3	章末問題「学びをたしかめよう」には、既習内容との関連が示してあるとともに、デジタルコンテンツに詳しい説明が示されており、個々の生徒の理解の程度に応じて内容を身に付けることができるよう、とても工夫されている。(3年86~87頁など)
	4	「数学ライブラリー」には、「雷さまはどこ?」「大矩」など、数学と日常生活や実生活とのつながりを意識した題材が取り上げられており、数学の学習と生活や職業とを関連づけて考えることができるよう、配慮されている。(2年62頁、3年187頁)
	5	「紙パックのリサイクル運動」や「ボランティア活動」等の題材は、生徒が公共の精神をもったり、社会の役に立つ喜びを味わったりすることができるよう、工夫されている。 (1年137~138頁、2年51頁)
	6	「琵琶湖の水位」や「AEDの重要性がわかるグラフ」の題材は、生徒に生命及び自然を尊重する精神を養うことができるよう、工夫されている。(1年43頁、2年72頁)
	7	「日本の伝統模様」や「さっさ立て」などの題材は、日本の伝統文化のよさを感じることができ、生徒が我が国と郷土を愛する態度を養うことができるよう、配慮されている。 (1年159頁、2年57頁)
	8	「車いすバスケット」の題材は、生徒に人権尊重の精神や多様性を尊重する態度を養うことができるよう、とても配慮されている。(2年47頁)
教科書展示会の結果（学校19 一般0 合計19）		

【学校】

- ・生徒の自然な思考を促す記述であり、数学の力をつけやすいと思った。
- ・QRコード付きのページがあり、今まで教科書だけでは説明がしづらかった部分が、視覚的に理解することができるようになっており、とても良い。

【一般】

- ・なし

選定委員会の意見

「みんなで学ぼう編」と「自分から学ぼう編」の2部構成となっており、特に「自分から学ぼう編」の構成が、生徒の主体的な学習を促すことができるよう、工夫されている。各单元の「利用」の節では、問題を解決する際3つのステップで示されており、生徒の思考力・判断力・表現力等の育成が図られるよう、配慮されている。各章の導入部分では、日常の事象から生徒が興味・関心をもつような課題が設けられており、学習に主体的に取り組むことができるよう、よく工夫されている。

「例」と「問」そして「練習問題」と問題の配置と難易度が工夫され、各問い合わせには、側注のリンクから巻末の「もっと練習しよう」へ取り組むことができるよう、配置されている。学習内容の確実な定着を図れるよう、とても工夫されている。

学習内容に関連した動画などが豊富に準備され、教科書の多くの箇所に配置されたQRコードからリンクされているので、生徒の学習意欲を高めることや、学習内容を振り返ることができるよう、とても配慮されている。

意見書 中学校 種目（数学）

発行	観点	調査結果
数研出版	1	各学年の巻頭には、「学習の進め方」や「ノートのつくり方」などについて具体的に示されており、目標達成に向け、よく配慮されている。(各学年4~13頁)
	2 ①	生徒の身近な場面を題材に問題提示することで、生徒が学ぶ目的を考え、学習したことを見た上で生かそうとする意欲的な態度が育まれるよう、配慮されている。 (1年148~149頁)
	②	問題解決に取り組むプロセスをキャラクターの対話形式で示すことで、生徒が自分の考えを他の人に分かりやすく伝えたり、他の人の意見を聞いたりして、多様な視点や考え方を取り入れながら対話的に学習を進めることができるよう、工夫されている。 (1年80~81頁)
	③	生徒に「見方・考え方」を働きかせて問題解決をさせたい場面では、生徒と教師のキャラクターを登場させる構成になっており、生徒が「数学的な見方・考え方」を意識して考察する習慣が身につくよう、配慮されている。(3年76頁)
	3	「例」と「問」そして節末の「確認問題」章末の「問題」と問題の量や難易度について、生徒がスマーブルステップで学習に取り組めるよう、とても配慮されている。 (1年36頁、37頁、60~61頁)
	4	「ダイヤグラム」や「宅配料金」の題材は、生活や職業への意識をもつことができ、勤労観・職業観を育むことができるよう、工夫されている。(2年100頁、3年123頁)
	5	「ごみの減量作戦」や「自動車の速さと止まるまでに進む距離」などの題材は、生徒が自助・共助・公助の精神を持ち、主体的に社会の形成に参画しようとする態度を養うことができるよう、配慮されている。(1年88頁、3年119頁)
	6	「地球温暖化問題」や「LED電球はお得?」などの題材は、今日的な環境問題にふれることで生徒に環境保全の態度を養うができるよう、工夫されている。 (1年258~259頁、2年202頁)
7 8 教科書展示会の結果（学校1 一般0 合計1）		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> 端的でデザインも分かりやすい。例題もスマーブルステップでよい。「探求ノート」が別冊であるのも魅力的。 <p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> なし 		

選定委員会の意見

各单元の導入では、日常的で具体的な課題を提示することで、生徒が学習の意義や学習内容の有用性を実感できるように工夫され、各单元の「利用」の節では、生徒の興味・関心を引き出すような問題の設定と、問題を解決するときの考え方のヒントをキャラクターが示すことで、生徒の思考力・判断力・表現力の育成が図られるよう、工夫されている。

「例」と「問」そして節末の「確認問題」、章末の「問題」と、生徒がスマーブルステップで学習に取り組めるように問題の量や難易度が配慮され、また別冊「探求ノート」は、教科書の内容とリンクした深化・発展的な課題が設けられており、生徒が新たな課題を見いだし、次の学習への意欲がもてるよう、工夫されている。

各問い合わせ側注の「LINK補充」からデジタルコンテンツの補充問題と接続できるように配置され、生徒が繰り返し既習内容を復習する機会が豊富に設けられており、学んだことの確実な定着を図ることができるよう、工夫されている。

意見書 中学校 種目（数学）

発行	観点	調査結果
日本文教出版	1	各学年巻頭に、「数学の学習を始めよう!」「数学的な見方・考え方を身につけよう!」など、学び方のポイントを具体的に示し、目標達成ができるよう、よく工夫されている。(各学年 4~7 頁)
	2 ①	各「章の扉」では、学びの必然性やストーリー性を重視した場面と展開にすることで、 ① 徒が興味・関心をもって主体的に学ぼうとする意欲的な態度が育まれるよう、とても配慮されている。(1年 14~15 頁、2年 36~37 頁、3年 68~69 頁など)
	②	各章の「活用」の学習では、キャラクターが対話する場面を示すことで、生徒が自分の考えを他の人にわかりやすく伝えたり、他の人の意見を聞いたりして、対話的に学習を進めることができるよう、工夫されている。(1年 58~59 頁など)
	③	問題解決の過程を「見通しをもとう」「考えよう」「話し合おう」「ふり返ろう」「深めよう」の 5 段階で示されており、生徒が問題解決を通して、自分で考え対話を通して学び合うことで深い学びが実現できるよう、工夫されている。(2年 30~31 頁など)
	3	章末問題の「とりくんでみよう」や巻末の「活用の問題」「ステップアップ」は、生徒の理解度や興味・関心に応じて取り組み、発展的な学習ができるよう、工夫されている。(3年 119 頁、248~249 頁、250 頁など)
	4	「数学を仕事に生かす」は、働く人のインタビュー記事をもとに、生活の中の数学や社会で働く人の姿を取り上げてあり、生徒に勤労観や職業観を育むことができるよう、工夫されている。(1年 258~259 頁、3年 214~215 頁)
	5	「空き缶の回収」「自動車が止まるまでの距離を考えよう」の題材は、生徒が公共の精神をもち主体的に社会の形成に参画しようとする態度や社会規範を守ろうとする態度を育成できるよう、配慮されている。(1年 61 頁、3年 113 頁)
	6	「気温は高くなっている?」や「猛暑日が多いのはどこ?」などの題材は、生徒に環境保全の態度を養うための内容として工夫されている。 (1年 224~226 頁、2年 162~163 頁)
	7	「エラトステネスのふるい」や「記号の起源」などの題材は、世界の数学者の偉業について紹介されており、生徒が他国を尊重し異文化を理解する態度を養うための内容として工夫されている。(1年 62 頁、3年 134 頁)
	8	「勾配」や「点字のしくみ」の題材を通して、生徒に人権を尊重する精神や多様性を尊重する態度を養うことができるよう、よく工夫されている。(2年 92 頁、202~203 頁)
教科書展示会の結果（学校 0 一般 0 合計 0）		
【学校】 ・なし		
【一般】 ・なし		

選定委員会の意見

各「章の扉」では、学びの必然性やストーリー性を重視した場面と展開にすることで、生徒が興味・関心をもって学ぶことができるよう、配慮されている。さらに、各章の「活用」の学習ではキャラクターが対話する場面を示すことにより、生徒が対話的に学習を進めることができるよう、工夫されている。

「数学的な見方・考え方を身につけよう」において、「数学的な見方・考え方」の具体的な例を示すことで、生徒が「数学的な見方・考え方」を働かせて考えることができるよう、配慮されている。

「例」と「問」そして「基本の問題」「章の問題」が適切に設けられ、生徒が基礎・基本を確実に身に付けることができるとともに、章末問題の「とりくんでみよう」や巻末の「活用の問題」は、生徒の理解度や興味・関心に応じて取り組むことができるよう、工夫されている。

教科書の「問」とリンクした「WEB」デジタルコンテンツが用意されていて、生徒が興味・関心をもち、主体的に学習に取り組むことができるよう、工夫されている。

意見書 中学校 種目（ 数学 ）

教科書展示会の全体的な意見（ 学校 5 一般 0 合計 5 ）

【学校】

- ・内容に対して、問題数が少ないと思う。
- ・各社とも、日常の中での利用の場面を意識したものや、高校数学との関連などを紹介したものなど、工夫が見られた。
- ・学びの持続、広がりを意識した教科書が多かった。啓林館をはじめ、別冊や巻末資料の充実には生徒の関心も高まるであろうと期待がもてた。カラフルな教科書も増えたが、ポイントがわかりづらい課題も見えた。「見方・考え方」を重視した教科書に更に変化して欲しい。
- ・今年度までの、教科書と比べ、スマールステップを踏んでいる印象だった。説明がより細やかになり、生徒にとって分かりやすいものになっていると感じる。章末の問題もより充実していた。
- ・どの出版社も新学習指導要領を意識したつくりになっており、特に、活用のページが充実していた。「見方・考え方」を意識できるような記述もありよかった。UDの視点で大変見やすいデザインになっていた。ICTの活用ができるように各出版社独自で工夫されていた。

【一般】

- ・なし

意見書 中学校 種目（理科）

発行	観点	調査結果
東京書籍	1	考察後には「課題に対する結論を表現する」活動があり、自身の考えを友だちと比較し、学ぶことができるので、基礎的・基本的内容を確実に理解することができるよう、とても工夫されている。(1年 177~178 頁)
	2 ①	「問題発見」「課題」「課題に対する結論を表現しよう」では、結論の表現をノートに書くことが求められ、目的意識をもち��けながら主体的に学ぶことができるよう、工夫されている。(1年 16 頁、 20 頁、 22 頁、 25 頁他)
	②	「課題に対する結論を表現しよう」では、自分の結論を他の友だちと比べるようになっており、対話が促されるよう、工夫されている。(1年 20 頁、 25 頁、 29 頁、 33 頁他)
	③	全ての学習で課題に対する結論を表現した後、「学びをいかして考えよう」の活動では、話し合いやインターネットなどを用いて調べ学習を行うようになっており、深く学ぶことができるよう、工夫されている。(1年 21 頁、 25 頁、 29 頁他)
	3	単元末の「学習内容の整理」では、重要語句をふり返りながら復習ができ、「確かめと応用」では基礎から応用、そして、活用問題まで幅広く学習できるよう、とても工夫されている。(1年 66~67 頁他)
	4	「世界につながる科学」のページでは、生物や化学、建築等の自然に携わる人々のインタビューを通して、科学への夢と責任を実感できるよう、工夫されている。(1年 64 ~65 頁、 134~135 頁、 186~187 頁、 242~243 頁他)
	5	SDGs についての記載は、国連で決めた 17 の目標が示されており、今までの学びが社会貢献につながっていくことを実感できるよう、工夫されている。(3年 310~311 頁)
	6	「つながる科学」の中の「環境と科学」では、地球温暖化による氷河の崩落や里山の保存があり、実感をもって学ぶことができるよう、工夫されている。(3年 254 頁他)
	7	「つながる科学」の「科学の歴史」では、先人の科学者の功績を漫画で記載しており、親しみやすくするよう、工夫されている。(1年 60 頁、 132 頁他)
	8	教科書に登場する生徒のキャラクターは、髪の色や肌の色が様々な生徒たちが登場する記載になっており、個性が尊重されるよう、とても配慮されている。(1年 114 頁他)
教科書展示会の結果 (学校 8 一般 0 合計 8)		
【学校】		
<ul style="list-style-type: none"> ・文字サイズはふつう、資料の写真等も豊富である。章末問題の問題量はふつう程度である。 ・写真がたくさん記載されていて、資料集のようだった。 ・生徒の話し合いやレポート作成などを重視している印象である。書籍の紹介があって良い。 ・実験のページが写真資料で、実験イメージがつかみやすい。 ・形が少し縦長だった。 		
選定委員会の意見		
<p>学習指導要領の理科の目標に示される「科学的に探究する力」が育まれるように、観察や実験の前には、「レッツスタート」として『問題発見』の場面があり、『課題』へと続くような記載になっており、生徒が目的意識をもち続けて学べるよう、工夫されている。また、全ての学習で『課題に対する結論を表現しよう』があり、自分の考えをノートに書き、友だちと比べる学習を通して、友だちや教師との対話が促され、深く学ぶができるよう、工夫されている。教科書が A4 スリム版で作られ、生徒の視線の移動が少なく、思考の流れが途切れにくいので、学習内容の理解の深まりにつながり、基礎的・基本的な学力が身につくよう、工夫されている。『Before&AFTER』は、学習の前後でふり返ることができ、生徒の深い学びにつながるよう、工夫されている。</p>		

意見書 中学校 種目（理科）

発行	観点	調査結果
大日本図書	1	各学年の巻頭に学習の中で考えを深めていく方法として、「問題を見つけよう」「計画を立てよう」「結果から考えよう」「振り返ろう」という過程が示され、「話し合う」大切さも書かれている。また、1年の巻末には「探究の進め方」もあり、探究が進むよう、配慮されている。(1年4~5頁他)
	2 ①	丸のマークで囲まれた「問題を見つけよう」や「結果から考えよう」は、生徒が自ら学習の段階を意識し、主体的に学べるよう、とても工夫されている。(1年21頁他)
	②	1年では「問題を見つけよう」、2年は「計画を立てよう」「結果から考えよう」、3年では「振り返ろう」で、友だちや先生と話し合いながら理解を深めることができ、『話し合おう』の印が意図して記されていることで生徒たちの対話が促されるよう、とても工夫されている。(1年24頁、29頁他)
	③	「つながる」では、これまでの学習や他教科の知識をもとに考えることができ、深い学びの実現に有効になるよう、工夫されている。(1年71頁)
	3	単元の振り返りは、「まとめ」「単元末問題」「読解力問題」と配列されており、段階的に学習が進むよう、とても充実している。(1年68~70頁、132~134頁他)
	4	「Professional」では、科学や生命に携わる人々の苦労ややり甲斐が書かれており、科学への夢をあたえることが十分にできるよう、とても工夫されている。(1年63頁他)
	5	2年のScience pressでSDGsが記載されており、これから社会を生きていく中で、持続可能な社会への生き方を考えることができるよう、工夫されている。(2年287頁)
	6	「環境」マークの部分では、環境に関する記述があり、自身のこととして考えられるよう、とても工夫されている。(1年31頁、87頁、121頁他)
	7	「そのころの日本」では、世界の科学と日本を対比して伝統を感じることができ、国際理解ができるよう、とても配慮されている。(1年97頁他)
	8	教科書の文字のフォントや色、写真の配色がUD(ユニバーサルデザイン)に基づいており、特別支援教育の視点から視覚的に理解しやすいよう、とても工夫されている。
教科書展示会の結果（学校18　一般5　合計23）		
【学校】		
<ul style="list-style-type: none"> ・移行措置に対応した内容で、図や写真の資料についても十分に感じた。 ・図や写真、グラフなどが見やすい。理科のコラムやトピックなどが日常生活と関連しており分かりやすい。単元末問題の難度も適切で、学習の定着が図りやすい。 		
【一般】		
<ul style="list-style-type: none"> ・理科室の運営上、危険物を多く扱う実験については、準備や片付けに時間の余裕が欲しい。大日本図書は、化学の単元が各学年時期をずらしており、配慮が見られる。 		
選定委員会の意見		
<p>学習指導要領の理科の改訂の趣旨を踏まえ、「問題を見つける」「計画を立てる」「結果から考える」「振り返る」ことが重視され、一連の探究活動を重視した対話的な学びの中で、課題意識をもち続けながら学べるよう、工夫されている。また、「基礎的・基本的な知識や技能の定着」については、観察・実験の「目的」の後に「着目点」が記載されており、何ができるようになるかを常に生徒が意識しながら学べるよう、配慮されている。学習内容をとても理解できるように「これまで学習したこと」や「思い出そう」で示され、課題に深く迫るために「やってみよう」が配置されており、生徒たちが主体的に学び続け、併せて確かな基礎的・基本的な学力を身に付けることができるよう、工夫されている。</p>		

意見書 中学校 種目（理科）

発行	観点	調査結果
学校図書	1	1年のはねの実験では、考察するときの見方・考え方方が具体的に示されていてとても考えやすい記載内容になっている。また、手本となる考察が書かれており、考え方の基本が身に付くよう、とても工夫されている。(1年 170~172 頁)
	2 ①	各学年の巻頭「理科のトリセツ」では、『授業を受けるコツ』が示され、その中で「自分を伸ばすには」「ノートのとり方」「レポートの書き方」「発表のしかた」が丁寧に書かれており、生徒たちの主体性が高まるよう、とても配慮されている。(1年 8~9 頁他)
	②	生徒や先生のキャラクターが課題や仮設等で「対話」を行っている部分は、対話の内容を生徒とすることで、対話的な学びにつなげることができるよう、とても工夫されている。(1年 26 頁、29 頁、33 頁、39 頁、45 頁他)
	③	「Can-DoList」に照らし合わせて何ができるようになったかをチェックし、「ふり返り」の中でキャラクターの生徒や先生の会話を学び考える記載になっており、考えを深めることができるよう、工夫されている。(1年 31 頁他)
	3	各学年の巻末に「学びを日常にいかしたら」のページがあり、問題を解きながら、学年の復習ができるよう、とても配慮されている。
	4	各学年の巻頭「ミッションX」では、実際に調べてみたり、インタビューしてみたりすることの大切さが紹介され、探究への意欲が高まるよう、とても工夫されている。(1年巻頭⑥、2年巻頭⑥、3年巻頭⑥)
	5	2年の巻頭で SDGsについての記載があり、社会参画の意識が育まれるよう、配慮されている。(2年巻頭④)
	6	「Can-DoList」に「生物を大切にし、むやみに傷つけない。」と記載されており、生命尊重の視点で学習できるよう、とても配慮されている。(2年 76 頁)
	7	3年で、青森県弘前市の「だんぶり池」を例にした環境保全、岩手県釜石市の「津波てんでんこ」が記載されており、防災の歴史が地域と密接した活動として高く評価できるよう、工夫されている。(3年 263 頁)
	8	教科書の文字のフォントや色、写真の配色が UD (ユニバーサルデザイン)に基づいており、特別支援教育の視点から視覚的に理解しやすいよう、配慮されている。
教科書展示会の結果（学校 4 一般 0 合計 4）		
【学校】		
<ul style="list-style-type: none"> 新学習指導要領を意識した内容で、問題発見から課題・観察実験・結果・考察の一連の探究活動を生徒が行いやすい。 「振り返り」の項目をとっており、深い学びを目指した内容になっている。 		
選定委員会の意見		
<p>学習指導要領の改訂の趣旨を踏まえ、各学年の巻頭に「どうやって理科を学ぶのか」について『観察・実験などから「決まり・関係性」などを発見していく「探究」が必要である』ことが明確に示されている。これに伴い従来の「観察・実験」が「探究」として表記され、「気づき」から「観察・実験」「結果」「考察」まで、一連の探究活動の中で学習を進めることができる。このことで、生徒の目的意識と観察・実験、思考・表現がつながり、学習内容の理解と基礎的・基本的な学力の定着が図られるよう、工夫されている。「観察・実験」では手順が写真で示され、「見て分かる」配慮があり、授業中の理解や家庭での学習もより良く進むよう、工夫されている。</p>		

意見書 中学校 種目（理科）

発行	観点	調査結果
教育出版	1	「課題」が具体的に示され、課題に対する「結論」が端的に、かつ、明解に示されており、生徒たちが学ぶときに基礎的・基本的な内容の理解につながるよう、工夫されている。(1年 14 頁、18 頁、21 頁、24 頁他)
	2 ①	2年の加熱による金属の質量変化の学習では、「やってみよう」で加熱の回数の実験、その後の増加の規則性を調べる実験と続き、生徒の思考が段階的に高まるよう、とても工夫されている。(2年 68~69 頁他)
	②	「疑問を見つける」の後に、「話し合おう」があり、キャラクターの生徒の会話を授業で生徒と共有することで、生徒たち自身の対話がひろがるよう、とても工夫されている。(1年 19~20 頁、82 頁他)
	③	観察や実験前の「疑問を見つける」では、生徒のキャラクターの会話から問い合わせることができ、深い学びを始めるきっかけとなるよう、工夫されている。(1年 19 頁他)
	3	「ハローサイエンス」では、特に『『発展』高校』と書かれた内容は高校で学ぶ内容が示され、関心と理解を高めることができるよう、工夫されている。(1年 115 頁他)
	4	「ハローサイエンス」では、理科の知識が日常生活に生かされていることを学ぶことができ、職業観の育成につながるよう、工夫されている。(1年 105 頁、110 頁他)
	5	3年の「ハローサイエンス」では、SDGs のことが記載されており、持続可能な 17 個の開発目標が示され、これから世界の在り方を踏まえ、自身のこれからの生き方について意識しながら学ぶことができるよう、工夫されている。(3年 324 頁)
	6	「環境」マークでは、生物と環境の関係について記載されており、関心をもって読むことができ、環境保全の意識が高まるよう、工夫されている。(2年 91 頁、209 頁他)
	7	探究の歴史として、16世紀から今世紀までの科学者の功績が年表で示され、ノーベル賞を受賞した日本人科学者が掲載されており、国際協調と郷土愛が感じられるよう、工夫されている。(3年 351~353 頁)
	8	キャラクターとして、様々な髪の色や肌の色の生徒が描かれており、国を超えて学び合える人権教育の推進ができるよう、とても配慮されている。(3年 52 頁)
教科書展示会の結果（学校 7 一般 0 合計 7）		
【学校】		
<ul style="list-style-type: none"> 実験操作が流れに沿って大きく載っていて見やすい。細かく比較の表や写真が付いていて振り返りやまとめがしやすい。 「課題」の明示がわかりやすい。仮説・計画・結論が枠で囲まれており、つかみやすい。 結論が明確に書いてあり分かりやすい。 		
選定委員会の意見		
<p>学習指導要領の理科の改訂の趣旨を踏まえ、「観察・実験の結果などを整理・分析した上で、解釈・考察し、説明すること」が重視され、「疑問」から「考察」「結論」まで、一連の探究活動が全ての観察・実験で行われるよう工夫され、生徒が最後まで課題意識をもちながら学べるよう、工夫されている。「観察・実験をしている」「考えている」などの学習の流れが視覚的に分かることで、基礎的・基本的な内容の定着にもつながる。「結論」は「課題」を踏まえ、とても明解に書かれ、授業でも、家庭学習においても学習内容をしっかり復習できるようになっており、基礎的内容の確実な理解につながるよう、工夫されている。「学習前の私」と「学習後の私」については、生徒自身、また、友だちとふり返ることを通して、主体的で対話的な深い学びも実現できるよう、工夫されている。</p>		

意見書 中学校 種目（理科）

発行	観点	調査結果
啓林館	1	1年のはねの伸びの考察では、考えた理由まで求められ、深い思考につながる。その後の「ふり返り」では、探究全体をふり返ることができ、とても質の高い学びができるよう、とても工夫されている。(1年 245 頁)
	2 ①	2年の加熱による金属の質量変化の学習では、「ためしてみよう」で加熱による質量増加には限界があることを知り、「話し合ってみよう」で仮説を立てて探究活動を行うよう編集されており、確かな見通しのもと主体的な探求意識が高まるよう、とても工夫されている。(2年 195~197 頁)
	②	「話し合ってみよう」では、予想をもとに対話的な学びと、より良い探究が進むよう、とても工夫されている。(1年 6 頁、12 頁、18 頁、42 頁他)
	③	各学年の巻末「探Q シート」では、シートを活用して探究活動を進めることで、深い学びができるよう、とても配慮されている。
	3	章末の「力だめし」では、問題がとても吟味されており、「思考力 UP」と「思考の深化」では活用力向上ができるよう、とても工夫されている。(1年 56~59 頁他)
	4	「お仕事ラボ」では、科学に対する夢と希望があり、研究者の思いに触れて職業観が育成できるよう、とても工夫されている。(1年 63 頁、129 頁他)
	5	SDGs の目標が示され、未来の社会形成に向けた参画意識が高まるよう、工夫されている。(2年 134 頁、3年 248 頁、304 頁他)
	6	「環境」マークでは、環境について考える観察や資料が記載されており、環境保全に取り組む心と態度が育まれるよう、とても工夫されている。(1年 23 頁、53 頁他)
	7	科学者の功績が年表で示され、ノーベル賞を受賞した日本人科学者が掲載しており、国際協調と郷土愛を感じられるよう、とても配慮されている。(3年 328~330 頁)
	8	スポーツ選手の写真に義足の選手が掲載されており、人権教育が推進されるよう、とても配慮されている。(1年 239 頁)
教科書展示会の結果（学校 15 一般 0 合計 15）		
【学校】		
<ul style="list-style-type: none"> ・「ためしてみよう」など、生徒の興味・関心が高まる内容があるので良い。 ・教科書のサイズが大きくなっている、写真等が大きくなり、とても見やすくなっていた。単元末の問題が4ページあり内容が豊富になっている。実習の教材が付属しており授業に活用しやすく工夫されていた。 ・図は、文章の周りに配置されていて、見やすく工夫されていた。実験も、課題発見から、考察までを1ページ、もしくは見開きで掲載されていて、確認しやすく工夫されていた。 ・共通して良い点は、探究の過程がはっきりしていて、教科書で振り返りを確認できる点。 ・探究の過程に加えて、QRコードが随所に配置され、授業や家庭学習に有効だと思った。 		
選定委員会の意見		
<p>学習指導要領の改訂の基本となる「見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈する」といった探究活動を重視することが巻頭に記載されている。また、なぜこの観察や実験を行うのかを意識できるように、観察・実験の前に「考えてみよう」や「やってみよう」が示され、課題意識を大切にしながら主体的に学びを進めていき、基礎的・基本的な内容が確実に理解されるよう、とても工夫されている。多く配置されたQRコードからタブレットを用いて学べることは、生徒たちが授業でも家庭学習でも活用できるよう、工夫されている。章末の思考力を高める問題はとても吟味されており、生徒の高い思考が育まれるよう、とても工夫されている。</p>		

意見書 中学校 種目（理科）

教科書展示会の全体的な意見（学校6 一般5 合計11）

【学校】

- ・どの教科書会社も深い学びが実現できるような工夫（見通しや探究活動）や小学校とのつながりが感じられた。
- ・どの教科書も資料・写真が多く使いやすい。特に、啓林館はサイズが大きく見やすい。
- ・会社によって教科書サイズが異なる。横広サイズは、教育・啓林・学図で見えにくい感じ。縦広サイズは、東京書籍で少しオーバーな感じ。
- ・参考資料が増えた。教育は、原子モデル作成、星座早見盤作成キット付き。東京書籍は、火山分布、世界立体模型キット付き。学図は、話し合い活動時のホワイトボード。
- ・単元の掲載順が出版社によって異なるので、その意図をくみ取らなければならない。
- ・どの教科書も新学習指導要領の改訂の主旨を踏まえ、探究を重視してあった。出版社の工夫が伝わってきた。

【一般】

- ・学年によって学習内容が変更になっているが、各教科書でどのようにとり扱われているか確認でき、参考になった。
- ・問題（章末）を見ましたが、各社まちまちで、基本に重点（教出）や発展に重点（学図）があり、東書、啓林、大日はバランスが取れていた。
- ・各社、見やすく使いやすい教科書を作成されていると思う。昨今カバンの重さの問題が取りざたされているが、あそこまで上質の紙を使用せず、軽くする工夫も必要ではないかと思う。
- ・教科書の内容が増えたような気が。そのためか、各社工夫がされていた。（学図・教出・啓林は横長、東書は縦長、大日は文字が小さく）これまで通りの授業スタイルでいこうとすれば、きっと終わらないと感じた。
- ・各社で内容の順番がバラバラなのはどうにもならないのか？もし生徒が転出した場合、未習が出てきそう。

意見書 中学校 種目（音楽（一般））

発行	観点	調査結果
教育出版	1	「学びのユニット」では、歌唱・創作・鑑賞の領域別に学びのねらいと学習する曲や活動、学びの手がかりとなるヒントが明確に示され、工夫されている。(全学年4~5頁)
	2	各教材の「学びのポイント」が具体的に分かりやすい言葉で示されていて、目標や見通しをもって学習を進められるよう、工夫されている。
	①	「何が同じで、何が違う」では、声の出し方の共通点や相違点を比較し、自分の考えをもって友達と交流することができるよう、とても工夫されている。(1年60頁など)
	②	「まなびリンク」では、ウェブサイトのデジタル教材を活用して主体的に学習を進めたり、様々な楽器の奏法や模範演奏を確認したりして、役立つ情報を活用しながら学習を深めるよう、とても工夫されている。(2・3年下38~45頁)
	3	「比べてみよう」「深めてみよう」では、関連したり学びを深めたりする教材が適切に示され、とても工夫されている。(2・3年下12~17頁など)
	4	「郷土の音楽や芸能」では、地方の民謡や祭りの音楽が写真とともに取り上げられ、労働や生活と音楽の関わりについて考えるため、工夫されている。(2・3年上46~49頁)
	5	「私たちのくらしと音楽」では、音楽著作権について理解することで、著作者を尊重する態度を育て、自ら考え方生活に生かしていくよう、とても工夫されている。(2・3年上70~71頁など)
	6	「夏の思い出」「浜辺の歌」等の歌唱共通教材では、楽曲にゆかりのある地の写真が一面にあり、感性に訴えるのに、とても適している。(2・3年上巻頭など)
	7	歌舞伎と文楽を比較して違いや共通点を見つけたり、鑑賞で学習した音楽の特徴を、長唄を体験しながら学習をしたりすることで、自分なりの価値をもち理解を深めることができるよう、とても工夫されている。(2・3年下38~45頁)
	8	「日本とアジアの声によるさまざまな表現」では、「声」を窓口に、音楽とくらしの関わりを通して、それぞれの音楽の価値やすばらしさを感じ取りながら、多様性を認め大切にする態度を育んでいくよう、配慮されている。(1年54~55頁)
教科書展示会の結果（学校 8 一般 5 合計 13）		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・領域ごとに色分けされた目次が見やすい。合唱曲に新作が意欲的に盛り込まれている。専門用語が多く散りばめられている。 ・学力を充実させるカリキュラムが細かくテキストに示されている印象がある。 <p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収録曲は以前とあまり変わっていないようだが、もう少し、親しみやすいメロディックな曲を揃えた方が良いのではないか。 		

選定委員会の意見

音楽科の目標及び内容を達成するために、大胆な紙面構成や、系統性を意識した題材構成が見られる。特に、ウェブサイトのデジタル教材「学びリンク」は、教科書の内容にリンクした音声や動画、ワークシートで構成されており、音楽的な見方・考え方を働きかせながら学習が展開できるよう、とても充実している。「話し合おう」のコーナーでは、気づいたことや感じたことを友達に紹介する場面が多く設定されており、言語活動の充実と、対話的な活動が展開できるよう、工夫されている。題材配列は、主要教材と関連教材を比較することで様々な音楽の共通性や固有性を考え、その特徴を理解することができるよう、工夫されている。伝統音楽では、唱歌を取り入れ、伝統音楽の複雑な表現を得しやすくするとともに、我が国の音楽を身近なものと感じさせるよう、工夫されている。

意見書 中学校 種目（音楽（一般））

発行	観点	調査結果
教育芸術社	1	音楽科の目標及び内容が領域ごとに提示され、学習内容と各教材との関連が表してある。〔共通事項〕についてもそれぞれの教材で何を学習するのか把握ができ、教材の系統配列も明確に示され、とても工夫されている。(全学年8~9頁)
	2	「My Melody」では、課題に沿ってつくる手順が明確に示され、記入欄にもゆとりがあり、①学習の見通しをもって主体的に進められるよう、とても工夫されている。(2・3上36頁)
	②	郷土に伝わる民謡や芸能では、地域と中学生の関わりについての取り組みやインタビューの様子が紹介され、興味・関心をもちながら自分の考えを深めることができるよう、配慮されている。(2・3年下54~55頁)
	③	伝統芸能の鑑賞では、長唄等の歌唱活動を体験するなど実感をもって学習を行えるような工夫があり、鑑賞と表現の一体化を図るのに、とても配慮されている。(2・3年上60頁)
	3	「指揮をしてみよう」「発声」のコーナーが全学年に設けられ、段階的に見通しをもって学習活動が深まっていくよう、とても工夫されている。(1年14~15頁)
	4	「生活や社会の中の音楽」では、音楽にかかわる職業が紹介され、音楽が生活や社会の中で果たしている役割に気づくよう、とても工夫されている。(2・3下68~69頁)
	5	「ルールを守って音楽を楽しもう」では分かりやすい絵やことばで具体例をあげながら説明してあり、情報モラルに関する指導の充実を図るよう、とても工夫されている。
	6	生命尊重や友情、希望などを取り上げた楽曲が多く掲載され、他者を尊重し生命を大切に思う心を育てるよう、とても工夫されている。(1年74~75頁など)
	7	国歌や国旗に対する“国際的儀礼”に関する記載は、我が国及び世界各国の国歌を尊重する態度を育てることができるよう、とても工夫されている。(各学年99頁)
	8	「ポピュラー音楽」では、影響し合う様々な音楽を地図で分かりやすく示し、多様性について考えられるよう、とても配慮されている。(2・3年下年56~59頁)
教科書展示会の結果（学校 14 一般 4 合計 18）		
【学校】		
<ul style="list-style-type: none"> ・目標を達成するための学習の手順やアドバイスが記載されており大変見やすい。 ・教材の系統配列が明確に示されている。 		
【一般】		
<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな作曲家のエピソード（小話）を合間に入れてみたらどうだろう。限られた時間の中で、より多くの作曲家や演奏家などを知り、曲を聴き、見聞を広めていくことは、生活の中の音楽として生徒の心に刻まれると思う。 ・QRコードが用いられており、曲の説明や演奏者の話などとても良いが、さらに楽器の音色の音色などDVDやCD等で収録されていないものにも用いるとさらに良かったと思った。 		

選定委員会の意見

音楽科の目標及び内容を達成するために、学習活動とねらいが分かりやすく記述され、系統性を重視した構成が高く評価できる。特に、学習指導要領に示された3つの資質・能力と学習内容や教材を配列した「学びの地図」は、身に付けられる学力が明確に示され、3年間の見通しをもって学習できるよう、とても工夫されている。伝統音楽については、音楽的な見方・考え方を働きかせながら比較鑑賞ができるよう、題材が系統的に配列されている。それぞれの特徴やよさに気づくための工夫が随所に見られ、深い学びが実現できるよう、とても充実している。全般的に、主体的・対話的に学習に取り組み、それが深い学びにまでつながるよう、とても工夫されている。

意見書 中学校 種目（音楽（一般））

教科書展示会の全体的な意見（学校 2 一般 0 合計 2 ）

【学校】

- ・新学習指導要領を意識した内容で、非常に両社ともわかりやすくまとめてあった。とくに歌曲については生徒たちの興味がわくような曲が選曲してあった。
- ・どちらの教科書も、ワークシート的なページがあって参考にはなると思った。資料的なものは、イラストよりも、実物の写真の方がよいのかなと思った。

発行	観点	調査結果		
教育出版	1	巻頭の「さまざまな音色や響きと奏法」では、取り扱うすべての我が国と諸外国の楽器が写真で紹介され、見通しをもって器楽の学習に取り組めるよう、工夫されている。		
	2 ①	見開きごとに、学習を見通せる紙面構成になっており、「学びのねらい（スタート）」「学びのポイント」「まとめの曲（ゴール）」と、生徒が見通しをもって学習を進め、振り返りができるよう、とても工夫されている。（6～7頁など）		
	②	「何が同じで、何が違う」では、共通点や相違点について自分なりの考えをまとめ、友達と協働的な活動を通して学びを深めることができるよう、工夫されている。（52頁）		
	③	「何が同じで、何が違う」では、笛や吹く楽器について比較しながら学ぶことで、音が出る仕組みや音色の違いや共通点について考え、楽器の背景にある文化や歴史について学びを深めることができるよう、工夫されている。（26頁）		
	3	「まなびリンク」では、学習に役立つ情報をウェブサイトで見たり聴いたりすることができ、見通しをもって学習に臨んだり学んだことを振り返ったりできるよう、とても充実している。（6頁など）		
	4	楽器の背景にある文化や伝統について興味をもち、生活の中の楽器について考えることができるように、工夫されている。（54頁）		
	5	各楽器の冒頭ページでは、演奏者のメッセージや楽器の歴史や魅力等が紹介しており、楽器や音楽が人々によって大切に伝承されてきたことや、演奏することがよりよい社会づくりにも貢献していることを感じとれるよう、工夫されている。（44頁など）		
	6	「さくらさくら」「冬」「夜空を見上げて」など、美しい自然を思い起こさせるような曲が掲載されており、自然を大切にしようとする態度を育成できるよう、工夫されている。		
	7	「音のスケッチ」の、箏で「荒城の月」の前奏をつくる活動では、音楽一般の教科書と同教材曲が取り扱われ、歌唱と創作、器楽を関連させながら学習することができ、伝統文化を尊重できるよう、工夫されている。（42頁）		
	8	箏笛や尺八の音の出し方では、唇の形や歌口の当て方について、大きな写真とともに文章で具体的に分かりやすく示されており、音の鳴るポイントが具体的に理解できるよう、とても工夫されている。（18～23頁）		
	教科書展示会の結果（学校 7 一般 0 合計 7 ）			
	【学校】			
	<ul style="list-style-type: none"> ・和楽器の楽譜が多くあり見やすい。 ・「まなびリンク」は参考映像が、タブレットですぐ確認できるので、大変良くできていると感じた。 ・「どこが同じでどこが違う」というの表記はよかったです。たくさんの資料が使ってよい。 			
選定委員会の意見				
<p>音楽科の目標及び内容を達成するため、見開きごとに学習を見通せる紙面構成になっており、生徒がスマールステップで主体的に取り組むことができるよう、工夫されている。ウェブサイトのデジタル教材「学びリンク」については、音声や動画を活用することで、主体的・対話的な学びが実現でき、進んで学び合う器楽学習ができるよう、とても工夫されている。器楽と関連させた創作活動も工夫されており、見通しをもって学習に取り組み、深い学びにつながるよう、工夫されている。全般的に、主体的に学習に取り組むができるよう、工夫されている。</p>				

意見書 中学校 種目（音楽（器楽合奏））

発行	観点	調査結果
教育芸術社	1	「中学生器楽の学習内容」では、器楽、創作で学習する内容や各教材との関連が表してある。〔共通事項〕やそれぞれの教材で何を学習するのかについて把握ができる、教材の系統配列も明確に示され、とても工夫されている。(8~9頁)
	2 ①	リコーダーでは、Lesson1~Lesson4と、基礎・基本を段階的に見通しをもって学習できるよう、とても工夫されている。また小学校で学習したソプラノリコーダーを用いた練習曲が取り上げられており、生徒が取り組みやすいよう、配慮されている。(20~31頁)
	②	アンサンブルセミナー「深めよう音楽」では、グループ活動において具体的な手順を示し、協働しながら学習が進められるよう、とても充実している。(11頁など)
	③	「箏」では、基礎的な学習に加え、唱歌、奏法、創作の学習内容があり、箏の題材で学ぶ知識を関連させながら、学びを深めることができるよう、工夫されている。(40~49頁)
	3	「アンサンブル」コーナーでは、様々な楽器の組み合わせができる曲が掲載され、発展的な学習ができるよう、構成されている。(76~95頁)
	4	同世代の中学生による和楽器の演奏写真があり、和楽器との関わりについて視野が広がるよう、工夫されている。(107頁)
	5	「郷土の祭りや芸能」では、音楽が生活や社会の中で果たしている役割に気づき、主体的に社会の形成に参画しようとする態度が育成できるよう、とても工夫されている。(56頁)
	6	「音楽ってなんだろう」では、世界の様々な楽器の素材を通して、自然素材や環境について考えることができるよう、とても工夫されている。(4~5頁)
	7	「My Melody」では、箏での創作を取り扱い、課題に沿って作る手順が明確に示され、日本の音階を味わいながら学習を進められるよう、とても工夫されている。(49頁)
	8	世界のいろいろな国や地域の楽器を写真で紹介し、生徒が人々の生活や音と音楽との関わりから「多様性」について考え、多様な他者を価値ある存在として理解し、尊重する態度を育成できるよう、とても充実している。(4~5頁)
教科書展示会の結果（学校 4 一般 1 合計 5）		
【学校】		
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の構成が素晴らしい、見通しを持った学びが可能である。 ・リコーダーの曲がグレード制にしてあり、工夫されている。 ・合奏の楽曲が多いのがよい。 		
【一般】		
<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすく、曲目もいいものが多いと思った。 		
選定委員会の意見		
<p>音楽科の目標及び内容を達成するために、基礎的・基本的な知識・技能の定着ができるよう、精選された教材を取り上げ、題材の系統配列がとても工夫されている。巻頭では、音楽科で身に付けられる資質・能力を確実に育成できるよう、教材の系統配列を明確に示し、器楽と創作の学習を見通す工夫がなされている。また、「アンサンブルセミナー」は、具体的な手順を示し、協働しながら学習を進められるような教材が複数掲載されている。コラムや吹き出しの中で、表現活動を通して思考力・判断力を育む場面が設定され、主体的・対話的で深い学びが実現できるような手立てが示され、とても充実している。全般的に、主体的・対話的に学習に取り組み、深い学びにつながるよう、とても工夫されている。</p>		

意見書 中学校 種目（音楽（器楽合奏））

教科書展示会の全体的な意見（学校 2 一般 1 合計 3 ）

【学校】

- ・新学習指導要領を意識した内容で、非常に両社ともわかりやすくまとめてあった。とくに曲については生徒たちの興味がわくような曲が選曲してあった。
- ・ともに、リコーダー演奏がアルトだけでなく、移調されてソプラノでの演奏も可能になっている。箏の「さくら」は小学校でも演奏する。バージョンアップを工夫してほしい。

【一般】

- ・アルトリコーダーの曲を増やしてほしい。

意見書 中学校 種目（美術）

発行	観点	調査結果
開 隆 堂	1	「絵や彫刻で学ぶこと」「デザインや工芸で学ぶこと」「鑑賞で学ぶこと」では、オリエンテーションとして各学年の学習を通して目指したいことが分かりやすく説明されており、領域ごとに目標を達成できるよう、とても工夫されている。（1年6～9頁、32～33頁）（2・3年8～9頁、36～37頁、62～63頁）
	2 ①	「学びの地図 形と色彩の冒険に出よう！」では、美術で学ぶ内容や各分野のつながりを視覚的に捉え、学習に見通しをもてるよう、とても工夫されている。（1年6～7頁）
	②	多くの作家作品及び生徒作品において、「作者の言葉」や、作品や作者についての情報が掲載されており、対話を図れるよう、とても配慮されている。（1年16～17頁）
	③	「自分と向き合う」では、多種多様な参考作品が掲載されており、鑑賞の題材「ゴッホと自画像」と関連させて考えることで、自分の思いや考えを表現しやすいよう、配慮されている。（2・3年14～19頁）
	3	発想・構想の手立てを双葉のマークで示し、同じ題材でも、別の材料や制作方法が紹介されており、発展的な制作にも取り組めるよう、配慮されている。（2・3年68～69頁）
	4	「暮らしに生きる美術」では、美術で学んだ力を生かした職業についてインタビュー形式で紹介されており、職場体験学習の前に、美術の多様性や重要性に気付くよう、とても工夫されている。（2・3年6～7頁）
	5	中学生がすぐにでも参加したり、考察しながら制作したりすることができる題材が紹介されており、特に熊本地震を経験した熊本の生徒にとって、より身近に感じられるよう、とても配慮されている。（2・3年115頁）
	6	戦争によって人間や動物の生命が奪われた悲惨さや、自然と人間の共存というテーマから、命の尊さを感じ取ったり、作者の苦悩がどのように反映されたりしているのか、モチーフごとの視点からも考えることができ、とても工夫されている。（2・3年94～98頁）
	7	日本文化が世界に与えた影響と、古代の造形美が現代に与えた影響を同じページに掲載したり、異文化交流のプロジェクトを紹介したりするなど、工夫されている。（1年38～39頁、51頁）（2・3年50～53頁、92～93頁）
	8	「私たちの社会と美術」では、少子高齢化社会や世代を超えた理解、国や人種、宗教に向き合うことを題材とした作品が紹介されており、共生社会の形成を目指せるよう、とても配慮されている。（2・3年104～105頁）
教科書展示会の結果（学校11 一般0 合計11）		
【学校】		
<ul style="list-style-type: none"> 生徒作品が多く掲載されており、生徒の制作への意欲を引き出せる。 制作工程の写真や目標を達成するためのアドバイス等が所々に載っているため、制作途中に見せて確認することができる。 一つの題材でも多くの作品例が載せられているため、応用して制作させることができる。 		
選定委員会の意見		
<p>新学習指導要領の改訂の趣旨に則り、造形的な視点を豊かにもち、社会の中の造形や美術文化とかかわる資質・能力の育成に向け工夫が見られた。特に、「学習のポイント」を設け、生徒の深い学びへ思考を促す構成が充実していた。また、掲載資料については原寸大の資料や部分拡大の資料など、3観点の目標や「造形的な視点」と共に、資質・能力の育成が達成されるよう、工夫されている。さらに、ICT機器の活用を推進する上で、QRコードによる動画などの資料が用意され、デジタル情報を活用し、新たな価値を生み出す学びに対応できるよう、工夫されている。生涯にわたり能動的に学び続ける人材育成を目指す上でも、自己挑戦し続ける職業人を紹介するなど、工夫されている。</p>		

意見書 中学校 種目（美術）

発行	観点	調査結果
光村図書	1	「うつくしい！」では、谷川俊太郎の言葉が作品写真と共に紹介されており、生徒の感性を刺激する内容で、「美術」への理解や考え方方が深まるよう、配慮されている。(1年2~4頁) (2・3年2~4頁、105頁)
	2 ①	「版であらわす美しさ」「レオナルドとその時代」「絵巻物の漫画の表現」では、トレーシングペーパーを用いたり、紙質を工夫したりすることで、技法の効果や作品の質感などの良さを実感できるよう、とても配慮されている。(1年19~20頁) (2・3年11~12頁、37~38頁)
	②	同じ題材でも、視点や制作の異なる生徒2例の取組を紹介し、主題設定から完成までの流れが言葉と写真で掲載されており、対話的な学びを意識できるよう、とても充実している。(1年12頁、24頁、42頁) (2・3年8頁、46頁、58頁、72頁)
	③	「北斎からゴッホへ」では、北斎の原寸大の写真とゴッホの作品と比べて提示し、表現の魅力や特徴、日本文化が与えた影響や作者の人生とを関連させて考えるよう、工夫されている。(2・3年24~29頁)
	3	巻末に「学習を支える資料」として、表現・鑑賞共に基礎・基本を押さえる事項が掲載されており、個々の生徒の理解に応じた補充的な学習が充実するよう、工夫されている。(1年58~80頁) (2・3年76~103頁)
	4	「印象に残るシンボルマーク」では、オリンピック・パラリンピックのシンボルマークが紹介されており、東京大会2020における制作者の意図を取り上げ、目標へ向かう努力や働く喜びを実感できるよう、工夫されている。(1年46~47頁)
	5	「心安らぐ場をつくる」では、大災害の後の復興に向けて、デザインの力で公共の場に安らぎを生む取組が紹介されており、美術を通して公共の役にたつ価値に気付くよう、とても工夫されている。(2・3年74~75頁)
	6	「自然の形や色を見つめて」「心ひかれるこの風景」では、身近な自然物や風景を見つめ、作品づくりを通してその良さを再発見できる内容になっており、環境の保全に寄与する態度を養われるよう、とても工夫されている。(1年14~15頁)
	7	「ゲルニカ、明日への願い」では、作品、展示されている様子、制作の過程、ピカソの関連作品などが掲載され、ピカソが作品に込めた反戦の思いが伝わる内容になっており、美術を通して平和への関心を高めるよう、とても配慮されている。(2・3年48~55頁)
	8	「北と南の民俗衣装」では、アイヌ民族と琉球の衣装を掲載し、それぞれの違いや良さを認めるような構成になっており、共生社会の形成を目指すことができるよう、配慮されている。(2・3年99頁)
教科書展示会の結果（学校12 一般0 合計12）		
【学校】		
<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞のページに工夫が見られる。大きく作品が印刷してあるため、細かいところまで見て作家の意図を感じ取ることができる。 ・現代的な題材があり、動画やQRコード検索など学びやすさが目につく。生徒の学習に広がりがあるように工夫されていてよい。 ・版画作品の紙を変えているのが良かった。表現で生徒の言葉が出ているのが、親しみやすかった。「最後の晩餐」に消失点を描くためのトレーシングペーパーがよかったです。 		
選定委員会の意見		
学習指導要領の改訂の趣旨に則り、造形的な視点を豊かにもち、社会の中の造形や美術文化とかわる資質・能力の育成に向け工夫が見られた。特に、掲載資料については題材のねらいに応じた紙質の工夫や制作過程の紹介などがあり、造形的な視点を働かせ資質・能力を高める工夫があった。また、ICT機器の活用を推進する上でも、QRコードによる資料が用意され、デジタル情報を活用し新たな価値を生み出す学びに対応できるよう、工夫されている。さらに、生涯にわたり能動的に学び続ける人材育成を目指す上で、様々な分野で活躍する美術家を紹介し、夢や希望をもってキャリアデザインできるよう、工夫されている。		

発行	観点	調査結果
日本文教出版	1	全ての題材に、3観点の目標をより具体的にしたものが示されており、何をどのように学び、どのような力を付けるのかが生徒にとって分かりやすく、とても工夫されている。(1年 18~19頁)
	2 ①	「中学校美術の世界へようこそ」では、3年間で学ぶ内容や系統性を視覚的に捉え、キャリア形成の視点も見据えており、学習に見通しをもてるよう、とても工夫されている。(1年 6~7頁)
	②	「学びの言葉」では、各界のアーティストの言葉が紹介されており、著名人の考え方との対話から、なぜ学ぶのかという目的意識が高まるよう、とても工夫されている。(1年 5) (2・3年上 5頁) (2・3年下 5頁)
	③	題材に応じて、QRコードが掲載されており、ガイダンスや基礎技法、さらには参考作品を360度で見ることができるなど、ICT機器やデジタル教材などを活用して意欲を高めるよう、とても工夫されている。(2・3年上 10~11頁)
	3	巻末にある「学びを支える資料」において、個々の生徒の理解に応じた補充的な学習を指導しやすいよう、とても工夫されている。(1年 58~75頁) (2・3年上 50~65頁) (2・3年下 48~57頁)
	4	「アーティスト鈴木康弘さんはどうやってるんだろう?」「社会に生きる美術の力」では、実社会で働く様々な職業の人の構想の仕方や、美術との関わりなどの話が紹介されており、自らの考えを広めるよう、とても工夫されている。(1年 58~59頁) (2・3年下 58~59頁)
	5	「その一枚が人を動かす」では、SDGs、環境保全、核廃絶などを訴えるなど、公共の精神に基づいた題材が取り上げられており、社会参画への関心が高まるよう、とても配慮されている。(2・3年上 40~41頁)
	6	風景画、工芸品、建築物などに生かされる自然の美しさについて考察を深め、自分の制作にも役立てられるよう資料もまとめてあり、感性を育むことができるよう、とても工夫されている。(1年 5頁、54~55頁、68~69頁)
	7	「祭りを彩る造形」では、世界各国の祭りの道具や装束が紹介されており、それぞれの国との違いや共通点、良さを味わえるよう、とても工夫されている。(1年 56~57頁)
	8	プライバシーや肖像権、著作権の侵害について明記されており、制作にあたり注意すべきことが分かるよう、配慮がみられる。(2・3年上 55頁) (2・3年下 40頁、57頁)
教科書展示会の結果（学校 11 一般 0 合計 11）		
【学校】		
<ul style="list-style-type: none"> 原寸大の作品が掲載されているなど、鑑賞のページに工夫が見られた。細部まで観察することができるため、鑑賞に適している。 2・3年上の岡本太郎特集が個人的にはとても良かった。SDGsの視点も良い。彫塑作品をQRコードで360度見せるのが良かった。 水墨画では、新進の画家の絵の紹介や、若いアーティストによる構想の練り方の説明があり、情報化の進む現代に合い、斬新と感じた。学年ごとに教科書があるので持ち運びやすい。 		
選定委員会の意見		
<p>新学習指導要領の改訂の趣旨に則り、造形的な視点を豊かにもち、社会の中の造形や美術文化とかかわる資質・能力の育成に向け随所に工夫されている。生涯にわたり能動的に学び続ける人材育成を目指す上でも、自己挑戦し続ける職業人を、中学生の発達段階に合わせた理解しやすい言葉で紹介するなど、とても配慮されている。また、掲載資料については原寸大の資料や作者の言葉の紹介など、3観点の目標や「造形的な視点」と効果的に結びついており、資質・能力の育成が十分に達成されるよう、工夫されている。さらに、ICT機器の活用を推進する上で、QRコードによる動画などの資料が主体的な学びを促すものになっており、デジタル情報を活用し新たな価値を生み出す学びの充実が図られている。全ての題材に「造形的な視点」を設け、生徒の深い学びへ思考を促す構成がとても充実している。</p>		

教科書展示会の全体的な意見（学校6 一般0 合計6）

【学校】

- ・どの教科書も作品に説明が多い気がした。作品を多く掲載する方が良いかもしれない。
- ・3社とも、身近にある美術に気付かせ、暮らしに生きる美術の働きを意識した内容が良い方向で濃くなっているように感じた。
- ・どの出版社も、基礎基本の知識や道具の使い方、技法についての記述や図・写真を取り入れてあり、使いやすくなっていると思った。開隆堂は色が鮮やかである。光村図書は落ち着いた色調と、和紙やトレーシングペーパーを使って作品の雰囲気を表現したり、透視図法の理解を進めたりする工夫が良かった。日文は2、3年分冊になっている。紛失等の可能性を危惧する。
- ・指導に使いやすい工夫された教科書となっていて驚いた。日文は、2・3上、下となっていて、少しかさばると思う。
- ・図版については各社とも工夫されていると感じた。鑑賞の資料としてはあまり文字の情報が入らない方が好ましい。
- ・どの教科書も、写真が大きくてきれいで見やすく、それぞれに魅力があった。

意見書 中学校 種目（保健体育）

発行	観点	調査結果
東京書籍	1	学習の流れが、「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」の4ステップでまとめられており、主体的・対話的で深い学びとなる授業が実現できるよう、とても工夫されている。(口絵9、8~9頁など)
	2 ①	デジタルコンテンツが豊富に揃えられており、教育のICT化が図られ、生徒の興味・関心が高められるよう、とても工夫されている。(1頁)
	②	各小単元の「課題の解決」では、内容のまとまりごとに「発問」が設けられており、他者と話し合ったり、説明したりする活動が適切にできるよう、とても工夫されている。(口絵9、11、29頁など)
	③	「活用する」では、習得した知識や技能を活用し、より深く思考、判断、表現する学習活動が紹介されており、深い学びが実現できるよう、とても工夫されている。(9、23、41、101、171頁など)
	3	各章の扉では、小学校、高等学校での学習内容が明示されており、系統性のある指導ができるよう、配慮されている。(5、19、49、61、91、111、127、147、169頁)
	4	口絵では、教科内容に関連して、スポーツを支える人や、健康や防災・減災に関わる仕事をしている人の姿を取り上げられており、勤労を重んずる態度を養うことができるよう、配慮されている。(口絵3~4 口絵8)
	5	運動やスポーツを通した多様な人々の交流や健康を守る社会の取組が紹介されており、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度が養われるよう、配慮されている。(口絵3~4、51~53、61、75、88、95、127、160~162頁)
	6	章末資料に「胎児を育てる母体の神秘」が掲載されており、生命の尊さについて考えられるよう、とても配慮されている。(43頁)
	7	各单元の「広げる」では、自分の地域について調べる学習活動が多く設定されており、郷土を愛する態度を養うことができるよう、とても配慮されている。(口絵9、1~3頁など)
	8	読み物資料の「風評被害」は、差別や偏見の解消を呼びかける資料になっており、人権教育の推進に配慮されている。(143頁)
教科書展示会の結果（学校 5 一般 0 合計 5）		
【学校】		
<ul style="list-style-type: none"> ・見やすくまとめてあり、活用したいと思った。 ・現在使っている教科書に比べ、イラストや表が増え、教材の内容が具体的に示されているため、生徒の理解が深まりやすいと感じた。 ・教科書全体的にはとても読みやすく、分かりやすい内容であったが、他の会社の教科書より時数が多かったのが少々気にかかる。 		
選定委員会の意見		
<p>学習指導要領（保健体育）の目標及び内容の達成が十分に図られるよう各小単元が「見つける・学習課題・課題の解決・広げる」の4ステップで分かりやすく構成されており、生徒が見通しをもって協働的な学習が展開できよう、とても工夫されている。また、課題解決のツールとしての読み物資料や章末資料が充実しており、体育や保健の見方・考え方を働きかせながら学習が進められよう、よく配慮されている。さらに、本市が進めるICTの効果的な活用が十分に図られるようDマークコンテンツが豊富に揃えられており、生徒の「深い学び」が達成できるよう、とても工夫されている。</p>		

意見書 中学校 種目（保健体育）

発行	観点	調査結果
大日本図書	1	各小単元の課題を発見する活動「つかもう」、課題を解決する活動「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」、学習したことを活かす活動「活用して深めよう」の学習の流れが示されており、生徒が課題をもって主体的に考えられるよう、とても配慮されている。（口絵15～17、1頁など）
	2 ①	導入の「つかもう」は、生徒の身近な題材や生活について取り上げられており、主体的に学習に取り組む態度を育むことができるよう、配慮されている。（4、16、30頁など）
	②	「喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ」では、ロールプレイングの学習活動が設定されており、断り方等を思考し、言語活動を通して、コミュニケーションスキルを養えるよう、配慮されている。（83頁）
	③	各小単元の「話し合ってみよう」「活用して深めよう」などの活動では、保健体育の見方・考え方を働かせて深い学びにつながるよう、工夫されている。（口絵15～17）
	3	社会、理科、技術・家庭など、他教科に関連した題材を適宜扱うとともに、他教科に関連しているマークが提示されており、教科横断的な視点に立った資質・能力の育成が図られるよう、配慮されている。（20、30、32、34、98、140、150、152、154頁）
	4	運動やスポーツ、保健医療に携わる人々の仕事の内容についての写真や資料が豊富に掲載されており、勤労を重んじる態度が養われるよう、工夫されている。（口絵9～10、40、42、146頁）
	5	家庭や地域において保健体育で学習したことを活用できるよう、該当箇所に「家」「地域」マークを設け、社会の形成に参画し、発展に寄与する態度が養えるよう、工夫されている。（6、25、96、103、124、145、163、164頁）
	6	自他の生命を大切にする心を育む学習では、中学生期が生命を生みだす体へと成熟しつつあるということを写真やイラストで掲載されており、理解が深められるよう、工夫されている。（34～37頁）
	7	オリンピック・パラリンピックの資料及び内容がとても充実しており、スポーツの意義や価値等の理解とともに他国を尊重する態度が養えるよう、とても配慮されている。（口絵7～8、13、124～125頁）
	8	心や体の発育・発達には「個人差」があることを強調し、不安や悩みがあるときの相談窓口などが示されており、人権への配慮がなされている。（30、34、38、47頁）
教科書展示会の結果（学校 2 一般 0 合計 2）		
【学校】		
<ul style="list-style-type: none"> ・イラストもわかりやすくついており、説明の文章も明確でわかりやすかった。保健の内容も新しい指導要領に対応していたので、よかったです。 ・大日本図書の教科書は章末問題等が見当たらなかった。 		
選定委員会の意見		
<p>学習すべき章全体の目標を明確にするとともに、各小単元の冒頭に学習課題が明示されており、学習指導要領の目標や内容との関連が十分に図られるよう、配慮されている。また、オリンピック・パラリンピックの資料及び内容がとても充実しており、スポーツの意義や価値等の理解とともに他国を尊重する態度が養えるよう、とても配慮されている。</p> <p>各小単元の課題を発見する活動、課題を解決する活動、学習したことを生かす活動の学習の流れが明確に示されており、生徒が課題をもって、主体的に考えられるよう、工夫されている。</p>		

意見書 中学校 種目（保健体育）

発行	観点	調査結果
大修館	1	学習指導要領に示された道徳の内容について、パラアスリートや生涯スポーツ等、人間としてよりよく生きるための見方や考え方方が深められるよう、とても配慮されている。(4~9 頁)
	2 ①	各小単元で学習内容とキーワードが明示されており、生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりすることができるよう、配慮されている。(7、19、25、43 頁など)
	②	「保健の窓」「体育の窓」などのコラムや資料等は、仲間と意見交換しやすいよう、工夫されている。(91、129 頁など)
	③	各小単元において、イラストや資料、コラムなどを分かりやすく掲載し、自分の考えを形成し表現したり、多様な考え方を理解したりしやすいよう、配慮されている。(6、30、54、55 頁など)
	3	「ほり下げる」や「web 保体情報館」を使って、補充的な学習や発展的な学習が進められるよう、工夫されている。(21、39、79、139 頁など)
	4	「生活習慣の健康への影響」は、様々な職業と健康を維持するための生活とが結びついていることが紹介されており、望ましい職業観を育めるよう、工夫されている。(74 ~91 頁)
	5	事例の紹介やコラムは、特集資料等を用いられており、自分の健康や日常生活を維持するために社会の様々な事柄がつながり合っていることが理解できるよう、工夫されている。(8、43、92、144 頁など)
	6	SDGs と保健体育の学習の関わりが多くの写真や説明を使って分かりやすく説明されており、より身近な問題として考えられるよう、とても配慮されている。(口絵 7、口絵 8)
	7	熊本市の取組や事例を取り上げることで、生徒の身近な問題に触れさせ、郷土を愛する態度が養えるよう、とても配慮されている。(口絵 5、106、170 頁)
	8	「エイズとその予防」のコラムでは、「世界エイズデー」が紹介されており、差別や偏見の解消を呼びかけ、人権教育の推進に配慮されている。(143 頁)
教科書展示会の結果（学校 2 一般 1 合計 3）		
【学校】		
・大修館は QR コードを読み取って動画等で学習を深めるページがあり面白かった。		
・読みやすく使いやすいと感じた。		
【一般】		
・文字が小さく、密で分かりにくい。先生も指導しにくいのではないかと思う。		
選定委員会の意見		
<p>写真や特集資料、コラムなどを数多く使い、生徒の知的好奇心を揺さぶり、より学習を深められるよう、工夫されている。また、SDGs と保健体育の学習の関わりが多くの写真や説明を使って分かりやすく説明されており、より身近な問題として考えられるよう、とても配慮されている。熊本市の取組や事例を取り上げることで、生徒の身近な問題に触れさせ、郷土を愛する態度が養えるよう、とても配慮されている。</p>		
<p>各单元の小項目表題に結論が明記されており、学習内容が明確に分かるよう、工夫されている。</p>		

意見書 中学校 種目（保健体育）

発行	観点	調査結果
学研	1	学習指導要領の目標が達成できるように、各章ごとの導入のページには学習の目標が明示され、各小単元の導入では問い合わせを提示されており、生徒が授業を見通せるよう、とても工夫されている。(26、42、72頁など)
	2 ①	インターネットやデジタル教材を使った、「教科書サイト」が適宜設けられており、生徒が主体的・積極的に学習に取り組めるよう、工夫されている。(24、33、38、86頁など)
	②	話し合う、記述する、表現するなど、コミュニケーション能力や思考力の育成を促すための言語活動が充実するよう、とても配慮されている。(19、91、93頁など)
	③	「まとめる・深める」の欄に「見方・考え方」のマークがあり、多様な考え方を理解し、より深い学びになるよう、工夫されている。(45、99、109、157頁など)
	3	各章末の「探究しようよ！」は、学習内容に関連が深い課題が明示されており、習熟度に応じて指導ができるよう、工夫されている。(38、66、80、102頁など)
	4	単元「スポーツへの様々な関わり方」の「探求しようよ！」では、生徒が自分たちで校内のスポーツイベントを計画する活動例が取り上げられており、スポーツを支える楽しみや喜びについて学習できるよう、工夫されている。(22頁)
	5	スポーツに求められる社会性について学ぶことを通して、生徒がルールやマナーを守ることや他者を尊重することの重要性に気付くよう、工夫されている。(75頁)
	6	心身の発達と心の健康の学習を通して、かけがえのない自分に気づけるようにするとともに、他者を尊重する態度が養えるよう、配慮されている。(42～69頁)
	7	オリンピック、パラリンピックの学習を通して、スポーツが性別や国籍、障がいの有無に関わらず国際平和に果たす役割があることを学び、また、過去の大会の学習することで、我が国に誇りをもつことができるよう、とても工夫されている。(24、144～148頁)
	8	LGBT や SOGI (性的指向と性自認) に触れるを通して、多様な性のあり方について理解できるよう、配慮されている。(43、52、53頁)
教科書展示会の結果（学校 1 一般 1 合計 2）		
【学校】		
・読みやすく使いやすいと感じた。		
【一般】		
・学研教育みらいの教科書は、表紙の印象も良く、最新の資料（写真や記録等）が盛り沢山で、教師が指導しやすく、生徒が学ぶ意欲がわく教科書だと思った。特に、感染症についてのページも丁寧でわかりやすい。		
選定委員会の意見		
「課題をつかむ」「考える・調べる」「まとめる・深める」の学習過程や、「探究しようよ！」などで、確かな知識を習得し、主体的・対話的で深い学びとなる授業を実現できるよう、とても配慮されている。また、各章末の「探究しようよ！」は、学習内容に関連が深い課題が明示されており、習熟度に応じて指導ができるよう、工夫されている。		
インターネットやデジタル教材を使って学習したことを広げたり、深めたりすることができる「教科書サイト」が適宜設けられ、生徒が主体的に学習に取り組めるよう、とても工夫されている。		

教科書展示会の全体的な意見（学校 8 一般 0 合計 8）

【学校】

- ・全社、各单元にイラストやグラフなど見やすく、生徒たちも視覚的にとらえることができ、理解しやすいと感じた。
- ・どの教科書も生徒の意欲を引き出してくれそうなつくりになっていた。デジタル環境も整ってきているので、生徒の理解につながるように、デジタル教材を充実してもらえるとありがたい。指導書になるのだろうが、教科書提示以外の提示資料が豊富に選択できるとありがたい。
- ・それぞれ特徴のある内容とポイントがあり、見やすくなっていた。
- ・文字が見やすく大きいものが多かった。図や絵なども大きくきれいな色使いで分かりやすかった。また、学習内容変更に沿って流れがわかりやすく提示してあった。
- ・QRコードなどが掲載され、学習理解を助けるための動画や警視庁など関連するサイトの紹介がされるなど、デジタルコンテンツが用意されてあり良かった。（すべての教科書）
- ・新しい指導要領に沿った内容で、写真やイラストが多く、どの教科書も見やすかった。
- ・指導要領の改訂により、学ぶ順番も大きく変わり、教師もしっかりとした予習と授業の組み立てが必要と改めて感じた。
- ・全体的に見やすく、わかりやすかった。ポイントもわかり、使いやすい教科書だと感じた。

意見書 中学校 種目（技術・家庭（技術分野））

発行	観点	調査結果
東京書籍	1	学習内容の基本構成が見開きページに、学習目標からまとめのレイアウトも統一されており、生徒が見通しをもって学習できるよう、とても配慮されている。
	2	「技術のとびら」は、問題意識を高めるような「問題解決例」の内容になっており、生徒の主体的な学びの実現できるよう、とても工夫されている。(24頁など)
	①	「思考ツールの活用」は、対話的な学びを深めるための具体的な手段が複数示されており、対話が活性化するよう、とても工夫されている。(2~3頁)
	②	「最適化の窓」は、見方・考え方を働かせるための具体的な視点を数多く掲載されており、考えを深めることができるよう、とても工夫されている。(8~11頁)
	③	「最適化の窓」は、見方・考え方を働かせるための具体的な視点を数多く掲載されており、考えを深めることができるよう、とても工夫されている。(8~11頁)
	3	「今すぐできる！プログラミング手帳」は、複数のプログラミング言語の実践例が示されており、興味・関心が高まるよう、工夫されている。(切り離し資料1~8頁)
	4	「技術の匠」は、多様な業種の匠が紹介されており、ものづくりへの関心を高め、大切さ等について考えることができるよう、とても充実している。(79、81、169頁など)
	5	問題解決例「家族のための」などは、他者とのかかわりや、「食料の安定供給」などの社会的な側面も考慮した構成になっており、家庭や学校及び社会で人の役に立とうとする態度を育てるよう、とても工夫されている。(68~75頁)
	6	「最適化の窓」は、安全・社会・経済・環境の観点を具体的に捉える内容になっており、技術を焦点化して考えることができるよう、とても工夫されている。(11頁)
	7	「技術の匠」では、伝統文化や建築技術の代表例として熊本城が取り上げられており、郷土を愛する気持ちの育成を図ることについて、とても工夫されている。(79頁)
	8	「安全に利用する情報モラル」は、情報モラルの必要性を実感し、人権尊重の精神の涵養を図ることができるよう、配慮されている。(207~208頁)
教科書展示会の結果（学校 8 一般 2 合計 10）		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> 特に東京書籍の「技術の見方・考え方」の「最適化の窓」はよく工夫されており、活用することで生徒に多角的なものの見方を培うことができると思われた。 課題設定が明確で学習の流れが分かりやすい。イラストや写真が見やすく、生徒が主体的に学習できる構成になっている。 <p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> 技術の見方・考え方の教材が、教科書内に具体的に提示しており、すべての授業で活用できる。また、授業やカリキュラムの展開に合わせて、時系列に教科書が展開されており、順序立てて使えるように配慮してあり、使いやすくなっている。 		
選定委員会の意見		
<p>学習内容の基本構成が見開きページに、学習目標からまとめのレイアウトも統一されており、生徒が見通しをもって学習できるよう、とても配慮されている。</p> <p>また、情報量が適切かつ視覚的に分かりやすく表現され、問題解決的な学習、他教科との関連、製作実習の充実など、学習内容を深めたり、ひろげたりすることができるよう、とても工夫されている。</p> <p>特に技術分野の学習の流れや思考ツールの利用が記載され、主体的で対話的な学習が促進できるような内容と共に「見方・考え方」を働かせるための工夫として、「最適化の窓」がガイダンスに掲載されており、技術分野の資質・能力の育成を図ることができるよう、とても配慮された構成となっている。</p>		

意見書 中学校 種目（技術・家庭（技術分野））

発行	観点	調査結果
教育図書	1	全ての学習内容の流れが、<見つける→学ぶ→ふり返る>と具体的に提示されており、目標の達成に向けて理解が深まるよう、とても工夫されている。
	2	めあて「見つける」には、生徒の意欲が高まるようなキーワードが提示されており、課題の目的意識が高まるよう、とても工夫されている。(12頁など多数)
	②	各章末の「持続可能な未来の社会のために」は、消費者と生産者の両方の立場から現状を考える記載になっており、対話が活性化するよう、配慮されている。(75頁など)
	③	各内容の「技術のプラス面とマイナス面」及び「やってみよう」は、未来の社会を考える内容になっており、思考が活性化するよう、配慮されている。(72頁など)
	3	別冊ハンドブックは、QRコードより動画が視聴でき、工具の使い方などの基礎技能が理解しやすい構成になっており、個々の状況に応じた製作ができるよう、工夫されている。
	4	最先端技術を紹介する「スゴ技」と携わる人を紹介する「技ビト」は、勤労感が高まるよう、配慮されている。(34頁など)
	5	情報モラルの「もっと知ろう ネット依存」は、項目ごとに留意点が掲載されており、実践的に学ぶことができるよう、とても配慮されている。(202～203頁)
	6	乳業・採鶏卵・豚を育てる技術の「もっと知ろう」には、管理作業の例が多数の写真で具体的に掲載されており、生命の大切さを視覚的に感じるよう、配慮されている。(107頁)
	7	「技ビト」には、伝統的な技術を生かしたものづくりに取り組む人々が取り上げられており、伝統文化に関心を寄せ、尊重する態度を養うことができるよう、とても配慮されている。(34～35、70、155頁)
	8	「共生」には、障がい者支援、高齢者や外国人への支援について、技術進歩などの内容が掲載されており、人権教育が推進されるよう、とても工夫されている。(6～7頁など)
教科書展示会の結果（学校1 一般 0 合計 1）		
【学校】		
・実習例が具体的に記載されており、見やすく工夫されていた。		
選定委員会の意見		
<p>全ての学習内容の流れが、<見つける→学ぶ→ふり返る>と具体的に提示されており、目標の達成に向けて理解が深まるよう、とても工夫されている。</p> <p>各学習内容の「もっと知ろう」は、製作実習等の例が多数の写真で具体的に掲載されており、生命の大切さを視覚的に感じるよう、配慮されている。</p> <p>また、製作題材例の工程表には、作業手順と共に「基礎技能」、「ポイント」、「安全」が分かりやすく提示され、別冊ハンドブックは、技能の定着が個別に確認できるよう、配慮されている。</p> <p>製作については、治具等の工夫した活用による実習や特別支援学校の教室の様子が取り上げられており、お互いの立場を尊重して製作実習ができるよう、とても配慮されている。</p>		

意見書 中学校 種目（技術・家庭（技術分野））

発行	観点	調査結果
開隆堂	1	「技術分野の学習の流れ」では、学習順にリンクした4コマ漫画、図を基にした学習の流れが分かりやすく示されており、目標および内容が効果的に学習できるよう、とても配慮されている。(6~7頁)
	2 ①	「調べてみよう」、「考えてみよう」、「話し合ってみよう」などのコーナーや、実験や観察などの体験的な学習が適切に配置されており、主体的に学習を進められるよう、工夫されている。(88~89頁)
	②	探究「製作者に話を聞きました」は、「いす」に込められた工夫を対話が促進するような記載になっており、考えを深めることができるよう、工夫されている。(25頁)
	③	「トレードオフと最適化」では、図による分かりやすい説明が掲載されており、見方・考え方を深めることができるように、とても工夫されている。(52頁)
	3	製作実習中の動作のポイントが、矢印を活用して視覚的に分かりやすく掲載されており、理解が深まるよう、とても工夫されている。(70~71頁)
	4	「製作者に話を聞きました」は、製品に込めた製作者の思いや意図を感じることができ、職業観を育むことができるよう、工夫されている。(25頁)
	5	『携帯電話の利用』こんなときどうする?には、具体的な事例や対処方法が掲載されており、実践的な態度を身につけることができるよう、とても工夫されている。(295~296頁 卷末④)
	6	ガイダンス「技術とエネルギー・環境」は、エネルギーの残存年数などが、分かりやすく示されており、自分たちが置かれている社会の現状が理解できるよう、配慮されている。(17頁)
	7	日本各地の伝統工芸品が、地域別に写真で示され、状況などを視覚的に分かりやすく掲載されており、関心が高まるよう、工夫されている。(292~294頁)
	8	「企業のものづくりの流れ」は、電動アシスト自転車の例より、共生社会についての意識が高まるように写真・絵・開発者のコメントが掲載されており、人権教育推進の視点から技術革新の大切さを学ぶことができるよう、配慮されている。(8~9頁)
教科書展示会の結果（学校 0 一般 0 合計 0）		

選定委員会の意見

冒頭の「技術の学習の流れ」では、学習の順番にリンクした4コマ漫画及び「学習の流れイメージ」図を基に、学習の流れが分かりやすく示されており、目標および内容が効果的に学習できるよう、配慮されている。

製作工程においても、写真などに矢印を用いたり、説明を付け加えたりするなど、個々の生徒の理解に応じ、きめ細かな指導ができるよう、とても工夫がなされている。

また、情報モラルの具体例や知的財産の正しい利用について実践的な態度が身につくような内容になっており、情報の取り扱いについて適切に対応できるよう、配慮されている。

製作実習及び知識・技能の習得について、個々の生徒の製作進度に対応でき、きめ細かな指導ができるよう、工夫されている。

教科書展示会の全体的な意見（学校 4 一般 0 合計 4）

【学校】

- ・現行では、東京書籍を使っているが、東京書籍の新しいものは単元ごとに内容が見やすいようにシンプルにまとめてあり、生徒にも理解しやすいように感じた。他社のものは、見慣れていない影響からか、授業のイメージが明確には持ちにくいと感じた。
- ・デジタル教科書を合わせて、すぐに配布していただきたい。
- ・最新のプログラミング学習についての掲載があり、参考になった。
- ・全体的に図や写真も多く、生徒にとってわかりやすい教科書になっており、関心を高める工夫には興味がひかれた。

意見書 中学校 種目（技術・家庭科（家庭分野））

発行	観点	調査結果
東京書籍	1	3年間で「自立」「共生」についてどのような姿を目指すのか、具体的に理解できるよう、とても配慮されている。
	2	各節の始めに「目標」が「～できる」という表現で示してあり、何を目指して学習していくのか明確になるよう、とても工夫されている。
	①	各節の初めの活動「話し合ってみよう」や各節の終わりにある「まとめよう」において意見交換ができる内容が多く見られ、とても充実している。
	②	各節の初めの活動「話し合ってみよう」や各節の終わりにある「まとめよう」において意見交換ができる内容が多く見られ、とても充実している。
	③	巻頭に「生活の営みに係る見方・考え方」について4つの視点が明記されており、それぞれの内容の最初の部分に、特に働くべき見方・考え方を示されていることで、学習を深めることができるよう、とても工夫されている。(8~9頁)
	3	Dマークが掲載された箇所では、デジタルコンテンツが準備されており、個々の進度に合わせていつでも確認できるよう、とても工夫されている。
	4	「プロに聞く！」では、プロの視点からその職業の魅力ややりがいを中学生へのメッセージとして記しており、とても充実している。(29頁)
	5	水俣市のゴミ集積場での分別活動や祭りへの参加などが紹介されており、主体的に地域社会の形成に参画しようとする態度を養うよう、配慮されている。(219頁)
	6	人、社会、環境、地域などの側面に配慮した倫理的な消費「エシカル消費」についての内容や、熊本地震の被災地支援商品を例に挙げ、持続可能な社会を築くための消費行動について記載があり、環境保全に寄与する態度が育成できるよう、とても工夫されている。(207頁)
	7	伝統文化のマークが分かりやすく表示され、全国各地の雑煮の特徴、地域に伝わる衣の文化、浴衣の着方など詳しく説明されており、日本の伝統文化を学ぶことができるよう、とても適している。(93頁)
	8	高齢者について、体の特徴や関わり方が分かりやすく書かれている。また、生き生きと活躍されている高齢者の紹介がされており、人権尊重の精神の涵養を図ることができるよう、とても配慮されている。(258~259頁)
教科書展示会の結果（学校17 一般0 合計17）		
【学校】		
<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活のインターネットトラブルやスマートフォンの使い方についてなど、中学生の生活に沿った内容があり、より生活に即した授業ができると感じた。 ・防災手帳や幼児の視野キットが付いており、生徒の興味を引く構成になっていた。 ・「生活の課題と実践」でのまとめ方が写真で例示してあるので、実践やレポート作成の授業で活用しやすい。 		
選定委員会の意見		
<p>技術・家庭科（家庭分野）の目標である「自立」と「共生」について、3年間で学ぶ内容がガイダンスで分かるよう、とても工夫されている。また、各節ごとに目標と評価が記され、教科書の構成がとても工夫してあり主体的に学べるよう、とても配慮されている。見方・考え方方が具体的に明記してあり、生活の課題と実践の内容でその視点を働きながら深い学びにつながるよう、とても配慮されている。新しく学ぶ高齢者の内容については、体の特徴や関わり方を具体的に示し、とても充実している。消費生活と環境では、生活者として、よりよい商品の選択と購入の方法として、意思決定のプロセスやエシカル消費などを学習内容に取り入れるなど、将来にわたっての消費行動の内容がとても工夫されている。</p>		

意見書 中学校 種目（技術・家庭科（家庭分野））

発行	観点	調査結果
教育図書	1	「見つめる」「学ぶ」「振り返る」が各章ごとに統一されており、学びの構成がスムーズで、目標を達成しやすいよう、とても工夫されている。(4~11頁)
	2	各章の項目ごとに、「見つめる」「学ぶ」「振り返る」の流れが設けられ、「振り返る」では1時間の学びを記述で振り返ることができるよう、とても工夫されている。(72~73頁)
	②	「話し合ってみよう」「聞いてみよう」「発表してみよう」「自分の言葉でまとめよう」というコーナーでは、意見交換ができるよう、工夫されている。(19、31、34、56頁)
	③	各章の最後には、「学びを生かそう」や生活の課題と実践という内容で問題解決のためのステップとして、問題発見・課題設定・計画・実践・評価・改善・次の課題への学習の例が示されており、生徒が取り組みやすいよう、工夫されている。(282~291頁)
	3	日常食の調理において「どうしてこうなったのかな」という実習例を挙げ、ポイントを押さえることができるよう、とても工夫されている。(125頁)
	4	「センパイに聞こう！」のコーナーが「やってみよう」「学びを生かそう」の学習内容を学んだ各章末に設けられており、人生観や職業観が育まれるよう、工夫されている。(35頁)
	5	消費者教育においては、契約の成立の法律的な意味を捉え、「メッセージ」コーナーでの助言や多様化するキャッシュレス決済について触れられており、今日的な課題が理解しやすいよう、とても工夫されている。(244~245頁、247頁、251頁)
	6	消費生活が社会に与える影響について、フェアトレードや発展途上国の縫製工場などに触れられており、エシカル消費について考えることができるよう、工夫されている。(268頁)
	7	日本の伝統的な住まい方が、気候風土に適応したもので、先人の知恵と工夫の集大成であることを理解できるようなシミュレーションできるコンテンツもあり、とても工夫されている。(212~213頁、216~217頁)
	8	高齢者については、高齢者疑似体験や介助の活動例を示し、疑似体験的に教科書を活用して学習できるよう、配慮されている。(29~30頁)
教科書展示会の結果（学校 11 一般 0 合計 11 ）		
【学校】		
<ul style="list-style-type: none"> ・「幼児の生活と家族」は写真がたくさん掲載しており、日頃幼児に触れることが多い中学生にとって分かりやすい。 ・インタビューを多く掲載するなど実際の声が多く盛り込まれていて良い。 		
選定委員会の意見		
<p>学習指導要領の目標について、ガイドナンスの部分で「自立した生活のために」「みんなで生きていく（共生）ために」「持続可能な社会のために」という内容では、生徒が意欲を高めるよう、工夫されている。「見方・考え方」や態度を育むための、「やってみよう」「学びを生かそう」「センパイに聞こう！」という項目では、段階的に学習を進めることができるよう、工夫されている。また、「深い学び」につながるよう「学びを生かそう」「生活の課題と実践」という内容では、問題解決のための6ステップが示され、問題を発見する・課題を設定する・計画・実践する・評価する・改善する・次の課題への学習の一例が示してあり、生徒が取り組みやすいよう、工夫されている。さらに、消費生活の内容では様々な話題を取り上げ、生徒が興味をもって主体的に活動できるよう、工夫されている。</p>		

発行	観点	調査結果
開隆堂	1	巻頭のガイダンスは、家庭分野の学習内容の理解が深まるよう、工夫されている。また、「自立」と「共生」について具体的に示し、理解を図ることができるよう、とても工夫されている。(2~11頁)
	2	本時の導入課題は、生活で体験しやすい事例を取り上げ、授業への動機付けがなされ、①主体的な学びにつながるよう、とても工夫されている。(240頁)
	②	「話し合ってみよう」「発表しよう」「考えてみよう」というマークが随所にあり、生徒同士の対話が促進するよう、とても充実している。(19頁、32頁、36頁)
	③	生活の課題と実践では、日常生活の中から問題を見出し、課題設定することができるよう、ヒントを提示し、さまざまな解決法を考えることができるよう、とても配慮されている。(266~277頁)
	3	発展的な学習の取り扱いは「発展」のマークで分かりやすく提示されており、生徒が理解しやすいよう、とても工夫されている。(179頁)
	4	「先輩からのエール」では、関連する幅広い職業の人が登場し、学んだ内容が将来どのような職業に結び付くかが提示されており、職業観の育成につながるよう、とても配慮されている。(264頁)
	5	子ども食堂、避難所での様子は、地域の人々との関わりの大切さを理解し、中学生が主体的に取り組めるよう、工夫がみられる。(56~57頁)
	6	内容のまとめごとに SDGs を意識した取り組みについて学習するような構成になっており、意識が高まるよう、工夫されている。(64頁)
	7	衣生活の学習の導入に、日本の伝統的な文様が見開きで記載されており、日本独自の文化を知ることができるよう、とても工夫されている(160~161頁)
	8	ユニバーサルファッショントについて触れ、年齢も障がいの有無も個性であると記載がある他、住まいにおけるバリアフリー、ユニバーサルデザイン、ノーマライゼーションの具体的な方法を提示するなど共生の視点を学ぶことができるように、内容が充実している。(165頁、223頁)
教科書展示会の結果（学校 17 一般 1 合計 18 ）		
【学校】		
・「生活の課題と実践」の例示が目次に明示されているので、目次を見て学びの地図がイメージしやすい。		
【一般】		
・生きていくうえで重要な中学家庭科。衣食住のうち、特に食生活の内容で調理実習が分かりやすくできている。		
選定委員会の意見		
学習指導要領の目標については、巻頭で学習内容の全体を見通す工夫がよくなされている他、各章、各節ごとに目標と学習のまとめを設け、基礎的・基本的な知識・技能の定着ができるよう、とても配慮されている。「見方・考え方」に対する表記は、ガイダンスの部分で、快適・安全・健康、家族や地域の人との関わり、生活文化、持続可能な社会という生活を見つめる視点を分かりやすく提示するなど、とても工夫されている。課題と実践の学習では、生活の中から問題を見出し課題設定することができるよう、様々な解決法を考えることができるよう、とても配慮されている。持続可能な社会の構築については、各学習のまとめごとに SDGs を意識した生活者の取り組みについて学習するような構成になっている。		

教科書展示会の全体的な意見（学校49 一般1 合計50）

【学校】

- ・どの教科書も、学習内容ごとに要点が整理されている。また、実践的な学習資料が提示され、生活で活用できるように構成されていた。
 - ・どの教科書も調理実習の内容で「蒸す」調理の具体的な例が掲載しており、わかりやすい。
東京書籍の教科書に関しては、次の意見が出された。
 - ・作品例や写真、図が豊富で、生徒が興味関心を持って授業に臨める構成になっていた。
 - ・食材の量が実物大で載っているので、わかりやすい。
 - ・「高齢者とのかかわり」がわかりやすく、実践につなげやすい。
 - ・教科書の大きさがこれまでA4より少し大きめだったが、A4になって持ちやすくめぐりやすい。
 - ・「家族」の内容について指導すべき内容が絞り込めていないように思う。
 - ・現行の教科書の流れを汲んだ内容だった。
 - ・洗濯用の洗剤については、いまだに「中性」「アルカリ性」等の液性で判断するかのような記載になっている。
 - ・今までより、思考過程を大切にするような表記になっていたように思う。
教育図書の教科書に関しては、次の意見が出された。
 - ・幼児の写真がたくさん掲載されているため、日頃幼児に触れ合うことの少ない中学生にとってわかりやすい。
 - ・詳しく書かれているとは思うが、授業時数を考えるともう少し精選した方がよいと思った。例えば、調理実習例が多く載っているが、授業時数は限られているし、料理の本や辞典ではないので、基礎・基本を学ぶ中学生にふさわしい実習例をもう少し絞り込んでよいのではと思った。
 - ・SDGsや衣服製作にマスクなど、今の世の中の流れを反映した内容が盛り込まれていた。
 - ・ページごとにQRコードが配置してあったところがアクセスしやすいと思った。
 - ・資料が豊富、例が盛りだくさん。「蒸し料理」の例がわかりやすい。
 - ・内容については高校用教科書の書き直しのような印象を受ける箇所が多く見られる。
開隆堂の教科書に関しては、次の意見が出された。
 - ・思考過程を大切にするような表記や構成になっていた。
 - ・小学校との系統性が生徒にもわかりやすく記載されている。
 - ・「被服」の部分の「やり方図」がわかりにくい。特にまつり縫いについては誤解を受けやすい表現になっているのではないか。
 - ・他社に比べて写真が多く、文章が少なかった。
 - ・イワシの手開きや手順や浴衣の帯結びが掲載されており、大変良いと思った。今後もなくさず掲載し続けてほしい。
 - ・全体的に内容を大きく変えている印象がある。SDGsやLGBT等の新しい視点が随所に盛り込まれている。
 - ・洗濯用の洗剤について、実際に多く販売されている製品の情報が反映されている。
 - ・教科書の紙質なのか、全体的に暗い感じがした。
 - ・消費生活では、消費トラブルの事例や発生件数など具体的な内容が詳しく掲載してある。
- 【一般】
- ・生きていくうえで重要な中学家庭科。開隆堂は衣食住のうち、特に食の分野で調理実習がわかりやすくできている。

意見書 中学校 種目（英語）

発行	観点	調査結果
東京書籍	1	4技能5領域の活動がバランスよく構成されており、CAN-DOリストも丁寧で、学年の目標が達成できるよう、配列がとても工夫されている。(2年118~119頁など)
	2	絵や写真が豊富で他教科との関連も意識されており、QRコードも工夫されている。単元の学習はスマールステップで学習が深まるよう構成されている。(3年19~28頁など)
	①	SDGsをテーマにした内容も多く、絶滅危惧種や防災、エネルギー問題などをテーマとして取り上げてあり、ディベートの活動が充実するよう、とても工夫されている。
	②	統合的な学習が設定してあり、ペアやグループで協働学習をしながら4技能5領域の力が身につけられるよう、とても工夫されている。(3年106~109頁など)
	3	長めの英文を読み、要点を理解する学習を通して読解力を育むなど発展的に学習できるよう、配慮されている。(2年122~126頁など)
	4	自分が目標としている人やスティーブジョブズなど著名人の生き方を紹介し、勤労観・職業観を育めるよう、工夫されている。(3年110~113頁など)
	5	ユニバーサルデザインの話題や投票について考える題材を通して、社会参画への意識を高められるよう、とても工夫されている。(3年68~69頁など)
	6	絶滅危惧種の問題、自然災害や防災、原爆などの内容が設定され、生命や自然を尊重する精神を育成することができるよう、工夫されている。(3年35~44頁など)
	7	落語や伝統工芸、日本の習慣やマナーについて取り上げてあり、日本文化を理解し、伝統と文化を尊重する態度を養えるよう、とても工夫されている。(1年67~73頁など)
	8	差別撤廃や、「世界がもし100人の村だったら」を扱ってあるとともに女性の活躍を取り上げ、人権教育が推進できるよう、とても配慮されている。(3年71~80頁など)
教科書展示会の結果（学校 18 一般 2 合計 20）		
【学校】		
<ul style="list-style-type: none"> Reading, Writing, Listening, Speakingの4領域を、分かりやすく学習できるように構成されていると感じた。 B4サイズが大きくなり、それぞれの学年の学習内容も大きく変わっているところが多く、生徒たちは少し戸惑うかもしれない。1ページの情報量がかなり多いのに驚いた。 		
【一般】		
<ul style="list-style-type: none"> サイズが大きくなったが、文字数が増え、少し取り掛かりにくくなっている。Small stepで活動が組んであるのは、意図がはっきりとしていてよい。 		
選定委員会の意見		
<p>目的・場面・状況の設定が明確であり、スマールステップで単元の学習を進めながら英語力の習得が図れるよう構成されている。Can-Doリストが細かく分かりやすく表示され、4技能5領域の統合型の学習活動もとても充実している。小学校での学習を踏まえて接続が円滑になるよう、よく工夫されており、学習の見通しと振り返りもポイントがおさえられている。各単元でのテーマがSDGsを取り上げるなど、生徒の興味・関心を引き付けるものになっている。生徒が自分で学習しやすい手立てもなされており、工夫されている。</p>		

意見書 中学校 種目（英語）

発行	観点	調査結果
開 隆 堂	1	基本的な語を使いやり取りする活動が系統的に盛り込まれている。第1学年では小学校の振り返りから始まるなど学習内容の配列がとても配慮されている。(1年36、37頁など)
	2	単元の扉に内容に関連した写真や目標が提示されている。音と文字のつながりを示している他、QRコードなどを参考に自分で学習できるよう、工夫されている。(3年8頁など)
	①	各単元で学んだ表現を使って、自分の考えを伝え合う表現活動が設定されている。
	②	Our Projectでは即興で発表する活動を取り入れるなど対話的な学びが推進できるよう、配慮されている。(1年34頁、47~51頁など)
	③	内容を整理してスピーチを行い、情報を整理し、発表方法を考えるなど、協働学習を通して考えを深め合う活動が推進できるよう、とても充実している。(2年79~83頁など)
	3	単元ごとに文法の確認ができ、文型で品詞が色分けされている。小学校でのSmall Talkを引き続き繰り返し学習できるよう、工夫されている。(1年61~67頁など)
	4	困難な状況にあっても努力し活躍する人物や若い世代で活躍する人物の話を取り上げ、目標に向かって努力する大切さを実感できるよう、工夫されている。(3年63~71頁など)
	5	自分たちの住む地域を紹介する活動を取り上げ、社会参画や地域社会の発展に寄与する態度を育めるよう、とても工夫されている。(3年85~90頁など)
	6	フィンランドやカナダの自然環境、海洋プラスチックごみについての学習などを通じて、環境の保全に寄与する態度を養えるよう、工夫されている。(3年75~83頁など)
	7	書道と百人一首、けん玉や将棋、漫画やアニメ、弁当などの話題が取り上げられ、日本の伝統と文化を尊重する態度が養えるよう、とても工夫されている。(1年53~58頁など)
	8	サバンナを通じて学校に通ったりする子供の話や、マララさんのスピーチなど、教育を受ける権利について考えを深められるよう、とても配慮してある。(1年69~75頁など)
教科書展示会の結果（学校 4 一般 1 合計 5）		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> Scenesのページでいろんな会話がなされており、内容理解やコミュニケーション活動の一助となっているように感じた。わかりやすいイラストと共に会話が流れていて扱いやすそうだった。 生徒たちが取り組みやすく、教える側にとっても教えやすそうな構成になっていた。 社会的な内容が多く、読み物が多いため難易度が高い。 <p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書のサイズ、文字数なども適当だったと思う。内容的にもよい。 		
選定委員会の意見		
<p>各単元が簡単な会話で構成された漫画で導入され、言語の使用場面を生徒がイメージしやすいよう、工夫されている。Small Talkをはじめ対話的な学習を繰り返し行う場面が多く設定されており、話すこと（やり取り）の力を身に付ける活動がとても充実している。小学校での学習がおさえられており、教科書のレイアウトも見やすく、生徒の興味・関心を引き付ける写真やイラストが多く使用されている。巻末の基本文や単語リストが使いやすく生徒が自分で学習するための手立てもなされており、工夫されている。</p>		

意見書 中学校 種目（英語）

発行	観点	調査結果
三省堂	1	学期や学年ごとに各技能を統合的に学ぶ Project が設定されており、3 年間で系統的に学習し、英語力を身に付けられるよう、とても工夫されている。(1 年 66~67 頁など)
	2	単元の扉に単元のテーマや場面、質問が提示されている他に、文法事項や言語活動も表示することで、学習の見通しがもてるよう、工夫されている。(2 年 39 頁など)
	①	社会的な問題について議論する活動が設定されている。議論の例や進め方を図解する
	②	など学習活動が進めやすいよう、とても配慮されている。(2 年 118~121 頁など)
	③	アイディアマップを使いながらメモを作成し、質問などを受けて発表を振り返る場面が設定され、深い学びが実現できるよう、とても工夫されている。(2 年 28~31 頁など)
	3	語順の説明や簡単なやり取りなどにイラストを多く使用されており、理解しやすいよう、工夫されている。(1 年 39 頁など)
	4	「卒業スピーチ」の題材では過去の発明の歴史と創造力を伸ばすことの大切さに触れている。また、外国語を使って仕事をする人々が紹介されるなど、将来の生き方について考えることができるよう、とても工夫されている。(3 年 103~113 頁など)
	5	ごみの分別ルールなど公共のルールについて取り上げてあり、規範意識の大切さについて考えることができるよう、工夫されている。(3 年 68 頁など)
教科書展示会の結果（学校 5 一般 0 合計 5）	6	長岡市の花火大会や広島原爆の題材は、生命の大切さについて考えることができるよう、とても工夫されている。(3 年 35~45 頁など)
	7	海外出身の登場人物の視点から日本文化との共通点や相違点について考える題材を扱い、国際協調の理解が深められるよう、とても工夫されている。(2 年 71~81 頁など)
	8	車いすバスケットボール選手や女性落語家の活躍などについて扱われており、共生社会について考えを深められるよう、とても配慮されている。(1 年 113~121 頁など)

【学校】

- ・学びに向かう人間性、知識・技能、思考力・判断力・表現力を育成できる内容がカテゴライズされている。Project ではディスカッションも取り入れられており高校英語へのつながりを意識した内容になっている。Use speak/write の活動では「20 歳の自分へのメッセージ」という身近な話題で、子供たちの興味・関心を喚起させるような構成になっている。
- ・三省堂 (New Crown) 教材の配置がごちゃごちゃした印象。基本文がどこにあるのか、ぱっととらえにくかった。

選定委員会の意見

マンガやアニメを扱うなど興味・関心を高める工夫がなされており、スマールステップで学習を進めていくよう、構成されている。イラストや図表が多く使用され、理解を促したり、考えをまとめたりしやすいよう、とても工夫されている。文法事項を繰り返し学習する Drill の設定や思考ツールも多く掲載されている。QR コードも多く、学び方についても触れてあり、自分で学習する手立てがとても充実している。

読みの学習では 3 段階でステップを踏まえて学習を深められるように構成されており、統合学習が系統的に配置されるなど、工夫されている。

意見書 中学校 種目（英語）

発行	観点	調査結果
教育出版	1	Can-Do リストが巻末にあり、4技能5領域の言語活動が統合的に配列され、実用的な英語力を身につけられるよう、とても工夫されている。(2年 86~89 頁など)
	2	辞書の使い方や学習のコツの内容、マスキングシートを利用した文法事項や語彙のまとめの掲載など、振り返りの学習がしやすいよう、工夫されている。(1年 50 頁など)
	①	卷末の Active Plus では二つの単元ごとに学習した表現を QA 形式でまとめてあり、対話やスピーチを即興で行えるよう、工夫されている。(1年 132~141 頁など)
	②	町や学校の紹介でマッピングを用いたり、ディベートをしたりする中で他者の考えを知り、自分の考えを深めることができるよう、工夫されている。(2年 54 頁など)
	③	卷末には前学年で学習した基本文のリストが提示されている。Activities の QA での質問と応答を通して、繰り返し学習ができるよう、配慮されている。(3年 17 頁など)
	3	働くことの意義について議論を行う活動を設定している。著名人の話が掲載され、生き方について考えを深めることができるよう、工夫されている。(3年 69~75 頁など)
	4	慈善活動を取り上げ、社会参画や地域社会の発展に寄与する態度を育めるよう、工夫されている。(2年 77~85 頁など)
	5	地球温暖化やごみ処理問題などについてレポートを書く活動などを通して、環境の保全に寄与する態度を養えるよう、とても工夫されている。(1年 111~119 頁など)
	6	フランス人の板前や旨味についてなど、ユニークな話題や外国の文化を取り上げ、国際協調についての学習が深められるよう、とても工夫されている。(3年 4~8 頁など)
	7	オードリー・ヘップバーンの生き方を通して、貧困問題や差別について学習するなど、人権尊重の精神を涵養できるよう、内容がとても工夫されている。(3年 42~46 頁など)
教科書展示会の結果（学校 4 一般 0 合計 4）		
【学校】		
<ul style="list-style-type: none"> 書体のサイズがほど良く大きく見やすい。(余白が生かされている) 既習事項を振り返りながら新出内容が学べる構造になっていてわかりやすい。また各単元の巻末には、review や task、grammar といった復習内容がまとめられており、一目瞭然で振り返りやすい。本文自体も興味深い内容が多く学ぶことが楽しくなりそうな教科書であった。 社会的内容が多く、読み物が多いため難易度が高い。 各 part の key sentence は左ページにあった方が、指導の順序性からもいいのではないか感じる。 		
選定委員会の意見		
<p>文法事項を 1 年で多く学び、繰り返し使用しながら身に付けられるよう、構成されている。即興でのやり取りやスピーチをする活動が設定されており、3 年生ではディスカッションやディベートを多く取り入れ、実用的な英語力が育成できるよう、工夫されている。英語の学び方や辞書の使い方、巻末の基本文のまとめや語彙のマスキングシート利用、QR コードなど自主学習のための手立てが充実している。小学校での学習や前年度の振り返りから学習が始まられ、教科書のレイアウトも見やすく文字も読みやすい。単元の内容も興味・関心を引くものが多く、工夫されている。</p>		

意見書 中学校 種目（英語）

発行	観点	調査結果
光村図書	1	目的や場面、状況に応じて英語力を養えるよう各单元で Can-Do リストとリンクした 4 技能 5 領域の目標が示され、言語活動がとても充実している。(2 年 51~59 頁など)
	2	3 年間の連続したストーリーがあり、登場人物に共感し実生活と学習内容を重ねながら学習を進められるよう、とても配慮されている。(3 年 103~109 頁など)
	①	身近な話題についてやり取りを行う手立てが丁寧で、他者との共通点や相違点を見つけるなど、対話的な活動ができるよう、とても工夫されている。(1 年 卷末 帯教材など)
	②	学期ごとに統合的な学習が設定してあり、ペアやグループで協働学習をしながら 4 技能 5 領域の力が身につけられるよう、とても充実している。(2 年 48~49 頁など)
	③	各学年とも前年度の学習の振り返りから始まっている。卷末に英語のしくみなどについてのまとめがあり、自主学習しやすいよう、とても工夫されている。(2 年 8 頁など)
	3	羽生結弦選手について扱われ、目標に向かって努力する大切さが実感したり将来の生き方について考えたりできるよう、とても工夫されている。(2 年 75~83 頁など)
	4	公民館の掲示板の情報や日本の観光名所などを説明する内容が取り上げられており、社会の形成に参画する態度を養えるよう、工夫されている。(3 年 48~49 頁など)
	5	海外の自然や世界遺産、プラスチックごみ問題が取り上げられており、自然を尊重し、環境保全に寄与する態度を養えるよう、工夫されている。(3 年 65~73 頁など)
	6	海外の学校生活や文化、世界で働く人や世界の単位、絵文字の紹介など異文化理解を促し国際協調の理解が深められるよう、とても工夫されている。(2 年 120~123 頁など)
	7	障がいを持つ人の社会参画や「世界がもし 100 人の村だったら」を扱い、様々な人権について考えることができるよう、とても工夫されている。(3 年 60~63 頁など)

教科書展示会の結果（学校 6 一般 0 合計 6）

【学校】

- ・子供たちの interact を意識した構成になっており、自分の身近な話題を中心にコミュニケーション活動ができる素地が学べる。1、2、3 年生の関連性が密接で、3 年分の教科書を持っていれば、既習事項を振り返り、定着させ、活用できる。個人的にイラストの感じも好みだった。
- ・生徒の生活に沿った内容が中心で社会的な内容とのバランスがよかった。
- ・各 part の Key や think の文字がやや小さい。各パートに基本文がおかれていて、生徒の学習の流れを考えると文法習得と内容理解に分けた方がいいのではないかと思う。

選定委員会の意見

3 年間を通じたストーリー性が重視されており、登場人物への興味・関心を高めながら 4 技能 5 領域の活動がバランス良く配置されている。即興的なやり取りを帯活動で取り入れたり、表現などの相違点を考えさせたりするなど、多角的な見方・考え方をしながら深い学びにつながる統合型の学習活動がとても充実している。小学校や前学年の学習を振り返るとともに、各单元で見通しをもたせながら学習を進められるよう、とても工夫されている。写真やイラストを多く用いており、SDGs をはじめ、生徒の興味・関心を引き付ける内容が多い。QR コードの充実をはじめ、自分で学習を進める手立てもなされており、とても工夫されている。

意見書 中学校 種目（英語）

発行	観点	調査結果
啓林館	1	各パートは会話形式で目的や場面、状況をつかみ、文法事項を練習し、言語活動を行うという構成であり、学習しやすいよう、とても配慮されている。(1年 22~23 頁など)
	2	他教科と関連した内容が扱ってあり、各単元末には学習した内容について更に詳しい情報が掲載され、関心・意欲が高められるよう、工夫されている。(3年 29 頁など)
	①	都會と田舎の二者択一、制服の必要性等について自分の意見を述べ友だちと議論する
	②	活動が設定され、対話的な学びができるよう、配慮されている。(2年 75 頁など)
	③	SDGs に関連した内容などについてグループで話し合い、それぞれの意見を共有しながら、自分の考えを深めることができるよう、工夫されている。(3年 90~91 頁など)
	3	Target で示された基本文を繰り返し学習できるようにされており、まとめのページを文法事項ごとに設け、学習の定着が図れるよう、工夫されている。(1年 90 頁など)
	4	海外で働く日本人の紹介や、地域の活性化を図った活動の紹介、著名人の生き方が扱われ、勤労観・職業観を育むことができるよう、工夫されている。(3年 63~73 頁など)
	5	防災訓練の内容から安全・防災についての意識を高めるとともに、地域での防災や地域の活性化に取り組む人々の紹介などを通して社会参画の意識が高まるよう、配慮されている。(2年 31~41 頁など)
	6	佐々木禎子さんについての内容や「The last Leaf」の話を取り上げるなど、生命を尊重する精神を養うことができるよう、工夫されている。(3年 33~43 頁など)
	7	海外の祭りなどが紹介されている。色々な国の文化が取り上げられており、異文化理解や国際協調についての理解を高められるよう、とても工夫されている。(3年 7~17 頁など)
	8	広島原爆やアンネフランクの話が取り上げられ、平和や人権について考えを深められるよう、とても配慮してある。(3年 63~73 頁など)
教科書展示会の結果（学校 1 一般 0 合計 1）		
【学校】		
<ul style="list-style-type: none"> 基本文は各パートの右ページにあるが、一番上に置かれているので、生徒への説明がしやすいのではないかと思う。(本来は基本文を含むページは左側で、右ページが本文の方が学習上、いいのではないかと思う。) 		
選定委員会の意見		
<p>各パートが目的や場面、状況をつかむための対話で導入され、文法事項を学んだあとにやり取りをしながら反復練習、その後統合的な活動の流れで学習が進められる。各単元の扉に目標が明示され、見通しをもって学習ができるよう、工夫されている。様々な国の文化や日本のユニークな地域活動、漫画やアニメなど、興味・関心を高める内容の長文が充実している。巻末の基本文のまとめや単語リストが使いやすく、生徒が自分で学習を進める手立てもなされており、工夫されている。</p>		

教科書展示会の全体的な意見（学校 8 一般 0 合計 8 ）

【学校】

- ・諸外国で使用されている英語の教科書のような構成になっている印象が強く、個別、または少人数の学級での学習向きに作られているように思える。日本の35人規模の学級での一斉授業に耐えうるのは、開隆堂、光村図書、三省堂くらいだろうか。
- ・使用している東京書籍現行の教科書より、新教科書は工夫がなされていたが、あまりにも中身が豊富で、教科書が年度内に終わるか懸念される。他社の開隆堂、三省堂、教育出版は使ってみたい。
- ・全ての教科書にQRコードがあり、家庭学習での音声面でのフォローがあつてよかったです。教科書によっては、1年の時から本文の量が多いものもあり、全体的にインプット（文法事項以外で）が増えたように感じた。
- ・サイズの大型化が気になった。
- ・コミュニケーション活動がしやすい構成で、授業を学びとらせる方法に変わっていくと感じた。QRコードもあり、タブレットが一人一台になれば、授業の様子も変わると思った。
- ・全冊、閲覧できた。本市採用の東京書籍はUnit1からbe動詞、一般動詞に続き、不規則動詞→三单現→規則動詞+不定詞も加えられている。また、各教科書によって、新出文法にはらつきがあり、教科書の違う転出入は既習事項が異なり難しいのではないか。語彙も増え、3年は仮定法で終わる。文章の量も増え、よりプラクティカルな大量の英文を短時間にこなすのは、やや拙速ではないか。
- ・どの教科書もQRコードでリスニングができたり、教科書に書き込むスペースが増えたりと現教科書とは大きな違いがみられた。特に巻末資料が充実しており生徒が一人で学習がしやすい仕組みとなっている。
- ・現在使用している東京書籍の教科書中心に見ていった。小学校から外国語学習が導入されているので、新1年生のスタート時から内容の濃いものになっていた。1つのパートに2つの基本文が入ったり、コミュニケーションティブ・アクティビティーがページごとに取り入れられるなど、これまでのものよりもより表現に力を入れたものになっていた。特に1年生では学習内容が非常に多いので、表現活動に力を入れつつも、しっかりと定着できるように取り組んでいかなければならない。

意見書 中学校 種目（道徳）

発行	観点	調査結果
東京書籍	1	オリエンテーションで教材を用い、道徳科で何をどのようにして学ぶのかについて授業の流れを確かめることができ、目標達成につながるよう、とても工夫されている。
	2	各教材に、自らの気付きや考え等を記入する「つぶやき」欄があり、教材末には中心発問として「考え方」、自己を振り返る発問として「自分を見つめよう」が設けられており、主体的な学びにつながるよう、工夫されている。(1年 52~54 頁など)
	②	各学年、巻頭の「話し合いの手引き」には話し合いの流れと司会カードが参考資料として示されており、教材を活用して話し合い活動を行い、対話的な学びを促すよう、とても工夫されている。
	③	2 時間扱いの問題解決的な学習が配列されており、深い学びが実現できるよう、とても工夫されている。(1年 85~92 頁など)
	3	各学年、いじめ防止につながる教材が「いじめのない世界へ」としてユニットに配列されており、身近な教材をイラストや漫画等を活用し、問題解決的な学習で学びを進められるよう、工夫されている。(1年 21~32 頁など)
	4	清掃員、看護師、ピアニスト等具体的な職業に携わっている人を取り上げた教材に加えて、新聞の投書から考える教材等もあり、キャリア教育の視点からも発達段階に応じて適切な勤労観・職業観が育まれるよう、とても工夫されている。(3年 91~94 頁など)
	5	ごみ箱や防犯カメラ等、身近な問題が教材化され、主体的に社会参画する態度を養うことができるよう、工夫されている。(2年 14~17 頁など)
	6	各学年、「いのちを考える」というテーマのユニットが配列され、資料も豊富に掲載されており、主体的な学びが促されるよう、とても工夫されている。(2年 61~75 頁など)
	7	伝統や文化を尊重する態度を培うための写真やイラスト等が掲載され、身近な教材として配置されており、豊かな学びを育むことができるよう、配慮されている。(3年 54~57 頁など)
	8	子どもの人権、高齢者の人権、障がい者的人権、インターネットによる人権侵害等、人権感覚・人権意識の高揚に向け、発達段階に応じた多様な教材が扱われており、人権を尊重する態度が養えるよう、とても配慮されている。(2年 44~47 頁など)
教科書展示会の結果（学校4 一般1 合計5）		
【学校】		
<ul style="list-style-type: none"> 東京書籍は、教科書に書き込みができる枠があり、工夫されている。心情円盤や振り返りシートも用意されており、活用できる。 内容項目ごとにまとめてあって見やすい。文章が長い。 		
【一般】		
<ul style="list-style-type: none"> 個人の権利よりも義務を強調し、ハンセン病隔離政策を推進した人物を「偉人」と記述してあるので採択しないでほしい。 		
選定委員会の意見		
<p>巻頭のオリエンテーションは、各教材の冒頭のテーマの設定、さらには教材末の発問（中心発問と自己を振り返る発問）とリンクして、主体的・対話的で深い学びを促し、「考え方、議論する道徳」を実現できるよう、工夫されている。各教材の「つぶやき」欄を見返すことで自らの気付きや学びを振り返ることができ、巻末付録の「自分の学びを振り返ろう」では、学期ごとに生徒自らが自己の学びを振り返ることができるよう、工夫されている。</p>		

意見書 中学校 種目（道徳）

発行	観点	調査結果
教育出版	1	巻頭のオリエンテーションで教材を用い、道徳科で何をどのようにして学ぶかについて説明があり、目標達成できるよう、とても工夫されている。
	2	巻末に、1時間ごと・学期ごと・年間に学びを振り返って記録するページがあり、生徒が成長を実感できるよう、工夫されている。
	①	教材末に「やってみよう」が各学年1~2つ設定されており、体験的な学習を通して対話的な学びの実現ができるよう、工夫されている。(1年76~81頁など)
	②	教材末に「やってみよう」が各学年1~2つ設定されており、体験的な学習を通して対話的な学びの実現ができるよう、工夫されている。(1年76~81頁など)
	③	各教材冒頭のねらいと関連した意識付けの問い合わせに加え、写真・イラスト・グラフ・漫画等、多種多様な資料で教材が構成されており、教材末の「学びの道しるべ」の問い合わせで自分との関わりで考えることができるよう、工夫されている。(3年116~123頁など)
	3	各学年「いじめに立ち向かう君に」というテーマで、いじめや差別のない社会について考える教材が、ユニットとして第1学年には2か所、第2学年には1か所ずつ配列されており、問題解決的な学習が展開できるよう、工夫されている。(1年42~45頁など)
	4	オリンピックやパラリンピックで活躍した人物や、出場を目指して努力している人物が取り上げられており、生徒の興味・関心を高め学びが深まるよう、工夫されている。(2年26~29頁など)
	5	電車での出来事などのように、身近な出来事を教材として、主体的に考えたり、体験的な学習を行ったりして深い学びを促し、主体的に社会参画するための態度を養うことができるよう、工夫されている。(2年104~107頁など)
	6	各学年、「命の尊さについて深く考える教材」がユニットで配列されており、具体的な教材から主体的な学びが促されるよう、とても工夫されている。(2年30~35頁など)
	7	落語、狂言、将棋、郷土料理などの教材と写真・資料を関連させてあり、伝統と文化を尊重し、我が国及び郷土を愛する態度を養うことができるよう、工夫されている。(3年50~55頁など)
	8	性差別の問題、子どもの人権、高齢者の人権、性的少数者の人権等について教材化されており、具体的な写真・資料と関連させながら、人権尊重の精神の涵養が図られ、主体的な学びが促されるよう、とても配慮されている。(2年62~65頁など)
教科書展示会の結果（学校4 一般4 合計8）		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漫画やイラストなど、子どもたちが共感しやすい工夫があった。 ・資料が長いものが多く、生徒の実態に照らして、授業の時間が足りなくなる不安がある。 <p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「マンションの椅子」は熊本地震のエピソードに過ぎず、地震を体験した子どもたちの思いはそれぞれ。美談としてまとめてあり、全てがそうであったというような誤解を与える。 ・各单元のねらいを「自主、自律・・・」「節度、節制」などに当てはめているさまは、戦時中の「修身教科書」の再現である。単語ではなく、それを示唆した言葉で表現すべきだ。 		
選定委員会の意見		
<p>道徳科の目標及び内容の達成が図られるように構成されており、各教材は4つの視点を踏まえ、各学年の発達段階に応じて教材が配置されており、教材冒頭の問い合わせと教材末の「学びの道しるべ」の3つの問い合わせで主体的・対話的で深い学びを促し、「考え、議論する道徳」の実現に向けて工夫されている。巻末には、1時間ごとの感想を記録するページがある。また、切り離して使える学期・年間の学習の振り返りシートが用意されるなど、工夫されている。</p>		

意見書 中学校 種目（道徳）

発行	観点	調査結果
光村図書	1	巻頭の手引きで教材の概要を説明している。「道徳の授業を始めよう！」では、どのようにして学ぶのかを小学校の時の教材でも確かめられ、目標の達成に向け、とても工夫されている。
	2 ①	巻末に「学びの記録」があり、生徒が1時間ごとやシーズンごと、年間を通して学んだことを振り返り、これから生き方に生かすことができるよう、工夫されている。
	②	各学年3~4か所、「深めたいむ」が設けられており、問題解決的な学習、体験的な学習を通して、対話的な学びにつながるよう、とても充実している。(1年91~97頁など)
	③	各学年にコラム「広げよう」が設定されており、体験的な学習等の多様な学びができるよう、工夫されている。(1年28~29頁など)
	3	各学年、いじめ防止につながる教材がユニットで配列され、いじめ問題を扱った教材を「深めたいむ」において問題解決的な学習で取り組み、続けて「共生」「生命尊重」「公正、公平」に関する教材を取り扱うことで学びが深化するよう、工夫されている。(1年30~41頁など)
	4	職場訪問でお店の人にインタビューをするという設定の教材が取り上げられており、仕事に対する生きがいや社会への貢献といった労働の価値が実感できるよう、充実している。(1年86~90頁など)
	5	ボランティア活動、消防団、選挙等の教材を通して、主体的に社会参画しようとする態度を養うことができるよう、工夫されている。(3年72~76頁など)
	6	各学年に「生命の尊さ」をテーマとした教材が複数配置されており、生命の「連續性」「有限性」「偶然性」などについて考えられるよう、とても工夫されている。(1年102~105頁など)
	7	各学年、発達段階に応じて地域の題材や日本の伝統文化を扱った教材が写真等の豊富な資料と共に配置されており、生徒が日本の伝統に親しみ、地域に愛着をもてるよう、工夫されている。(1年98~101頁など)
	8	子どもの人権、障がい者の人権、高齢者の人権、インターネットによる人権侵害、アイヌの人たちの人権、人種差別、戦争による人権侵害など多様な教材を通して、人権尊重の精神の涵養を図ることができるよう、とても配慮されている。(3年63~67頁など)
教科書展示会の結果（学校3 一般3 合計6）		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料が長いものが多く、生徒の実態に照らして、授業の時間が足りなくなる不安がある。 ・文章の量が短くて良い。イラストが古い感じがする。 <p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光村図書出版の教科書が人権を多く扱っているように思える。 ・第1学年の各单元の内容は興味深くて、考えさせるものが多い。各自が抱いた考え方を他者（クラスの友）と交流させながら、より考え方を深めるものが多い。 		
選定委員会の意見		
<p>教材は、各学年大きく3つのシーズンに分け、発達段階に応じて配列されている。各教材の「考え方」には、めあてが示され、それを踏まえ、道徳的な問題を明らかにする問い合わせや道徳的価値の理解を深める問い合わせなどが設定されている。更には、多面的・多角的な思考を促す問い合わせが示されているものがあり、主体的・対話的で深い学びを促し、「考え方、議論する道徳」の実現が推進するよう、工夫されている。巻末には各学年3つのシーズン別に授業の感想や印象に残ったことを書き込む記録用紙がついており、自己の学びを振り返り将来の生き方につながるよう、配慮されている。</p>		

意見書 中学校 種目（道徳）

発行	観点	調査結果
日本文教	1	教科書見開きページの巻頭詩で授業への期待感をもたせ、巻頭のオリエンテーションで、道徳科で何を、どのようにして学ぶのかについてイラストや写真を用いて分かりやすく説明しており、目標の達成へ向けとても工夫されている。
	2 ①	各教材末には、「考えてみよう」に、学習のねらいに迫る中心発問が設定され、「自分に+1」には、自分を見つめ今後に生かす発問が設定され、「主体的な学び」の実現に向けとても工夫されている。（1年6～11頁など）
	②	対話的な学びを重ね、補充・深化するものとして、各学年の道徳ノートも効果的に活用できるよう、とても工夫されている。
	③	深い学びを実現するために、各学年の発達段階に応じて、問題解決的な学習が4つと体験的な学習が2つ、具体的な学習の手法を示す「学習の進め方」とともに各学年に配置されており、とても充実している。（1年62～65頁など）
	3	各学年、ユニット「いじめと向き合う」は、第1学年に3か所、第2・3学年にそれぞれ2か所配列されており、「いじめ」について集中的に継続して考えていくことができるよう、とても工夫されている。（1年28～49頁など）
	4	各学年、多様な教材を通して勤労観・職業観が深まるよう、とても工夫されている。特に2年生にあっては、職業体験学習と関連付けることができる。（2年10～21頁など）
	5	ユニット「よりよい社会と私たち」は、第1学年に2か所、第2・3学年に3か所ずつ配列され、積極的に社会参画に努める態度が養えるよう、工夫されている。（3年158～175頁など）
	6	「生命の尊さ」が重点項目として各学年に3教材ずつ配置されており、連續性や有限性、他の生命との関連性など、より多面的・多角的に自他の生命について考えられるよう、とても配慮されている。（2年22～27頁など）
	7	体験的な学習を取り入れた教材もあり、伝統と文化を継承・発展させる態度を身に付けることができるよう、工夫されている。（2年180～185頁など）
	8	子どもの人権、高齢者の人権、インターネットによる人権侵害、外国人の人権、障がい者の人権、戦争、難民、飢餓問題等、多様な教材が掲載されており、人権尊重の精神の涵養を図ることができるよう、とても充実している。（1年100～103頁など）
教科書展示会の結果（学校8 一般1 合計9）		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の学び方、学ぶことがまとめられていてわかりやすかった。資料にもイラストや画像が多く、生徒が資料の内容をイメージしやすいように工夫されていた。 ・ノートが改善されていた。発問があらかじめ印刷されておらず、授業者としては扱いやすくなったと思う。 <p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み物のジャンルも多様で、興味を持ちやすい。付属のノートも振り返りの記入欄があり、自己を客観視することができる。 		
選定委員会の意見		
<p>各学年に複数配置されている「学習の進め方」には、問題解決的な学習や体験的な学習の流れが具体的に示されており、「考え、議論する道徳」が実現できるよう、とても工夫されている。また、道徳科創設の背景となった「いじめ」に関する教材もユニット化されており、「いじめ」の認知件数が多い第1学年には3か所、第2・3学年には2か所ずつ配列され、指導の充実に向け、とても工夫されている。加えて、主体的・対話的で深い学びを促すよう道徳ノートも有効活用でき、学期末・学年末の振り返りや、家族とともに学べるようにも工夫されている。</p>		

意見書 中学校 種目（道徳）

発行	観点	調査結果
学研教育みらい	1	教科書見開きの写真と先人の言葉で授業への期待感をもたせ、巻頭のオリエンテーションで、道徳科でどのようにして学ぶのかを「考えを深める四つのステップ」として説明しており、目標が達成できるよう、とても工夫されている。
	2	巻末に、学期ごとや年間を通して学びを振り返る「心の四季」「学びの記録」があり、生徒が自身の成長を実感し、これから生き方につながるよう、工夫されている。
	①	各学年、教材末に「深めよう」が複数配置されており、その中に教材のねらいに沿って、「話し合おう」が設定され、対話的な学びの充実につながるよう、とても配慮されている。(2年 22~25 頁など)
	②	「深めよう」には「生き方につなげよう」「踏み出そう」「振り返ろう」などの問い合わせが設定されており、自らを見つめ、深い学びにつながるよう、とても配慮されている。(1年 24~27 頁など)
	③	各学年、いじめ防止については、自分のこととして向き合い、考え、議論しながら、いじめを生まない力を育む教材が複数配置されており、工夫されている。(1年 116~119 頁など)
	3	各学年、世界を舞台に活躍するスポーツ選手とそれを支えながら活躍する人々の教材によるユニット学習が設定されており、それぞれの生き方や困難に立ち向かう姿から、自己の生き方を見つめることができるように、とても工夫されている。(3年 162~173 頁など)
	4	地域の清掃活動、町おこし、選挙などが教材に取り上げられており、現在そして将来に向かって、主体的に社会参画しようとする態度を養うことができるよう、工夫されている。(3年 112~115 頁など)
	5	生命の尊さについては、特に重点項目として取り上げられており、漫画やイラスト、感性に訴える写真等の多様な教材と関連させて思考が深まるよう、とても配慮されている。(2年 94~101 頁など)
	6	日本の文化に魅せられた外国人、歴史的建造物を守る表具師などの生き方を通して、伝統と文化を尊重しようとする態度を養うことができるように、工夫されている。(1年 132~135 頁など)
	7	高齢者の人権、女性の人権、障がい者的人権、貧困問題等が教材として取り上げられており、直接的、あるいは間接的に幅広く人権課題について考え、人権尊重の精神の涵養に向けて考えを深められるよう、とても配慮されている。(2年 124~127 頁など)
教科書展示会の結果（学校1 一般0 合計1）		
【学校】		
・大判であり、扱いに困る。		

選定委員会の意見

教材末に掲載されている「考え方」の問い合わせや、問題解決的な学習や体験的な学習を促す「深めよう」の問い合わせが設定され、生徒一人一人にとって、主体的・対話的で深い学びを促し、「考え方、議論する道徳」となるよう、工夫されている。また、キャリア教育を踏まえたユニット学習も特徴的で、多面的・多角的に考え方を深まるよう、配慮されている。巻末には、学期ごとや年間を通して学びを振り返る「心の四季」「学びの記録」があり、生徒が自らの成長を実感し、これから生き方につながるよう、工夫されている。

意見書 中学校 種目（道徳）

発行	観点	調査結果
廣済堂あかつき	1	巻頭詩に続くオリエンテーション「自分を見つめよう」で、道徳科で何を考え、どのようにして学ぶのかを、5つの視点から説明しており、道徳科の目標が達成できるよう、工夫されている。
	2 ①	道徳ノートの後半には、毎時間・学期ごと・年間の振り返りができるようになっており、これからの生き方につながるよう、とても工夫されている。
	②	教材末には、「考える・話し合う」のめあてや問い合わせ、学習の広がりや深まりを促す「考えを広げる・深める」問い合わせがある。また、具体的に「～について話し合ってみよう」等の問い合わせは、問題解決的な学習を行い、対話的な学びが促されるよう、工夫されている。(3年124~127頁など)
	③	教材末に設けられた「考える・話し合う」には、「考えを広げる・深める」が設けられており、自己のこれからの生き方につなげる問い合わせで深い学びが促されるよう、工夫されている。(1年116~119頁など)
	3	各学年、いじめ防止関連の教材が複数配置しており、年間を通してバランスよく学習でき、教材末の「考える・話し合う」に設けられた問い合わせで、自分のこととして考えながら学習できるよう、配慮されている。(3年36~40頁など)
	4	オリンピック、パラリンピックの選手等が教材として取り上げられており、多面的・多角的に考えることができるよう、配慮されている。(1年140~147頁など)
	5	ボランティア活動などが教材として取り上げられており、公共の精神に基づいて社会参画する態度を養うために豊かな学びが育まれるよう、工夫されている。(1年74~79頁など)
	6	生命尊重については、本教科書の重点項目として位置づけられており、多面的・多角的に考えることができるよう、とても工夫されている。(3年24~25頁など)
	7	建築物や人物等の写真が掲載されており、我が国の伝統や文化に関心を高めることができるよう、配慮されている。(3年128~133頁など)
	8	子どもの人権、高齢者の人権、障がい者の人権、インターネットによる人権侵害などが教材として取り上げられており、人権課題を多面的・多角的に考え、人権尊重の精神の涵養を図ることができるよう、とても工夫されている。(2年141~145頁など)
教科書展示会の結果（学校3 一般0 合計3）		
【学校】		
<ul style="list-style-type: none"> ・横長の教科書のサイズは好き嫌いが分かれそう。題材は悪くない。 ・道徳ノートは使いにくそう。本が大きくて字も大きいので、コンパクトがよい。イラストが少ない。 		
選定委員会の意見		
<p>教材末に「考える・話し合う」が設定され、その中に「学習の手がかり」と「考えを広げる・深める」問い合わせが示されている。また、毎時間・学期ごと・年間の振り返り等を記録する道徳ノートも活用することができ、生徒一人一人にとって、主体的・対話的で深い学びを促し、「考え、議論する道徳」となるよう、工夫されている。現代的な課題についても、特に生命尊重を中心に、多面的・多角的に考え、思考が深まるよう、配慮されている。</p>		

教科書展示会の全体的な意見（学校5 一般4 合計9）

【学校】

- ・長文が多い。イラストや画像、写真などを多く使ったほうが学力が厳しい生徒たちにとっては取り組みやすいのではと思う。どの教科書も工夫が凝らしており、使いやすさを感じた。
- ・付属のノートの記述欄に、発問が書かれていないところが、本年度のものと変わっていて、良いと思った。発問は、書いてないほうが使い良いと思っていたので。
- ・どの教科書も、従来の教材を残しつつ、内容を吟味された新しいものも加わっており工夫されていると感じた。
- ・各社その会社の特徴をよく出していた。
- ・現在使用中の日本文教出版のノートが使いにくいと感じていたが、ほかの出版社のノートは、日本文教出版のようなノートがついてなかったので、一長一短だと感じた。

【一般】

- ・教科書サイズがAB版とコンパクトになっていて、使いやすくなったと思う。熊本市の小中学校は現在使用している教科書がノート付きの日本文教出版だが、どの出版社もメモ欄や巻末に学習の記録やまとめ等のページがあるので、ノートの必要性に疑問を抱いている。
- ・こういう教科書を使って授業をしなければならない教員も、それから評価される生徒も大変気の毒だと思う。海外にもこういう科目があるのだろうか。
- ・総合などで行う平和学習と関連させられるような教材がなくなってきたように思う。
- ・漫画やイラスト等工夫されており、生徒の思いを表現するのに工夫されていると思った。設問やノートにも工夫があった。